

## 第6次地域保健医療計画における利根保健医療圏域の取組

### 第6次地域保健医療計画の平成28年度取組項目進捗状況

(医師会・歯科医師会・薬剤師会・医療機関・各団体)

第6次地域保健医療計画の平成28年度取組状況進捗状況調査票

1 脳卒中医療

(目標)

予防重視の観点から、医療機関、医師会、医療保険者、市町で連携を強化し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行います。

脳卒中の予後改善を図るため、病院前救護から急性期・慢性期の治療やリハビリ、在宅医療までの医療連携体制の構築を推進します。

利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」の地域連携クリティカルパスを活用するなど、プレホスピタル・ケアから在宅医療に関わる複数の機関における患者情報の共有化を図り、良質な医療提供に努めます。

患者が病期に応じ、適切なケアが享受できるよう医療情報システムや介護・福祉サービスの情報提供を行います。

実施主体	主な取組	機関名	平成28年度実施計画	平成28年度実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	高血圧等脳卒中 ハイリスク者に対する保健指導 の充実	北埼玉医師会	○単独事業は計画していない。加須市、羽生市、埼玉県の事業に対し積極的に協力していく。	○概ね計画どおり実施	会長
		行田市医師会	○市内3医療機関での脳ドックの実施及び健診後の各医療機関での指導を実施	○例年どおり実施し、計271人が受診した。	会長
		行田中央 総合病院	○脳ドックの充実	○脳ドック311件を受入れ。	健康管理 センター
		行田総合病院	○脳ドックの推進 ○栄養指導の充実	○脳ドックを推進し継続実施した。 ○医師との連携により外来にて高血圧の方への栄養指導を実施した。	健診担当 栄養科
		羽生総合病院	○院内での脳ドックの実施及び医療講演を開催し、保健指導等予防のための取組を行う。	○28年度の計画は不十分なので、引き続き計画を取り組んでいく。	事業部
		医療法人仁寿会 山田クリニック	○院内での栄養指導の強化 ○健康講和を通じての啓蒙		医師 管理栄養士
		新久喜総合病院	○特定保健指導を充実し健康・栄養相談を実施	○特定保健指導及び健康・栄養相談を継続して実施(340件)	健康管理 センター
		済生会栗橋病院	○地域における保健活動として、当院が主体的に「出張市民講座」や「健康相談」を手がけており、今後も引き続き啓発活動として保健指導に努める。	○市民からの要望が多く、「出張市民講座」を年間8回実施した。また、MSWによる「健康相談」を23件院内で開催した。「健康スクエア」では、768名の来場者に対し、血圧測定等を実施した。	地域医療連携 センター
		蓮田病院	○健康管理、病気予防への啓発活動として市民公開講座の開催。 ○以下について情報収集と研究会を行い、実現費用を算出する。 ①A I I m社のソフトウェアが医療機器として承認され脳外科の画像はこのソフトを使用するスマホで読影できるため、救急搬送患者の検査結果について専門医の診断を求める。 ②予防の観点から、スマホ筐体に追加で収まる血圧計、心電計等の一体化基盤費用を算出し、健康管理機能を備えたスマホを2千円/月程度で提供	○院内でパンフレットを使い啓発	経営企画 情報部
		東埼玉総合病院	○予防重視の観点から、市民公開講座を開催し、医療機関、医師会、幸手市と連携し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行う。	○住民向けに市民公開講座を年3回開催し、医療講演・健康測定・各種相談を実施。医療機関、医師会、行政(幸手市、杉戸町)と連携して、地域住民の健康に対する意識向上に努めた。(参加者総数582名)	地域医療 推進部
白岡中央 総合病院	○脳ドックの推進、広報活動 ○白岡祭りなどにおいて健康相談会を実施し、健康相談、栄養指導の実施 ○看護の日、市内イベント、地域交流会を通じて、生活習慣病予防、健康相談の継続活動を実施 ○地域交流会(病院主催)を利用し健診業務のPR広報活動の実施	○脳ドックの午前中枠を1枠新規設定、書面による案内配布を約2,900枚 ○5月12日の看護の日、また8月6日の白岡祭りにおいて健康相談会を実施、同時に人間ドック・健診の案内を100部程度配布 ○地域交流会3回(7月19日、9月29日、平成29年1月13日)、市民公開講座1回(10月1日)同時に健診業務のPR活動(当院の各種ドック、特定健診のご案内)の実施	地域包括 ケア課		

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	医療機関と消防 機関との連携に よるプレホスピ タル・ケアの 充実	北埼玉医師会	○埼玉県東部地域メディカルコントロール協議会、BANDOメディカルコントロール協議会の構成員として充実に寄与していく。	○概ね計画どおり実施	会長
		行田市医師会	○市民フォーラムにおいてAEDの体験学習及び消防署員による寸劇の中でAED講習を実施	○11月13日に市民フォーラムを実施。	会長
		行田市 歯科医師会	○地域連携病院との関係強化（行田中央総合病院・行田総合病院）	○行田中央総合病院・行田総合病院地域連携会議院内発表会参加	会長
		行田総合病院	○医療機関と消防機関とで症例を持ち寄ったプレホスピタルケアの勉強会を実施	○救急勉強会を6回実施し、そのうち脳卒中に対する搬送症例を取り上げた救急隊参加による勉強会を1回実施した。	医師
		羽生総合病院	○救急隊員との連携強化のため、質の向上のための症例検討会等の研修会を開催する。（挿管実習の受入やERカンファレンスの実施）	○定期的に救急隊を交えた症例検討会は実施できているので、引き続き実施して行く。	救急委員会 事業部
		済生会栗橋病院	○消防署員や救急隊員に当院にきていただき、救急医療に対する研究会を定期に開催している。今後も、事例、症例を共有することで更なるレベルアップと相互に顔の見えるチーム体制を築く。	○各消防署との連携については、小児救急勉強会（SQO）を年間8回、および成人版救急勉強会を年2回開催し、お互いに顔の見える連携を図った。	地域医療連携 センター
		蓮田病院	○主に蓮田消防救急隊との合同勉強会実施 ○メディカルコントロール協議会へ医師派遣、プレホスピタルケアの実践力向上 ○以下について情報収集と研究会を行い、実現費用を算出する。 ①クラウド上の電子お薬手帳や病歴記録、日々の生理検査記録等のFormat形式。 ②医療介護機関における情報共有について患者承認の方式 ③ファームバンキング相当の暗号化でも高速通信できる情報漏えい対策 ④院内でのスマホ禁止の根拠や定説について	○蓮田市消防隊と連携。病院内に派遣型救急ワークステーションを設置 ○救急隊員の実習受入 ○病院職員への普通救命講習の実施	経営企画 情報部
		東埼玉総合病院	○消防機関との連携強化に向け『症例検討会』を開催（年2回以上複数回） ○近隣消防機関との連携強化のための訪問 救急科長、事務部長等訪問による当院との要望・意見交換の実施	○症例検討会実施に関しては8月と3月に計2回実施した。 ○近隣の消防機関に医師・担当事務局が計18回訪問し、顔の見える連携強化向上のため搬送時の要望・意見交換等を行った。	救急委員会
白岡中央 総合病院	○普通救命講習を全職員で実施 ○消防機関への連携訪問 ○埼玉県東部地区メディカルコントロール協議会への参加 ○埼玉県東部消防組合との合同災害訓練	○全職種を対象に普通救命講習実施（6月11日、9月10日、平成29年2月18日 計3回実施 計75名受講） ○近隣の消防機関へ年間7回訪問（埼玉東部消防組合、宮代消防署、伊奈消防本部、蓮田消防本部） ○埼玉県東部地区メディカルコントロール協議会（開催場所：獨協医科大学越谷病院）へ救急担当医師が1回/月以上定期的に参加している。協議内容として（消化管出血輪番制（STGIB）について：口頭指導講習会について：外傷事後検証について）等がある。 ○院内での消防訓練開催時（平成29年2月25日開催：訓練参加30名：消防署員6名 平成29年3月24日開催：訓練参加150名：消防署員5名）において白岡消防署隊員による協力支援にて訓練実施。訓練内容として（通報・初期消火・屋内消火栓使用・避難誘導・搬送訓練）等である。	総務人事課		
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域連携クリ ティカルパスを 活用した医療連 携体制の整備	北埼玉医師会	○とねっとの活用に更に注力していく。	○概ね計画どおり実施	会長
		行田市医師会	○急性期は2病院が対応し、回復期は各医療機関が対応している。各病院には地域医療連携室があり、調整にあたっている。	○病診連携は良好に行われている。	会長
		埼玉葛歯科医師会	○地域連携病院との関係強化	○地域連携病院との関係強化	会長・ 専務理事
		久喜市 歯科医師会	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催 1回開催	会長
		蓮田市 歯科医師会	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催 1回開催	会長

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域連携クリ ティカルパスを 活用した医療連 携体制の整備	白岡市 歯科医師会	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催 1回開催	会長
		北埼玉 歯科医師会	○地域連携病院との関係強化（深谷日赤病院）	○定期的な会議への参加	理事地域 包括部長
		行田市 歯科医師会	○地域連携病院との関係強化（行田中央総合病院・行田総合病 院）	○行田中央総合病院・行田総合病院地域連携会議院内発表会参加	会長
		行田総合病院	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会のパスによる患者様の受入 れを継続（回復期）	○埼玉県脳卒中地域連携パスを使用して回復期リハビリテーショ ン病棟にて受入れを継続実施している。また、大学病院を含む他 医療機関への回復期リハビリテーション病棟の情報提供、埼玉県 脳卒中地域医療連携研究会が主催する会議や講演会にも参加し、 情報共有を図っている。	脳外科 MSW
		中田病院	○埼玉県脳卒中地域連携診療計画「情報交換のための会合」参加 ○パスを活用する脳卒中急性期病院の情報交換会に参加	○埼玉県脳卒中地域連携計画「情報交換のための会合」出席 ○連携する済生会栗橋病院との情報交換会に出席	地域連携室
		羽生総合病院	○地域医療連携会への参加	○地域医療連携会への参加は引き続き行う。	地域連携室
		新久喜総合病院	○地域医療ネットワークシステムに協力し患者情報共有を図り地 域完結型医療を目指す。 ○医療連携の会の開催	○とねっと事業への参加 ○医療連携の会開催（3回）	地域医療課
		済生会栗橋病院	○地域の医療機関が地域医療構想に基づき担うべき医療機能が再 編されるなか、連携する医療機関と定期的な情報交換を行う体制 を整備する。	○脳卒中パスを積極的に推進し、38件を算定している。更に県外 を含めた当院独自での連携活動を行っており、年3回の勉強会を開 催した。	地域医療連携 センター
		東埼玉病院	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会の主催する「情報交換 会」、茨城西南医療センターの主催する「地域医療連携パス会 議」に、各々常時出席予定（それぞれ3回/年 程度）	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会の主催する「情報交換 会」、茨城西南医療センターの主催する「地域医療連携パス会 議」に、各々常時出席（それぞれ3回/年）	リハビリテー ション科・医 療福祉相談室
		蓮田病院	○病診、病病連携懇親会の主催（年2回5月11月） ○地域医療ネットワークシステム構築に協力。情報共有に努め る。「とねっと」では中核病院の役割を担う。	○病診、病病連携懇話会を主催。（5月・11月定例開催） ○利根医療圏における「とねっと」に中核病院として参加 ○「とねっと」を活用した患者紹介	病診連携室
東埼玉総合病院	○『埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会情報交換会』に継続して 参加（年3回） ○診療報酬改定に伴う地域連携パスの運用見直し	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究情報交換会に参加 開催日：1月25日（水） ○脳卒中地域連携パス適用件数：57件 ※診療報酬の改定に伴い、8月より算定開始	地域医療 推進部		
白岡中央 総合病院	○回復期→維持期の埼玉県脳卒中地域連携パスの運用（在宅・訪 問を中心とした） ○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会、情報交換会への参加	○脳卒中地域連携パスの運用：年間42件 ○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会の情報交換会（平成29年 1月25日）1回参加	地域包括 ケア課		
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中に対応で きる医療機関、 医療機能等の住 民への情報提供	北埼玉医師会	○単独事業として特に計画していない。会員の医療機関において スムーズな情報提供を行うよう指導していく。	○概ね計画どおり実施	会長
		行田市医師会	○市民フォーラムや病院広報にて実施	○例年どおり実施。	会長
		行田総合病院	○病院院外広報誌などの情報提供	○病院院外広報誌にて対応可能であることや予防などの記事を作 成し、外来や地域の医療機関にて配布を行った。	広報
		羽生総合病院	○当院のホームページや広報誌を充実させるとともに医療講演等 を開催した際に当院の実績等を説明する。	○当院ホームページは、現在、リニューアル中であり利用者（患 者様）に分かりやすい情報提供を行う。	広報委員会 情報室
		新久喜総合病院	○病院ホームページ等による情報提供 ○健康教室等での情報発信	○健康教室の開催（89回 延べ3,500名参加）	総務課 地域医療課
		済生会栗橋病院	○当院のホームページでの情報発信及び「出張市民講座」や「健 康相談」において、当院が担う機能と地域におけるサポート体制 について説明と啓発を行う。	○「出張市民講座」を年間8回開催して、積極的な啓発活動を行 っている。うち4回は「脳卒中」がテーマであり、住民に対して 継続的な情報提供を行った。	地域医療連携 センター
		東埼玉病院	○近隣市町の地域住民を対象として「市民健康講座」等を開催 し、運動指導等の啓発を行う。	○近隣市町の地域住民を対象として「市民健康講座」を開催し、 運動指導等の啓発を行った。 ○また、市の老人福祉センター及び市内の自治会館に赴き、出前 講座を実施し、運動指導等の啓発を行った。 ※市民健康講座参加者数 168名、出前講座参加者数 632名	リハビリテー ション科・地 域医療連携室

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への情報提供	東埼玉総合病院	○市民公開講座の医療講演にて、脳卒中をテーマとする回を設ける。 ○『地域連携の会』を開催し地域の医療機関、在宅医療機関等との情報交換を実施 ○ホームページや院内掲示にて積極的な情報提供に努める。	○脳卒中をテーマにした医療講演会を開催した。(参加者数223名) ○地域連携の会を開催し、地域の医療従事者に対し当院の診療機能について情報を提供した。(来賓者数47名) ○ホームページや院内掲示、パンフレットを作成のうえ、情報提供に努めた。	地域医療推進部
		白岡中央総合病院	○埼玉県医療機能情報提供システムの情報更新 ○病院ホームページや病院パンフレット及び中央病院ニュース(広報誌)による情報提供の推進	○情報更新を行い、スムーズな受入ができる体制を築いた。 ○病院ホームページのリニューアルを行う。また、中央病院ニュース平成28年4月号、6月号で頭部MRIの機器紹介を行	総務人事課

## 2 糖尿病医療

(目標)

特定健診・保健指導を効率的効果的に実施し、自覚症状のない早期の段階で、生活習慣の改善を図り、QOLの向上のため糖尿病予防に努めます。

早期診断された患者の悪化防止のために、標準的な糖尿病教育プログラムが受けられるような医療機関を増やします。

初期・安定期の治療や保健指導について、かかりつけ医と専門医療機関が地域で共通したパスを活用した情報提供システムの普及啓発を目指し、病院と診療所の連携強化を図ります。地域の管理栄養士等の質の向上と指導の標準化を図るため、市町、医師会が協力して地域として糖尿病教育の質が向上するような研修会を実施します。

実施主体	主な取組	機関名	平成28年度実施計画	平成28年度実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	特定健診・保健指導の効果的な実施	北埼玉医師会	○単独事業としては計画していない。加須市、羽生市、埼玉県の事業に積極的に協力していく。	○概ね計画どおり実施。埼玉県の糖尿病重症化予防対策事業に協力。協会けんぽの同事業にも協力。	会長
		行田市医師会	○保健センターにおける保健指導について問題症例は相談を受けアドバイスをを行っている。	○今年度は相談はなかった。	会長
		南埼玉郡市医師会	○会員医療機関において特定健診27,500件実施予定	○会員医療機関において、28,147件の特定健診を実施した。	
		行田市歯科医師会	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師	会長
		行田中央総合病院	○特定健診の受入れ体制の強化 ○特定保健指導の充実	○特定健診を1630件受入れた。 ○特定保健指導を12人実施	健康管理センター
		行田総合病院	○特定健診の充実を図る。 ○特定健診に対する病院院外広報誌での情報提供	○特定健診を継続実施し昨年同様の受診者を受入れた。 ○外来にて配布している病院院外広報誌にて特定健診受診への啓発を実施した。	健診担当広報
		中田病院	○特定健診受診の啓発活動	○院内で1年間テロップで流し情報提供した。外来患者へ受診勧奨した。	
		羽生総合病院	○特定健診受診の啓発活動を強化する。	○特定健診受診の啓発活動は不十分であるが、産業医契約企業には啓発活動を実施している。	健診センター
		新久喜総合病院	○体験型教材等を効率的に活用し特定健診の充実を図る	○体験型教材等を効率的に活用した特定健診を実施(40件)	健康管理センター
		済生会栗橋病院	○健診センターにおける特定健診や健康診断を通じて常駐する健診センター長から詳細な説明と2次健診の必要性について案内するとともに、定期的に健康伺いによって健診を促す。	○健診結果の郵送時に、特定健診のお知らせや当院のパンフレットを同封して、受診を促すとともに、時期をずらして受診者に個別に郵送することでお知らせを行った。	健診センター
		新井病院	○健診、各種検診推進の強化・充実	○院内掲示・広報誌等により受診の啓発	看護部
白岡中央総合病院	○特定健診の受診向上に向けた取組み、広報活動の推進及び、健診受診体制の見直しによる受診枠拡大等	○特定健診の受診枠を4枠増設、ポスターや看板、リーフレットを作成し告知を行った。	健康管理課		
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病患者の教育プログラムの充実	北埼玉医師会	○単独事業としては計画していない。加須市、羽生市、埼玉県の事業に積極的に協力していく。	○概ね計画どおり実施。埼玉県の糖尿病重症化予防対策事業に協力。協会けんぽの同事業にも協力。	会長
		行田市医師会	○市の依頼により講習会を実施 ○薬局でHbA1C測定を行い、検査異常者には協力医療機関を公開している。	○講習会講師を紹介。 ○毎月20~30人が測定されている。	会長

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病患者の教育プログラムの充実	北埼玉 歯科医師会	○埼玉県歯科医師会「糖尿病と歯周病の連携推進講習会」への派遣	○埼玉県歯科医師会「糖尿病と歯周病の連携推進講習会」への派遣	理事地域包括 部長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣	○埼玉県歯科医師会「糖尿病と歯周病の連携推進講習会」への会員派遣	会長
		久喜白岡 薬剤師会	○11/6 久喜市健康食育まつりにおいて、①糖尿病薬の種類と作用・副作用について講演、②HbA1c 40名測定予定		会長
		行田中央 総合病院	○糖尿病患者会活動を通じての啓発活動の充実 ○院内イベントにおける講演等の実施 ○行田市公開講座への講師の派遣 ○糖尿病教育入院の実施 ○糖尿病透析予防プログラムの充実 ○フットケア外来の拡充	○糖尿病患者会活動として、勉強会や啓発活動を実施 ○病院主催健康まつり（10月）において啓発活動を実施 ○行田市主催公開講座へ講師を派遣 ○糖尿病教育入院について引き続き実施 ○糖尿病透析予防プログラムを実施 ○フットケア外来の拡充を進めた	関係各部署
		行田総合病院	○糖尿病教育入院の実施 ○栄養指導の充実	○内分泌・代謝内科の医師により糖尿病教育入院を実施した。 ○栄養士と医師との情報交換を円滑にし、糖尿病患者への外来栄養指導体制を継続的に実施している。	医師 栄養科
		中田病院	○糖尿病患者の退院時における指導の充実（栄養・予防）	○糖尿病患者の退院指導の実施	医師・栄養 士・糖尿病 療養指導士
		羽生総合病院	○糖尿病教育入院の実施及び糖尿病教室の啓発活動の強化	○毎月第3土曜日に管理栄養士による糖尿病教室を実施してきた。	栄養科
		済生会栗橋病院	○常勤の糖尿病専門医を招聘することで、糖尿病患者の教育プログラムを見直しを行い、関連する職種によるチーム医療を実践する。	○常勤の糖尿病専門医の招聘は、平成29年度4月となった。平成28年度は、多職種連携による糖尿病をテーマにした健康講座を開催した。	診療統括部
		新井病院	○医師、管理栄養士、看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士のチーム医療で取り組み、年間6回の糖尿病教室を開催 ○糖尿病チームとして糖尿病に関する様々な知識の習得と合併症の検査を目的とした入院を実施	○年4回、糖尿病教室を開催。 ○パスに基づいた糖尿病教育入院50名	看護部
		東埼玉病院	○生活習慣病教室（糖尿病教育を含む）の開催（12回/年） 対象患者：外来患者 講師：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士及び栄養士	○生活習慣病教室（糖尿病教育を含む）の開催（12回/年） 対象患者 外来患者 ※延べ48名参加 講師：医師、栄養士は毎回講演。薬剤師、検査技師、理学療法士、看護師はローテーションで講演。合計3名で1回の会を実施した。生活習慣病について疾患及び生活指導全般で役立つ内容（服薬、看護、栄養、運動、検査など）や、最近の話題について講演を行った。	栄養管理室
		蓮田病院	○常勤内科医による糖尿病教育入院の実施と公開講座を通じた研修会を予定 ○透析外来患者への入院透析啓蒙勉強会の実施予定	○昨年度の糖尿病教育入院13件であったが、外来食事指導、二ヶ月に一度の公開講座を実施している。 ○透析患者の勉強会については、医師の移動があり実績はなし。	広報委員会
		東埼玉総合病院	○糖尿病患者の教育プログラムのさらなる充実 ・糖尿病教育入院 年間60件 ・フットケア外来 年間300件 ・透析予防プログラム 年間300件 ・冠動脈疾患予防プログラム 年間500件 ・閉塞動脈硬化症予防プログラム ・治療中断予防プログラム ・歯科と連携した誤嚥性肺炎予防プログラム ・生活習慣病予防祭りの開催 ・糖尿病栄養指導件数（個人、集団）年間1,000件	○糖尿病患者の教育プログラムの実施 ・糖尿病教育入院 年間84件 ・フットケア外来 年間387件 ・透析予防プログラム 年間332件 ・冠動脈疾患予防プログラム 年間662件 ・閉塞動脈硬化症予防プログラム 年間817件 ・治療中断予防プログラム 308件対応 ・歯科と連携した誤嚥性肺炎予防プログラム 準備会議2回 ・生活習慣病予防祭りの開催 1回 ・糖尿病栄養指導件数（個人）（1,795件実施）	地域糖尿病 センター
白岡中央 総合病院	○看護の日、市内イベントでの健康相談会を実施 ○地域交流会等で疾病の予防について講演を行う。 ○糖尿病療養指導士（CDE）・地域糖尿病療養指導士（CDEL）受講（病院医療従事者）	○5月12日の看護の日で来訪者に対し健康相談を行う。（相談件数3件） ○近隣の施設を対象に、糖尿病を含めた生活習慣病予防について10月13日に近隣の社会福祉施設で講演を行った。 ○糖尿病療養指導士（CDE）2名受講、地域糖尿病療養指導士（CDEL）1名受講	看護部 糖尿病 認定看護		

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病地域医療 連携システムの 構築	北埼玉医師会	○とねっとの活用に更に注力していく。	○概ね計画どおり実施。	会長
		行田市医師会	○薬局でのHbA1C測定異常者に協力医療機関を公開している。	○例年どおり実施	会長
		埼玉歯科医師会	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用した連携システムの強化	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用した連携システムの強化	会長
		北埼玉 歯科医師会	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用した連携システムの強化	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用した連携システムの強化	理事地域 包括部長
		行田市 歯科医師会	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用した連携システムの強化	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用	会長
		幸手薬剤師会	○検体測定室を6薬局に設置し、HbA1cの測定を実施する。 ○糖尿病の啓発活動を実施する。 ○HbA1c測定啓蒙活動を公共機関、歯科医、駅等の広報活動を実施する。	○薬局でのHbA1c測定受験者に医療機関の紹介（延べ52名） ○管理栄養士による糖尿病患者への食支援（延べ15名）	
		行田市薬剤師会	○昨年度に引き続き、行田市、行田市医師会、行田市歯科医師会と連携しながら検体測定室においてHbA1cを測定し、数値が高いにも関わらずまだ治療されていない方を発見し、受診勧奨する。健診などへの積極的参加を呼びかける。生活習慣病予防を考えるきっかけ作りなどを行っていく。	○305名の方を測定し26名を受診勧奨した。その中で13.5という方がいた。この方は数年前他県より行田市に越してきた方で、他県にいた時は糖尿病の治療をされていた。しかし行田市に来てからはつい受診する機会を逸しそのままになっていた。ある時歯科医院に行ったところ「HbA1cがわからないのでは治療ができない。」と言われ薬局に測定しに来た。測定したところ13.5であった。直ちに治療が再開された。その後は処方箋によりその薬局でフォローしているがコンプライアンス良好とのことである。	
		行田中央 総合病院	○行田市薬剤師会が行うHbA1c測定事業への協力	○行田市薬剤師会が行うHbA1c測定事業に全面的に協力	
		中田病院	○訪問看護と連携し、在宅での糖尿病管理	○訪問看護と連携。在宅での糖尿病管理の実施。	糖尿病 療養指導士
		羽生総合病院	○地域住民を対象とした医療講演、食生活等の栄養相談、パンフレットの配布を行う。	○地域住民の方を対象に、食生活や生活習慣病について毎月医療講演を実施してきた。	栄養科 事業部
		済生会栗橋病院	○地域の医療機関が、地域医療構想に基づき担うべき医療機能が再編されるなか、連携する医療機関と定期的な情報交換を行う体制を整備する。	○糖尿病の医師は、非常勤医師であり、二人主治医制を前提とした情報共有システムの構築はできなかった。しかし、平成29年4月からは常勤医1名が配属されることから、新たな取組みが期待できる。	地域連携課 総務課
		東埼玉病院	○院内に食生活のアドバイスをするポスター掲示及び資料の配付を継続して行う。 ○地域住民を対象として、健康講話を実施し、食生活の相談、パンフレットの配布を行う予定	○メタボリックシンドロームと食事について、地域住民に講演を行った。 ○看護の日イベントに参加し、地域住民に栄養相談を実施した。	栄養管理室
		蓮田病院	○以下について情報収集と研究会を行い、実現費用を算出する。 ①スマホに直接接続して使用する血糖値測定デバイスを利用する。医師が遠隔でデータ確認することを可能にする。 ②クラウド上に血糖値異常データがアップされた場合のワーニングの扱いと定期的にデータがアップされない場合のワーニングの扱い	○糖尿病について公開講座開催	経営企画 情報部
		東埼玉総合病院	○糖尿病循環型連携パス（紙パス）年間500件 ○電子版糖尿病連携パス（とねっによるITパス）年間500件登録 ○在宅での糖尿病管理や訪問診療との在宅医療連携のさらなる強化	○糖尿病循環型連携パス（紙パス）年間735件 ○電子版糖尿病連携パス（とねっによるITパス）年間935件 ○幸手薬剤師会の調剤薬局における簡易HbA1c測定の実施と、当院を含む幸手医師会診療所との連携モデル構築を行った。	地域糖尿病 センター
白岡中央 総合病院	○糖尿病地域連携パスの導入	○導入まで至らず、今後はまず院内の糖尿病教育パスの見直しを行う予定とした。	看護部 糖尿病 認定看護		
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会	糖尿病治療及び 保健指導を担う 専門職の質の向 上	北埼玉医師会	○学術講演会、勉強会（年間19回を予定）を通して全員の質の向上を行う。	○学術講演会を年5回実施。参加医師数は約90人であった。	会長
		行田市医師会	○保健センターにおける保健指導について、相談があればアドバイスを行っている。	○今年度は相談なし。	

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病治療及び 保健指導を担う 専門職の質の 向上	埼玉歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加及び糖尿病関連講習会の実施 ○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会への参加及び講師派遣	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加（20名）及び糖尿病関連講習会の実施 ○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会への参加及び講師派遣	会長・ 専務理事
		久喜市 歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加及び糖尿病専門医による糖尿病関連講習会の実施	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加（20名）及び糖尿病専門医による糖尿病関連講習会の実施	会長
		蓮田市 歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加及び糖尿病専門医による糖尿病関連講習会の実施	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加（20名）及び糖尿病専門医による糖尿病関連講習会の実施	会長
		幸手市 歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加、糖尿病関連講習会の実施、市内調剤薬局での糖尿病簡易検査への協力	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加、糖尿病関連講習会の実施、市内調剤薬局での糖尿病簡易検査への協力	会長
		白岡市 歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加及び糖尿病専門医による糖尿病関連講習会の実施	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加（20名）及び糖尿病専門医による糖尿病関連講習会の実施	会長
		北埼玉 歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加及び糖尿病関連講習会の実施	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加及び糖尿病関連講習会の実施	理事地域 包括部長
		行田市 歯科医師会	○糖尿病関連講習会の実施、及び行田市内の調剤薬局にて実施している糖尿病の簡易検査の検討	○糖尿病関連講習会の実施、及び行田市内の調剤薬局にて実施している糖尿病の簡易検査の検討	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	○糖尿病治療に関する講習会の実施及び参加	○糖尿病治療に関する講習会の実施及び参加（参加6人×2回）	
		羽生市薬剤師会	○最新の糖尿病治療と医薬品の勉強会	○糖尿病専門医を講師としての勉強会の実施	
		中田病院	○糖尿病研修会への参加	○糖尿病療養士の研修会へ参加。4回/年（例）埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研修会	看護部
		羽生総合病院	○研修会等へ積極的に参加し知識の習得を定期的に行い、専門性の向上を図る。	○専門性の知識向上を図るべく、研修会への参加は継続しつつ、専門医とのディスカッションも必要性を感じている。	地域連携室
		新久喜 総合病院	○専門研修会等へ積極的に参加し知識の習得に努め質の向上を図る。	○専門研修会等へ参加し、知識の習得に努めた。 人間ドック健診情報管理指導士研修会 産業保健セミナー：ストレスチェック制度にける面接指導のやり方集団分析の活かし方。 産業セミナー：健診結果の読み方と保健指導へのつなげ方 日本家族計画協会：保健指導者養成セミナースキルアップ	健康管理 センター
		済生会 栗橋病院	○常勤の糖尿病専門医を招聘することで、院内で糖尿病に関わる勉強会を実施する。併せて、糖尿病チームの専門性のレベルをアップする。	○糖尿病の医師は、非常勤医師の体制であり、平成29年4月からは常勤の専門医1名が赴任しており、多職種によるチーム医療体制を構築する。	診療統括部
		新井病院	○糖尿病治療における専門カンファレンスの参加 ○埼玉利根医療圏地域糖尿病ネットワーク研究会の積極的な参加及び療養指導士の育成	○埼玉利根医療圏地域糖尿病ネットワーク研究会参加者 7月 15名 11月 125名 3月 23名（多職種が参加） ○DMをテーマとした看護協会の研修に参加	看護部
		東埼玉総合病院	○埼玉利根医療圏地域糖尿病療養指導士養成講座開講 ○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会の開催 ○糖尿病登録医・療養指導士の育成（日本糖尿病協会） ○学術・講演会活動の実施 ○地域ぐるみの疾病管理専門部会（DM・CKD・眼科・歯科・認知症・心筋梗塞）	○7期生13人を新規認定（延べ102人が認定） ○年間3回開催 265人の参加 ○糖尿病登録医0名、療養指導0名 ○地域ぐるみの疾病管理専門部会 糖尿病、歯科、フットケア ○CKD領域で活動開始（このうち、CKDでは実際に糖尿病合併症管理料に基づく糖尿病性腎症の重症予防プログラムを）	地域糖尿病セ ンター
白岡中央 総合病院	○看護協会主催の研修会講師派遣 ○糖尿病療養指導士（CDE）・地域糖尿病療養指導士（CDEL）受講（病院医療従事者）	○年間：1名派遣 ○糖尿病療養指導士（CDE）2名受講、地域糖尿病療養指導士（CDEL）1名受講	看護部 糖尿病 認定看護		



### 3 在宅医療

(目標)

安心して在宅医療へ移行してもらうための環境づくりに努めます。

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護職員など多職種が連携したチームで、患者、家族をサポートする体制を構築します。

かかりつけ医とかかりつけ医を支援する地域の中核病院の連携を強化し、地域完結型の医療提供を推進します。

実施主体	主な取組	機関名	平成28年度実施計画	平成28年度実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅医療機関と 入院医療機関の 連携推進	北埼玉医師会	○包括ケアシステムの充実に向けて北埼玉在宅医療連携室が中心 となって推進していく。 ○とねっとの充実	○概ね計画どおり実施	北埼玉在宅 医療連携室
		行田市医師会	○在宅医療実施医療機関の会合を毎月実施し、情報交換を行って いる。	○毎月会合を行い、問題症例については検討している。	会長
		南埼玉郡市 医師会	○在宅医療連携拠点による相談業務の充実 ○多職種連携の強化	○平成27年9月から医師会内に看護師1名を配置し、在宅医療 連携拠点を設置した。 ○同年10月からは、東埼玉病院にサテライトの拠点を設置し た。 ○在宅医療・看護関係者からの相談対応、及び訪問診療医の登 録、在宅療養支援ベッドの確保を実施した。	
		北葛北部医師会	○地域医療、福祉資源の把握及び活用 ○24時間365日の在宅医療、介護提供体制の構築 ○在宅療養支援ベッド確保 ○訪問診療医の登録及び患者情報の共有 ○地域包括支援センター・ケアマネを対象にした支援、効率的な情報共有 のための取組 ○地域住民への在宅医療の普及、啓発	○現状把握についてアンケート調査（計233件、回収127 件） ○情報マップの作成 ○地域の課題抽出、実態把握の情報収集、アセスメント調査（3 回実施） ○ケアカフェ：10回実施、参加者延399名 ○ICTシステム研修会：1回実施、参加者延80名 ○地域包括ケア会議：7回実施、参加者延80名 ○市民の集い：1回実施、参加者230名 ○在宅医療介護理解促進のためのリーフレット作成（3万部） ○暮らしの保健室活動（開催169日、相談者639名、参加者 2,060名） ○みんなのカンファ：8回実施、参加者延121名 ○住民主催の地域ケア会議：4回実施、参加者延75名 ○在宅医療・介護連携推進会議への協力（2回）	在宅医療 連携拠点事 業推進室
		北埼玉 歯科医師会	○行田中央総合病院内に設置した北埼玉地区在宅歯科医療推進窓 口地域拠点の活用	○行田中央総合病院内に設置した北埼玉地区在宅歯科医療推進窓 口活用。羽生・加須地区の窓口サテライトの設置	理事地域 包括部長
		行田市 歯科医師会	○行田中央総合病院内に設置した北埼玉地区在宅歯科医療推進窓 口地域拠点の活用と従来からある行田市在宅歯科医療窓口との整 合性確保	○行田中央総合病院内に設置した北埼玉地区在宅歯科医療推進窓 口地域拠点運営	会長
		行田中央 総合病院	○在宅療養支援病院として、連携する6医療機関との連携強化を 進める。 ○北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点との連携強化を進め る。 ○行田市医師会と協力して在宅連携拠点として往診医の登録等を 進める。	○在宅療養支援病院として、連携医療機関と引続き連携を強化 ○北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点との連携強化を進め た。 ○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催 するミーティングに参加し、連携・多職種協働の動きに対し協力 を行った。	地域連携室
		行田総合病院	○在宅機関との定期的な情報交換 ○在宅機関との入院患者に対するカンファの実施	○在宅機関へ月1回程度訪問し、広報誌や連携だよりによる診療 体制の情報提供を行った。 ○MSWにより早期介入を行い、地域のケアマネへの入院連絡や 退院支援時に在宅機関とのカンファを実施した。	MSW 地域連携室
		羽生総合病院	○地域医療機関との意見交換、情報共有を積極的に行う。	○定期的に地域医療機関による連携会議に参加	地域連携室
		医療法人仁寿会 山田クリニック	○在宅医療機関・入院医療機関・近隣施設との更なる連携強化		医師 全職員

医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅医療機関と 入院医療機関の 連携推進	新久喜総合病院	○医療連携の会の開催、医師会の会合等への参加にて地域医療機関との情報共有に努める。 ○退院前のカンファレンスに参加し患者情報の共有化を図る。	○医療連携の会の開催（3回） ○退院前カンファレンス参加（年間450件）	地域医療課 訪問看護ステーション
		済生会栗橋病院	○地域医療構想に基づき、連携する地域の医療機関と担当する医療の範囲および地域の実情に即した連携体制についての調整を行うことで、急性期医療から在宅医療へのシームレスな体制整備を行い、地域完結型医療を目指す。	○入退院支援課を新たに設け、退院支援を強化するとともに、訪問看護ステーションとも協力して、在宅診療と地域の医療機関と顔の見える関係を構築している。	入退院 支援課
		東埼玉病院	○在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、多職種協働による在宅医療の支援体制等について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組む。また、郡市医師会の在宅療養支援ベッド（バックアップベッド）の輪番に参加し、入院機関として在宅医療機関や患者・家族の在宅療養をサポートする。	○在宅医療・介護関係者連携会議及び医療・介護関係者研修会において、在宅医療・介護連携に関する現状を把握し課題等の対応策について検討を行うとともに、医療・介護関係者によるグループワークを通して、相互理解や適切な支援、情報共有を図った。 ○郡市医師会の在宅療養支援ベッド（バックアップベッド）の輪番に参加し、入院機関として在宅医療機関や患者・家族の在宅療養を推進した。	総合診療科（在宅医療支援センター）
		蓮田病院	○近隣施設との連携強化 ○在宅医療協議会への積極参加 ○地域包括支援センターとの連携と情報支援の強化 ○在宅医療機関との連携強化 ○在宅支援ベッド制度への積極参加（月5回程度の輪番受諾）	○近隣施設との連携強化 ○2市1町（蓮田、白岡、宮代）の在宅医療研修会に参加 ○蓮田市ケアマネ総会への参加・情報交換 ○在宅支援ベッド制度への参加（毎月5回程度受諾日を用意） ○地域包括支援センターと連携強化	病診連携室
		蓮田よつば病院	○かかりつけ医や訪問診療医との連携推進を図るため、定期的な訪問を行い、情報交換を行う。	○双方における患者の紹介や定期的な訪問にて情報共有を実施。 ○蓮田市在宅医療介護連携会議及び代表者委員会等への出席	地域医療 相談室
		東埼玉総合病院	○在宅医療機関と入院医療機関の連携を推進 ○医療介護のさらなる連携を推進するために、地域包括支援センターを囲んでの意見交換会「地域包括ケアワーキング」を定期開催	○在宅医療提供体制充実支援事業において、3病院と登録医17名による在宅医療連携システム開始。初年度登録患者2名 ○サポートケア入院 5名 ○地域包括ケアワーキング 年間10回開催 ○みんなのカンファレンス 年間11回開催	在宅医療 連携拠点事業 推進室
		白岡中央 総合病院	○地域包括ケア課を設立し、地域連携トータルケアの強化 ○在宅療養支援ベッドへの協力 ○リハビリテーション地域連携の会の開催 ○退院前訪問指導の強化（退院支援部門の充実） ○退院前カンファレンスの強化（多職種参加の呼びかけ） ○回復期リハビリテーション病棟と居宅介護支援事業所、訪問介護、訪問看護の連携強化 ○在宅医療を充実させる為、訪問診療、訪問介護の強化、患者・家族を支えるネットワークを拡大し、質の高いQOLを提供	○地域包括ケア課新設 ○体制整えるも依頼なし。 ○地域交流会（第1回7月19日開催 40名参加、第2回9月29日開催 30名参加、平成29年1月13日開催、56名参加）で情報提供を行う。 ○退院前訪問：年間9件 ○退院前カンファレンス：年間429件。 ○当院より介護支援相談員や訪問リハビリ担当者が、退院前カンファレンスに参加する機会が増えている。そのことにより、スムーズな退院調整が可能となってきている。	地域包括 ケア課
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	医療と介護が 連携した多職種 協働の推進	北埼玉医師会	○包括ケアシステムの充実に向けて北埼玉在宅医療連携室が中心となって推進していく。 ○MCSの活用の検討	○北埼玉在宅医療連携室への患者登録数は23人で、連携室も開設後1年が経過したが、順調に稼働している。28年度からMCSを活用した「北彩あんしんリンク」が稼働した。多職種間の患者情報共有も順調に進んでいる。北埼玉在宅医療連携室が成功例と評価され、苫小牧市医師会の方々が視察に来られた。	北埼玉在宅 医療連携室
		行田市医師会	○多職種による在宅医療の会議を実施している。	○例年どおり実施	
		南埼玉郡市 医師会	○南埼玉郡市医師会在宅医療研究会の開催	○9月及び2月に在宅医療研究会を開催した。	
		北葛北部医師会	○多職種連携のための会議・研修の開催	昨年誤って記載	在宅医療 連携拠点事業 推進室
		埼葛歯科医師会	○埼葛地区拠点窓口の活動強化	○埼葛地区拠点窓口の活動強化	会長
		蓮田市 歯科医師会	○在宅医療連携推進協議会への取組強化	○埼葛地区拠点窓口の活動強化	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市健康福祉部高齢者福祉課主催の多職種連携会議への参加と北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点のPR	○行田市健康福祉部高齢者福祉課主催の多職種連携会議への参加と北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点のPR ○ケアマネジャー連絡会での講話	会長

医療機関  
医師会  
薬剤師会  
歯科医師会  
各団体

医療と介護が  
連携した多職種  
協働の推進

羽生市 歯科医師会	○介護関連施設及び障がい者施設での口腔ケア、歯科保健指導 ○医師会、薬剤師会、介護支援専門員等との口腔ケアの重要性について協議	○歯科検診・口腔ケア・歯科保健指導の実施 ○医師会・介護支援専門員の会で協議の実施	
久喜白岡 薬剤師会	○多職種合同の研修会開催予定		在宅介護部会
幸手薬剤師会	○多職種協働の在宅医療研修会を開催する。 ○薬剤師向け在宅医療ステップアップ講習会の参加 ○ケアマネージャー向け講習会開催	○幸手市介護支援専門員連絡協議会において服薬管理に関する講習会実施 ○ケアプラン会議において主に服薬管理に関する相談対応	
杉戸・宮代 薬剤師会	○在宅医療連携推進に関する講習会の参加	○在宅医療連携推進に関する講習会の参加（参加3人×3回）	
行田市薬剤師会	○行田市、行田市医師会、行田市歯科医師会他と連携をしながら推進していく。	○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会で月1回開催されるミーティングにて在宅医療拠点事業・認知症関連・地域包括ケアの参加協力 ○行田市在宅医療・介護連携推進にてワーキンググループの設立に伴う参加の決定	
羽生市薬剤師会	○医師・歯科医師・ケアマネと行政との連携継続	○三師会を通じての医師、歯科医師、行政との情報交換	
行田中央 総合病院	○行田市医師会と連携して在宅医療支援センターを運営し、在宅医療における医師、歯科医師、コメディカル等の紹介する「在宅主治医等紹介システム」を運営する。 ○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催するミーティングに参加し、連携・多職種協働の動きに対し協力していく。 ○多職種連携会議への参加、協力	○行田市医師会と連携して在宅医療支援センターを運営し、在宅医療における医師、歯科医師、コメディカル等の紹介する「在宅主治医等紹介システム」を運営した。 ○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催するミーティングに参加し、連携・多職種協働の動きに対し協力を行った。 ○多職種連携会議に参加し、介護との連携を図った。	地域連携室等
行田総合病院	○地域ケア会議や地域のケアマネ会へ参加して医療と介護の連携を図る。	○MSWやセラピストが多職種連携会議に参加して意見交換を行い、情報共有を図った。	MSW リハビリ
中田病院	○介護施設、ケアマネの会、地域包括ケアセンター等と医療連携	○ケアマネの会定例会へ5回出席。医療と介護の連携。介護施設との定期的な情報交換を実施した。	地域連携・ 訪問看護
羽生総合病院	○訪問リハ、訪問看護、居宅介護支援センター等と連携し医療介護の枠を超えた患者本位の支援体制の構築 ○羽生市の地域包括ケアシステム体制構築への協力	○医療介護の連携は、病院側と介護側で密にコミュニケーションを取っている。 ○地域包括ケアシステム構築へは引き続き協力をさせて頂く。 ○歯科医師会とがん患者歯科治療連携と入院患者口腔ケア実施に関する契約を実施	医療相談室 地域連携室 リハビリ
新久喜 総合病院	○患者、家族が安心して在宅療養できるようかかりつけ医やヘルパーとの情報共有に努める。	○担当者会議に参加し、患者情報の共有を図った。（随時） ○退院前カンファレンス参加	訪問看護 ステーション
済生会 栗橋病院	○保健センター、地域包括支援センターを中核として、地域の医療機関と介護施設との意見交換の場作りをすることで、相互協力の環境整備を行う。	○入退院支援課を新たに設け、退院支援を強化するとともに、訪問看護ステーションとも協力して、在宅診療と地域の医療機関と顔の見える関係を構築している。	入退院 支援課
東埼玉病院	○在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、市町村などの行政とともに多職種協働による在宅医療の支援体制等について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組む。	○在宅医療・介護関係者連携会議及び医療・介護関係者研修会を通して、多職種協働による在宅医療の支援体制について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組んだ。	総合診療科 （在宅医療支 援センター）
蓮田病院	○地域のプライマリケア充実と協力、地域医療提供体制の整理・充実を図る。 ○地域中核医療機関、介護施設との定期的情報支援を図る。	○「とねっと」参画による地域医療連携体制の整備	病診連携室
蓮田よつば病院	○院内地域交流会の開催 ○他施設との協同での地域向け講座の開催 ○オレンジカフェの開催	○地域交流会の開催（28.6、28.10、29.2に実施） ○地域向け認知症講座の開催（自治会やNPO団体、小中学校での認知症サポーター養成講座等の実績） ○はすカフェ（オレンジカフェ）の毎月第一土曜日の開催。	QOL推進部
東埼玉総合病院	○定期的学習会の開催 ○交流会「ケアカフェ」の定期開催 ○医療介護のさらなる連携へ向けた会議の開催 ○在宅医療啓発イベントの開催 ○医療と介護の一体的な提供体制の構築	○定期的学習会及び交流会「ケアカフェ幸手」10回 399人参加 ○北葛北部在宅医療介護連携推進協議会設置、運用開始 ○在宅医療を考える市民の集い（1/31）230人参加 ○「地域丸ごと電話相談」開設、運用開始2,977人	在宅医療 連携拠点事 業推進室

<p>医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体</p>	<p>医療と介護が 連携した多職種 協働の推進</p>	<p>白岡中央 総合病院</p>	<p>○地域連携交流会の開催と継続（近隣施設との連携強化） ○訪問リハビリテーション提供数の拡充 ○訪問リハビリテーション事業所と地域の訪問介護・居宅介護支援事業所、通所リハビリテーション事業所との連携 ○市内セラピストとの連携強化 ○地域包括支援センターとの連携強化を行い、定期的カンファレンスを実施、情報共有し退院指導の充実と、切れ目のない在宅医療の実現</p>	<p>○地域交流会3回実施第1回7月19日開催 40名参加、第2回9月29日開催 30名参加、平成29年1月13日 56名参加）で情報提供を行う。 ○リハビリ提供利用者数：月平均57.9人 ○居宅療養介護支援事業所へ月1回以上の訪問報告。 ○介護保険事業所（通所リハ、通所介護等）のセラピストとの利用者情報共有強化 ○白岡市リハビリテーション連絡協議会を発足し、市内病院、施設セラピストの交流の場を作成し、連携強化を行った。 白岡市高齢介護課に出前講座依頼するなど行政の連携を開始した。</p>	<p>地域包括 ケア課</p>
<p>医療機関 医師会 薬剤師会 各団体</p>	<p>地域完結型 医療の推進</p>	<p>北埼玉医師会</p>	<p>○とねっとの充実 ○各医療機関の役割分担を明確にしていく。</p>	<p>○概ね計画通り実施 「とねっと」登録住民数も2万9千人を突破した。</p>	<p>北埼玉在宅 医療連携室</p>
		<p>行田市医師会</p>	<p>○2病院の連携室を介し、紹介・逆紹介を行っている。</p>	<p>○例年どおり実施</p>	<p>会長</p>
		<p>埼玉歯科医師会</p>	<p>○地域連携病院との関係強化</p>	<p>○地域連携病院との関係強化</p>	<p>会長・ 副会長</p>
		<p>北埼玉 歯科医師会</p>	<p>○地域連携病院の深谷日赤病院との関係強化</p>	<p>○地域連携病院の深谷日赤病院との関係強化</p>	<p>理事地域 包括部長</p>
		<p>行田市 歯科医師会</p>	<p>○地域連携病院の行田中央総合病院、行田総合病院との関係強化</p>	<p>○地域連携病院の行田中央総合病院、行田総合病院との関係強化 と講習会参加</p>	<p>会長</p>
		<p>杉戸・宮代 薬剤師会</p>	<p>○「まちかど介護相談薬局」事業を推進し、患者相談に対応 ○地域包括ケア会議への参加</p>	<p>○相談対応 ○ケア会議に参加</p>	
		<p>行田中央 総合病院</p>	<p>○行田市医師会在宅連携拠点と連携して、かかりつけ医との連携を図る。 ○行田市歯科医師会との連携強化</p>	<p>○行田市医師会在宅連携拠点と連携して、かかりつけ医との連携を図った。 ○行田市歯科医師会との連携強化を行った。</p>	<p>地域連携室</p>
		<p>行田総合病院</p>	<p>○かかりつけ医との連携強化 ○紹介患者の受入及び逆紹介の推進</p>	<p>○近隣医療機関への定期的な訪問を実施して診療体制の情報共有を図った。 ○逆紹介を推進し、かかりつけ医との連携を行った。</p>	<p>地域連携室</p>
		<p>羽生総合病院</p>	<p>○かかりつけ医との連携強化をとり、紹介患者の受入、逆紹介患者の推進を行う。</p>	<p>○紹介患者の受け入れと逆紹介患者の推進は、まだまだ不十分。</p>	<p>地域連携室</p>
		<p>新久喜 総合病院</p>	<p>○医療連携の会の開催や開業医訪問による連携の強化 ○紹介・逆紹介の推進 ○県、後方支援医療機関支援事業への参加による地域医療機関への紹介</p>	<p>○医療連携の会の開催（3回） 地域開業医訪問（1,500件） ○紹介率50%超 逆紹介率70%超</p>	<p>地域医療課</p>
		<p>済生会栗橋病院</p>	<p>○地域医療構想に基づき、地域の医療提供体制の再編が求められているなかで、地域中核病院は地域における病院群としての医療機能を整備すべく、定期的な情報交換を行う場作りを行う。</p>	<p>○入退院支援課を新たに設け、退院支援を強化するとともに、訪問看護ステーションとも協力して、在宅診療と地域の医療機関と顔の見える関係を構築している。</p>	<p>入退院 支援課</p>
		<p>東埼玉病院</p>	<p>○在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、地域完結型の在宅医療の推進等について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組む。</p>	<p>○在宅医療・介護関係者連携会議及び医療・介護関係者研修会を通して、多職種協働による在宅医療の支援体制について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組んだ。</p>	<p>総合診療科（在宅医療支援センター）</p>
		<p>蓮田病院</p>	<p>○引き続き「とねっと」中核医療機関としてこれまで以上に地域医療に尽力する。 ○以下について情報収集と研究会を行い、実現費用を算出する。 ①A I I m社のMySOSというスマホソフトによる地域完結型情報連携 ②クラウド上の直近までの生理検査記録とHL7による電子カルテ情報の連結提供</p>	<p>○利根医療圏における「とねっと」へ中核医療機関として参加 ○「とねっと」拡充に向け埼玉県との交渉、ワーキンググループへの参加 ○埼玉県の勤める「MCS」導入を視野に入れた在宅介護分野との医療連携の推進</p>	<p>経営企画 情報部</p>
		<p>蓮田よつば病院</p>	<p>○訪問看護ステーションの拡充と訪問診療医との連携を図る。 ○認知症初期集中支援チームにて、訪問の強化</p>	<p>○訪問看護師のスタッフ数の増員（+2名） ○認知症初期集中支援チームの訪問等の実績（年間10件）</p>	<p>QOL推進部</p>
		<p>東埼玉総合病院</p>	<p>○地域ケア会議の開催 ○地域包括ケアにおけるワンストップ相談窓口である「暮らしの保健室」の設置場所を各地域に拡大（目標35箇所） ○地域包括ケアシステムの中核的役割を担う。</p>	<p>○住民主催の地域ケア会議の開催 4回 ○暮らしの保健室 35ヶ所（243回開催）</p>	<p>在宅医療 連携拠点事 業推進室</p>

医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	地域完結型 医療の推進	白岡中央 総合病院	○かかりつけ医師との連携強化、紹介、逆紹介の推進「機能分 化」 ○地域医療機関への定期的な訪問 ○地域包括支援センターとの連携強化 ○緩和ケア認定看護師による在宅療養への関連を充実	○共同利用の予約を地域連携課が窓口となり、地域の医療機関と の連携をスムーズに行なっている。 ○営業訪問件数：年間129件 ○地域交流会3回開催（第1回7月19日、第2回9月29日、 第3回平成29年1月13日） ○退院後の患者等に対し、多職種と連携を図り患者支援を行っ た。	地域包括 ケア課
-------------------------------------	----------------	--------------	--	--	-------------

#### 4 健康づくり対策

(目標)

健康と栄養・食生活について正しい知識の普及啓発を図り、生活習慣を改善して病気の発症を予防する「一次予防」を推進します。  
健全な食生活や健康的な生活環境の基盤づくりを進め、個人の健康づくりの取組を積極的に支援します。  
特定健康診査、がん検診の受診率の向上に努め、的確な保健指導を着実に実施します。

実施主体	主な取組	機関名	平成28年度実施計画	平成28年度実績	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生 活習慣病予防に 関する正しい 知識の普及啓発	北埼玉医師会	○単独の事業は計画していない。加須市、羽生市、埼玉県の事業 に積極的に協力していく。	○概ね計画どおり実施	会長
		行田市医師会	○市の関連会議に参加・協力している。	○市の関連会議に参加している。	
		南埼玉郡市 医師会	○会員医療機関において特定健診27,500件実施予定	○会員医療機関において、28,147件の特定健診を実施し た。	
		埼玉歯科医師会	○8020高齢者よい歯のコンクールの開催と啓発活動の強化	○8020高齢者よい歯のコンクールの開催と啓発活動の強化	公衆衛生部
		久喜市 歯科医師会	○個別成人健診	○個別成人健診	会長
		蓮田市 歯科医師会	○個別成人健診 ○健康いきいきフェスティバルでの歯科健診	○個別成人健診 ○健康いきいきフェスティバルでの歯科検診	会長
		幸手市 歯科医師会	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談11月	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談11月	会長
		白岡市 歯科医師会	○個別成人健診、節目健診(40,50,60歳) ○白岡まつりでの歯科参加	○個別成人健診、節目健診(40,50,60歳) ○白岡まつりでの歯科参加	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市健康福祉部高齢者福祉課との連携強化に伴う、「健康達 人塾」への歯科医師派遣や、「長親健口体操」の実施とサポ ーター養成 ○行田市健康福祉部保健センター主催骨粗鬆症予防教室への協力	○行田市健康福祉部高齢者福祉課との連携強化に伴う、「健康達 人塾」への歯科医師派遣や、「長親健口体操」の実施とサポ ーター養成	会長
		加須市 歯科医師会	○個別成人歯科検診 問診や検査に基づき、歯周疾患及び歯ぐきに関する予防や生活習 慣の改善について、保健指導(予防指導)を行う。 ○歯周病予防講座 歯周病専門医による講話	○個別成人歯科検診受診者 223名 ○歯周病予防講座参加者 15名	
		羽生市 歯科医師会	○歯科保健普及啓発事業 羽生市民福祉まつりにて、口腔衛生に関する知識の普及啓 発を行う。	○福祉健康まつりにて、午前・午後歯科健康相談の実施(相 談数10人)	
		久喜白岡 薬剤師会	○老人福祉センターにおいて「正しい薬の使い方」を中心に講演		会長
		幸手薬剤師会	○薬物乱用防止教室を通じて、地域での啓発活動を実施する。 ○健康福祉祭りでHbA1c測定を実施し、糖尿病の啓発活動 を実施する。	○幸手市八坂まつりにて薬物乱用防止啓発活動を実施 ○幸手市健康福祉まつりにてHbA1c測定を実施し、対象 者への受診勧奨	
		杉戸・宮代 薬剤師会	○杉戸の産業祭りにおいて、血圧測定及び健康相談を実施予定	○11/3 杉戸町産業祭において、血圧測定及び健康相談を実施	
		行田市薬剤師会	○日本禁煙学会認定禁煙サポーターを取得し、行田市、行田市医 師会と連携をして禁煙サポーター薬局を展開していく。	○スモーカーライザーにより145名を測定した。そのうち25 名を禁煙外来へ受診勧奨した。また日本禁煙学会でこの取組み を発表した。	
羽生市 薬剤師会	○健康福祉まつりにて、薬の正しい使い方のアドバイス ○薬物乱用防止教室の継続	○健康福祉まつりにて、薬の正しい使い方を指導 ○薬物乱用防止教室の実施			

医療機関  
医師会  
歯科医師会  
薬剤師会  
各団体

健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発

行田中央総合病院	○院内での健康まつりにおける健康啓発講演や各種展示の実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携して、小学校での禁煙教育の実施	○病院主催の健康まつりでの健康啓発講演や各種展示の実施。 ○行田市医師会、教育委員会と連携して、市内小学校8校で禁煙教育を実施。	
行田総合病院	○健康相談等で栄養指導等の実施	○生活習慣予防のための栄養指導を積極的に推進し、糖尿病患者以外へも栄養指導を継続実施した。	栄養科
羽生総合病院	○地域住民を対象とした医療講演を開催し、他医療機関との連携を図り、健康教育や保健指導等予防のための取組を行う。	○地域住民の皆さんを対象に医療講演を148回開催し9,610名の参加を頂いた。	地域連携室 事業部
新久喜総合病院	○健康教室の開催による知識普及 ○保健師派遣による健康教室開催	○地域住民に対し健康教室にて知識普及等を実施した。 ○健康教室の開催(89回 延べ3,500人参加)	地域医療課 健康管理 センター
済生会栗橋病院	○当院が主体的に「出張市民講座」や「健康相談」の場で、保健の推進と生活習慣病に対する情報を行う。	○市民からの要望が多く、「出張市民講座」を年間8回実施した。また、MSWによる「健康相談」を23件院内で開催した。「健康スクエア」では、768名の来場者に対し、血圧測定等を実施した。	健診センター 地域連携課
新井病院	○地域住民を対象とした看護祭りを開催し、健康づくりや生活習慣病予防の啓発活動 ○年2回の市民講座を開催し、健康づくりや生活習慣病予防の啓発活動	○5月 看護祭り開催 ○11月 市民講座開催	看護部
蓮田病院	○院内にて年2回の公開講座 ○埼東読売への健康セミナー原稿の寄稿を継続 ○院内広報誌(年6回)の発行	○2ヶ月に一度公開講座の開催。平成28年6月4日開催内容「糖尿病について」は内科担当医にて実施した。 ○埼東読売への寄稿は毎月行っている。 ○院内広報誌は2ヶ月に一度発行している。	広報委員会
蓮田よつば病院	○認知症サポーター養成講座の定期的な開催と劇団にて、小中学校への訪問を行い、認知症の正しい知識の普及を行う。 ○認知症出前講座を行い、認知症の正しい知識と予防についての講座の開催	○認知症予防事業29.1~29.3まで計6回、延べ地域住民約150名に実施 ○認知症サポーター養成講座の開催実績とステップアップ研修の実施。また、小中学校への劇団による認知症の正しい知識の普及活動を実施。 ○地域の自治会や機関への認知症講座、認知症予防講座の開催を実施。	QOL推進部
東埼玉総合病院	○住民を対象とした市民公開講座を開催し、医療機関、医師会、幸手市と連携し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行う。 ○骨粗鬆症リエゾンサービス委員会において、骨粗鬆症の予防を目的とした医師会作成ポスターの原案の提供・協力を行う。	○市民公開講座を年3回開催した。 後援：幸手市・杉戸町 内容：医療講演、健康測定、各種相談 ①7月25日(土)「がんのはなし」 ②11月21日(土)「防げる、治せる脳卒中！」 ③2月27日(土)「ロコモティブシンドロームと寝たきり予防！」 ※骨粗鬆症リエゾンサービス委員会より骨粗鬆症相談コーナーを出展し、参加者の骨粗鬆症発症リスク測定や健康相談を行った。 ○骨粗鬆症リエゾンサービス委員会において、北葛北部医師会へ「脆弱性骨折の予防を目的とした、骨粗鬆症の検査啓発のためのポスター」の原案を提供。医師会の取組、地域の健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発活動に協力した。	地域医療 推進部
白岡中央総合病院	○市町村イベントへ職員を派遣し健康啓発活動、セラピストによる運動啓発活動、また市民公開講座開催時において自己啓発を促す。 ○スポーツ活動サポートを通じ、スポーツ障害予防への取組を実施	○白岡市医師会主催健康フォーラム(5月21日)や地域包括支援センター主催、生き生きハッピー講座(7月13日)に参加し、地域住民への運動教室や運動啓発活動を行った。 ○バドミントン、サッカーの小中学生に対してサポートを行っている(平日の練習(週1回)、休日の対外試合、遠征でのメディカルサポート)	リハビリテーション技術部 健康管理課
新しらおか病院	○オレンジカフェ参加 ○近隣介護施設等で開催する認知症セミナーへ医師・看護師等講師派遣	○地域のオレンジカフェ参加 ○家族交流会を開催し、院長による講演を実施、認知症疾患について知識の普及のための取組を行った。	看護部 医療相談室

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	行田市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進員養成講座の実施 ○健康講話と調理実習を通じた健康教育 ○田んぼアート、農業祭の参加 ○親子の料理教室の実施 ○特定保健指導食事実践協力 ○健康教育及び健康講座に参加し、食の普及啓発 ○食改全体研修会（ウエルネスセミナー）開催	○食生活改善推進員養成講座の実施 修了者5名 ○健康講話と調理実習を通じた健康教育 8回実施 ○田んぼアート、農業祭、鉄剣マラソン、わらアート 6回参加 ○親子の料理教室 1回実施 ○男の料理教室 1回実施 ○特定保健指導食事実践協力 指導対象者の参加数 11人 ○健康教育及び健康講座に参加し、食の普及啓発 11回実施 ○食改全体研修会（ウエルネスセミナー） 1回開催	保健センター
		加須市母子愛育連合会	○班員が母子保健推進員として受持ち地域の住民へ訪問をし、健康づくりの話題を提供する。	○班員が母子保健推進員として受持ち地域の住民へ訪問をし、健康づくりの話題を提供した。（家庭訪問件数：1, 537件）	健康づくり推進課
		加須市食生活改善推進員協議会	○推進員や市民を対象に講話や調理実習を通じて生活習慣病予防（特に、糖尿病および高血圧予防）を行っていく。 ○市イベントにおいて資料配布やポスター、呼びかけ、試食等を通じて健診受診勧奨や野菜の摂取についての普及啓発を行う。 ○自主活動や出前講座等で子どもから高齢者までの食育活動を継続して行う。	○伝達活動49回657名 ○自主活動122回2, 899名 ○他団体との協働事業25回1, 636名 ○ヘルシークッキング30回673名 ○養成講座6回延べ51人 ○定例リーダー研修会6回157名 ○市民祭りへの参加4回1, 333名試食等提供	健康づくり推進課
		羽生市健康運動普及推進員協議会	○健康運動普及推進員による運動習慣の普及	○健康運動普及推進員による運動教室等の延参加者数10, 086人	健康づくり推進課
		羽生市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進員による調理実習を通じた正しい食習慣の普及 ○市民福祉健康まつりにて、健康づくりに関する知識の普及・啓発	○食生活改善推進員による調理実習を通じた正しい食習慣の普及啓発（回数：40回、参加人員：680名） ○市民福祉健康まつりにて、試食配布（600食）、野菜350g重さ当てクイズ、みそ汁の塩分測定を実施。	健康づくり推進課
		久喜市食生活改善推進員協議会	○保健事業の協力や自主事業、諸団体からの依頼講習会等を通して、子供から高齢者に対し食育の推進に取り組み、また、食を中心とした生活習慣予防に関する知識の普及・啓発を行う。	○バランス栄養講座や減塩食講座の開催及び健康・食育まつり、骨の健康チェックでの試食提供等を実施し、食を通しての生活習慣病等に関する知識の普及・啓発を実施。 ○正月料理講習会、育児中ママのクリスマスクッキング等の自主事業や小学校放課後教室、視聴覚障害者の料理教室、子育て支援センター料理教室、高齢者大学料理教室等の諸団体からの依頼事業を通して、食育の推進を行った。	中央保健センター
		蓮田市食生活改善推進員協議会	○健康まつりにて減塩みそ汁、野菜不足解消等、生活習慣病予防のアドバイスを対面と冊子を配布しながら行う。 ○年間を通じて、食の大切さを取り入れた予防教室を開催し、市民の健康意識を高める。	○健康まつりの食生活改善推進員協議会ブース来所者数1, 200名 ○伝達講習会において生活習慣病予防食の調理実習を実施 15回 200名	健康増進課
		幸手市食生活改善推進員協議会	○健康福祉まつりにて試食や展示を行い、生活習慣病予防につながる食生活や健康づくりに関する知識の普及・啓発 ○生活習慣病予防のための料理教室の実施 ○米料理教室の実施	○健康福祉まつりにて試食や展示を行い、生活習慣病予防につながる食生活や健康づくりに関する知識の普及・啓発（延べ511人） ○生活習慣病予防のための料理教室の実施（1回、延べ17人）	健康増進課
		白岡市食生活改善推進員協議会	○高齢期の食生活 ○米粉料理教室 ○生活習慣病予防のための食生活支援事業	○認知症予防料理教室の開催 参加者21名 ○米粉料理教室の開催 参加者23名 ○生活習慣病予防のための食生活支援事業の実施 参加者19名	健康増進課
		宮代町食生活改善推進員協議会	○各種料理教室において、バランスのよい食生活について簡単な講話や調理実習を実施する。 ○「ヘルスマイトが繋ぐパートナーシップ事業」として、塩分測定器を用いた減塩普及活動を行う。 ○「生活習慣病予防のための食生活改善支援事業」として、生活習慣の改善に向けた講話やヘルシーメニュー（1食あたり野菜120g以上、塩分3g未満）の調理実習を行う。	○料理教室を通じて、生活習慣病予防及び健康づくりに関する普及啓発を行った。（延べ508人参加） ○「ヘルスマイトが繋ぐパートナーシップ事業」調理実習に36人参加。また、地域において塩分測定器等を用いて減塩を呼びかけた。 ○「生活習慣病予防のための食生活支援事業」38人参加。	健康介護課
杉戸町食生活改善推進員協議会	○生活習慣病予防料理教室を開催する。 ○地域の健康づくりの牽引者を養成する「すぎと健康アカデミー」事業協力（調理実習講師等）	○「貧血予防」「骨太」「肥満予防」「血糖値を上げにくくする食事」等をテーマにした料理教室を実施した。	健康支援課		

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	民間企業や地区 組織など、多様 な主体が連携し た健康増進計画 の策定及び推進	北埼玉医師会	○地域産業保健センター運営委員会の構成員として従業員50人未満の会社の産業衛生の増進のための事業を行う。	○概ね計画どおり実施	会長
		行田市医師会	○産業医や産業保健センターによる健康相談を実施している。 ○講演依頼に対応している。	○例年どおり実施	会長
		埼玉歯科医師会	○事業所健診の実施と啓発活動の強化	○事業所健診の実施と啓発活動の強化	会長
		北埼玉 歯科医師会	○保健組合による企業健診への協力	○保健組合による企業健診への協力	理事地域 包括部長
		行田市 歯科医師会	○保健組合による企業健診への協力	○保健組合による企業健診への協力	会長
		久喜白岡 薬剤師会	○久喜健康づくり推進会議への委員派遣		会長
		行田総合病院	○医師や看護師を企業に派遣し、健康のための指導・講演会を実施	○産業医となっている企業や依頼を受けた企業を訪問して、健康指導や講演会を実施した。	医師
		中田病院	○産業医による訪問・指導 ○出張健診(企業健診)の実施	○ストレスチェック検査実施。面談実施の機会を増やしている。	医師 健康推進部
		羽生総合病院	○産業医による定期訪問・指導を行う。	○産業医契約企業数は、26社と契約し、68回定期訪問・指導を行った。	健診セン ター
		済生会栗橋病院	○近隣の行政が主催する健康イベントにおいて、健康相談、医療相談のブースを構えることで、定期的に健康増進のための働きかけを行う。	○行政主催の「久喜市食育セミナー」等に参加し、各種健康相談等を実施した。	看護部
		新井病院	○積極的に産業医を登録し、訪問指導	○公共機関、民間企業の産業医として健康相談及び指導	看護部
		蓮田病院	○特定健診、がん検診等引き続き強化していく。 ○連携強化を図り、地域医療一次予防の充実に貢献する。	○特定健診894件、後期高齢健診269件、胃がん検診818件、大腸がん1,031件、乳がん検診1,042件肺がん検診1,193件(内78件喀痰検査)等実績を上げている。疾患の早期発見も含んで地域貢献度を高めている。 ○当院の検診センターは医療機関直結で、即治療に結びつく利便性が高いシステムとなっている。	広報委員会
		蓮田よつば病院	○自治会や民生委員等と協力し、オレンジカフェを実施する。	○蓮田市飲食店コミュニティ「ネオロータス」の協賛をもらい、オレンジカフェ(はすカフェ)の月一回の定期開催を実施。	地域医療 相談室
		秋谷病院	○産業医の定期訪問・指導 ○企業健診への協力	○労災の加入時健診等の申込の増加	医事課
		白岡中央 総合病院	○特定健診受診増加へ向けた広報活動の強化 ○介護予防事業、日常生活総合事業における行政機関との連携 ○ロコモティブシンドローム、認知症予防のための運動体操の創作 ○体操教室等による住民の通いの場を提供 ○オレンジカフェ開催協力 ○産業医活動を拡大し、企業労働者の生活習慣の見直しを図る。	○8月6日の白岡祭りに参加し特定健診の広報活動実施 ○白岡市リハビリテーション連絡協議会を発足(8月13日) ○院内での介護予防体操や認知症予防のための体操を作成する。 ○体操の作成のみで場所の提供を行わず。 ○オレンジカフェの開催には至らず。 ○ストレスチェックの実施(8月3日)	リハビリ テーショ ン 技術部  健康管理課
山王クリニック	○地域保健センターと連携を図り、継続的に支援ができるようにする。	○4市、町の婦人科検診の受け入れ	医師 助産師 看護師		
新しらか病院	○オレンジカフェ参加	○オレンジカフェ参加、またオレンジカフェにて看護部長による講演を実施、認知症疾患や予防に対する知識の普及のための取り組みを行った。	看護部 医療相談室		



医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	生活習慣病の早期発見と的確な保健指導の推進	北埼玉医師会	○単独の事業は計画していない。加須市、羽生市、埼玉県の事業に積極的に協力していく。	○概ね計画どおり実施	会長
		行田市医師会	○特定健診をはじめ各種検診の受診率向上に協力している。	○左記実施。	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣、あるいは行田市保健センター事業の市民健康大学への講師派遣、保健センター主催骨粗鬆症予防教室への協力	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣、あるいは行田市保健センター事業の市民健康大学への講師派遣	会長
		羽生市 歯科医師会	○成人歯科相談 個々が有する口腔の悩みを解消し、口腔の健康の保持増進に努める。 ○成人歯科検診 40歳以上の方々に対し、歯周病の予防及び口腔の健康の保持増進を行う。 ○8020よい歯のコンクール（北埼玉歯科医師会主催） ○高齢者歯科保健指導 ○歯科食育教室	○成人歯科相談の実施 ○各歯科医院において成人歯科検診の実施 検診数 246人 ○8020よい歯のコンクール 参加者 28人 ○高齢者歯科保健指導の実施 ○歯科食育教室の実施	
		久喜白岡 薬剤師会	○「久喜市食育健康まつり」においてHbA1c測定		会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	○血圧・糖尿病等のパンフレットを配布し、患者相談に対応する。	○相談応需	
		行田中央 総合病院	○特定健診や特定保健指導の充実	○特定健診1630件実施 ○特定保健指導12件実施	健康管理 センター
		行田総合病院	○特定健診や人間ドックの更なる充実	○病院院外広報誌にして毎号健診案内を掲載し、健康診断の実施を促すことで早期発見とその後のフォローを実施した。	健診担当
		中田病院	○特定健診等の更なる充実	○特定健診の実施枠を30件/年増やし、受診者受け入れに努めた。	健康推進部
		羽生総合病院	○医療講演等において生活習慣病の早期発見の啓発活動を行う。	○地域住民の皆さんを対象に医療講演を148回開催し9,610名の参加を頂いた。	事業部
		新久喜総合病院	○健康教室等にて生活習慣病に対する啓発活動。	○健康教室にて生活習慣病の啓発活動（89回）	地域医療課 健康管理 センター
		済生会栗橋病院	○健診センターにおける特定健診や健康診断を通じて、生活習慣病に対する個別指導を徹底する。	○平成28年度は、専従の保健師による特定保健指導を25件実施した。	健診センター
		新井病院	○市民講座で生活習慣病をテーマとして開催。院内掲示やパンフレットを配布し積極的な特定健診や人間ドックの推進	○パンフレット配布や呼びかけによる検診及びドックの受診推奨	看護部
		秋谷病院	○特定健診の啓蒙活動	○院内掲示による、受診患者さんの家族等に対する案内	医事課
白岡中央 総合病院	○看護の日イベントや白岡祭りでの健康相談会にて広報活動を拡大し、特定健診・がん検診の受診数の向上を図る。 ○糖尿病教育プログラムへの参加 ○要受診者に対して受診勧奨の実施	○看護の日、白岡祭りに参加し、参加者に対して特定健診、がん検診を周知した（5月12日約80名、8月6日約90名）。 ○糖尿病教育プログラムの参加 ○要受診者に対して案内を送付し受診を促した（約120名/月）	健康管理課		
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域、学校等における食育の推進	北埼玉医師会	○単独の事業は計画していない。加須市、羽生市の教育委員会に協力し、学校保健委員会を通して推進に努力する。 ○北埼玉地区学校保健会の会長として食育の推進に努力する。	○概ね計画どおり実施	会長
		行田市医師会	○各種会議に出席、協力している。	○左記参加	会長
		久喜市歯科医師会	○久喜市食育健康祭りへの参加	○久喜市食育健康まつりへの参加	会長
		行田市 歯科医師会	○公民館あるいは市内小中学校への食育講話	○公民館あるいは市内小中学校への食育講話	会長
		久喜白岡 薬剤師会	○学校給食委員会において、試食。その内容における意見交換。衛生面での手洗い・マスクの効果があり、必要であるとの意見を発表		会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	○薬物乱用防止教室を通じて、地域に啓発活動を行う。	○薬物乱用防止教室を実施し、啓発活動を実施した。	
		行田市薬剤師会	○学校や地域において食育の講演などを実施していく。	○学校、各種地域団体に対し、食育の講演を数回行った。	

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域、学校等における食育の推進	羽生総合病院	○市内の小中学校等で生徒や保護者、教職員を対象とした医療講演を開催する。	○近隣の小中学校等で心肺蘇生法、食物アレルギー、お母さんのための家庭の医学、薬物乱用防止教室など32回実施。	事業部
		白岡中央総合病院	○白岡祭りや、看護の日等の健康相談会において、子供の食生活に関する食育についての啓蒙活動を実施	○今年度は参加できず。	栄養科
		羽生市食生活改善推進員協議会	○小学生を対象とした親子料理教室の開催	○親子おやつ作り教室の実施（回数：1回、参加者：15名） ○親子お魚クッキング教室の実施（回数：1回、参加者：18	健康づくり推進課
		幸手市食生活改善推進協議会	○市内の小学生とその保護者を対象におやこ料理教室を開催（夏2日・冬1日）	○市内の小学生とその保護者を対象におやこ料理教室を開催（夏2日・冬1日開催、親子延べ113人）	健康増進課

## 5 親と子の保健対策

(目標)

親と子の悩みや不安を相談でき、必要な支援が受けられるような地域社会をめざします。  
 生後なるべく早い時期に乳児のいる家庭の状況を把握することにより、乳幼児のいる家庭の孤立化を防ぎます。  
 また、乳幼児健康診査のさらなる充実で、育児支援や児童虐待の早期発見の機能を強化します。  
 関係機関の連携を強化していくことにより、親と子の成長や発達を支援します。

実施主体	主な取組	機関名	平成28年度実施計画	平成28年度実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	生後4か月ぐら いまでの乳児の 状況把握と育児 支援	北埼玉医師会	○単独の事業は計画していない。加須市、羽生市からの委託事業である乳児健診を通して育児支援を行う。	○概ね計画どおり実施	会長
		行田市医師会	○専門医療機関による個別健診を予定している。	○個別検診を開始。好評を得ている。	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣	会長
		羽生市 歯科医師会	○乳幼児健診 歯科保健指導（3か月） 予定実施回数12回	○生後3か月の乳児の状況把握とおかあさんへの歯科保健指導を12回実施	
		行田総合病院	○附属行田クリニックにて毎週木曜日・金曜日の週2回乳幼児健康診断を引き続き実施する。	○附属行田クリニックにて毎週木曜日・金曜日の乳幼児健診の体制を維持し、実施することができた。	
		土屋小児病院	○診療を通しての育児・哺育指導の実施		
		白岡中央 総合病院	○市内保健センターとの情報共有を実施、適切な報告・相談が出来る体制を整備	○来院時、健診の未受診者がいれば、受診をするよう案内を促した。	小児科
		山王ドーム クリニック	○予防接種の説明会の企画及び実施 ○生後1年までの個別相談に応じる。	○予防接種に関する説明会を月2回程度実施	医師 助産師
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	育児支援に重点 をおいた乳幼児 健康診査の充実	北埼玉医師会	○単独の事業は計画していない。加須市、羽生市からの委託事業である乳幼児健康診査を着実に実施を行う。	○概ね計画どおり実施	会長
		久喜市 歯科医師会	○乳幼児歯科健診の充実 ○親子教室	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子教室	会長
		蓮田市 歯科医師会	○乳幼児歯科健診の充実	○乳幼児歯科検診の充実	会長
		幸手市 歯科医師会	○乳幼児歯科健診の充実 ○親子教室	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子教室	会長
		白岡市 歯科医師会	○乳幼児歯科健診の充実	○乳幼児歯科検診の充実	会長
		宮代町 歯科医師会	○乳幼児歯科健診の充実	○乳幼児歯科検診の充実	会長
		杉戸町 歯科医師会	○乳幼児歯科健診の充実	○乳幼児歯科検診の充実	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣	会長
		加須市 歯科医師会	○歯科相談 ○1歳6か月児、2歳児、3歳児歯科検診 ○歯LOW教室（2歳児、親と子の虫歯予防教室）	○歯科相談 13名 ○1歳6か月健診受診率 95.4%、2歳 94.7%、3歳 93.4% ○歯LOW教室参加者 124組	

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	育児支援に重点 をおいた乳幼児 健康診査の充実	羽生市 歯科医師会	○乳幼児健診 歯科保健指導 10か月 歯科検診及び歯科保健指導 1歳6か月・3歳 ○2歳児歯科検診 ○親子歯科教室 ○フッ化物塗布	○乳幼児健診歯科保健指導10か月の実施 ○歯科検診及び歯科保健指導 1歳6か月 361人 3歳 353人 ○2歳児歯科検診の実施 ○親子歯科教室 ○フッ化物塗布3歳・4歳・5歳児 1,050人	
		土屋小児病院	○乳幼児健診・保育園健診への医師派遣協力		
		白岡中央 総合病院	○乳幼児健康診査の充実 ○小児外来診療日の拡大	○希望者に対する健康診断の実施 ○水曜日の小児科外来を隔週から毎週診療とした。	小児科
		山王ドーム クリニック	○乳児健診の際に助産師と個別相談できる時間を設ける。 ○計測デー実施により、発育・発達の相談に応じる。	○週2回乳児検診を実施。育児相談内容によっては養育支援、連絡票等により、市町と連絡調整を行った。	助産師
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	子どもの心の健 康に関する相談 や情報提供の 充実	北埼玉医師会	○単独の事業は計画していない。児童虐待を含めて市、県の事業に積極的に参加する。	○概ね計画どおり実施	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣 ○行田市単独事業の2歳児歯科検診の実施 ○小学校就学前検診時の歯科講話の実施	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣 ○行田市単独事業の2歳児歯科検診の実施 ○小学校就学前検診時の歯科講話の実施	会長
		久喜白岡 薬剤師会	○久喜市民祭りにおいて、子供の調剤体験を実施予定。薬剤師の仕事の理解の1つと考える。		会長
		土屋小児病院	○臨床心理士を含めた心理外来の実施		
		白岡中央 総合病院	○地域の小児科と連携強化、子供の心のサポートに対応可能な専門機関へ取り次ぐ環境の整備	○小児特定疾患カウンセリング：年間59件実施	小児科
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	関係機関の連携 強化による 子育て支援	北埼玉医師会	○単独の事業は計画していない。児童虐待を含めて市、県の事業に積極的に参加する。	○概ね計画どおり実施	会長
		羽生市 歯科医師会	○受託健康教育 園児歯科保健指導	○保育所・幼稚園にて園児歯科保健指導を実施	
		土屋小児病院	○病児保育の実施 ○地域医療連携のための勉強会への開催や参加		
		白岡中央 総合病院	○小児予防接種の充実	○小児予防接種（インフルエンザ、肺炎球菌、4種混合、麻疹風疹混合ワクチン、日本脳炎等）：年間合計875件実施	小児科
		加須市母子 愛育連合会	○遊びの広場や三世代交流会を開催	○遊びの広場 37回 905人 ○三世代交流会 10回 1,295人	健康づくり 推進課
		羽生市母子 愛育連合会	○乳幼児健診の測定補助 ○市民福祉健康まつりに参加し、赤ちゃんハイハイコンクールの開催 ○家庭訪問にて声かけ活動、赤ちゃん誕生訪問の実施	○乳幼児健診の測定補助 48回 ○赤ちゃんハイハイコンクールの開催 34組参加 ○赤ちゃん誕生訪問の実施 134件	健康づくり 推進課
		久喜市母子 愛育連合会	○各地区保健センターの保健事業への協力（乳幼児健診の補助、教室・がん検診の託児等） ○各地区まつり・フェスタ等への参加協力 ○子育て支援イベントの開催 ○地域の小学校に出向き、授業への協力 ○研修会の開催	○各地区保健センターの保健事業へ協力した。（乳幼児健診の補助、教室・がん検診の託児等） ○各地区まつり・フェスタ等へ参加し協力した。 ○子育て支援イベントを開催した。 ○地域の小学校に出向き、授業へ協力した。 ○研修会を開催した。	中央 保健センター
		蓮田市母子 愛育会	○妊産婦乳幼児の家庭への声掛け訪問（年5回） ○乳幼児健診未受診者への訪問 ○各地域において母子で参加できるイベント（測定会、お茶会、七夕、ハロウィン、クリスマス会、豆まき、消防署見学、お芋堀等）の開催 ○健康まつり・子育てフェスタ等への参加 ○研修会の開催 ○連絡員全員が母子保健推進員の委嘱を受けて活動	○妊産婦乳幼児の家庭への声掛け訪問（年5回延1,803回） ○乳幼児健診未受診者への訪問 ○各地域において母子で参加できるイベント（測定会、お茶会、七夕、ハロウィン、クリスマス会、豆まき、消防署見学、お芋堀等）の開催（年45回958名参加） ○健康まつり・子育てフェスタ等への参加 ○研修会の開催（年2回） ○連絡員全員が母子保健推進員の委嘱を受けて活動	子ども支援 課
		幸手市母子 愛育会	○健康増進課の保健事業に託児協力 ○地域の小学校に出向き、「いのちの大切さ事業」を実施 ○健康まつりに参加	○健康増進課の保健事業に託児協力（年6回） ○地域の小学校に出向き、「いのちの大切さ事業」を実施（年8回対象児童311人） ○健康まつりに参加（年1回、来場者826人）	健康増進課

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	関係機関の連携 強化による 子育て支援	白岡市母子 愛育会	○保健センターの保健事業に託児協力 ○健康まつりに参加 ○幼児教室等を実施 ○家庭訪問にて声かけ運動の実施	○離乳食教室の託児 月1回実施。 母親学級の受付、愛育会のPR 年4回実施。 ○健康まつり「赤ちゃん広場（手形）」を実施 180人参加。 ○幼児教室 年4回実施 計133組参加。 地区幼児教室 年12回実施 計103組参加 料理教室 年2回実施 計24組参加。 乳幼児のための救急法の実施 親11名参加 食生活改善推進員協議会との協働による料理教室の実施 7組参加。 ○家庭訪問による声かけ運動の実施。	健康増進課
		杉戸町母子 愛育会	○乳幼児への訪問及び乳幼児健診未受診者への訪問実施 ○年2回 母と子のつどいを開催 ○保健センター事業への協力 ・離乳食教室で保育協力 ・ママパパ教室で技術協力 ・骨粗鬆症・乳がん子宮がん検診会場において保育協力	○乳幼児訪問383回 ○母と子のつどい 2回開催 ○保健センター事業への協力 ・離乳食教室で保育 4回 ・ママパパ教室 3回 ・骨粗しょう症・乳がん子宮がん検診で保育 4回	健康支援課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	休日・夜間における適正な小児科受診の啓発	北埼玉医師会	○単独の事業は計画していない。会員の各医療機関での啓発を促す。	○概ね計画どおり実施。加須市からの委託事業として医師会員による出前講座「子供の急病時の対応」を4回（地域別）実施し	会長
		行田総合病院	○小児救急医療支援事業への継続的支援として、祝日の月曜日・金曜日の日中、月曜日・金曜日の夜間、第2・第4土曜日の夜間にて小児外来診療及び小児救急診療を継続して実施する。	○計画どおり、祝日の月曜日・金曜日の日中、月曜日・金曜日の夜間、第2・第4土曜日の夜間にて小児外来診療及び小児救急診療の体制を維持し、実施することができた。	小児科
		羽生総合病院	○小児救急医療を土曜日の午後、日曜、祝日にて小児外来診療及び小児救急医療を継続して行う。	現状の診療体制を維持出来たので今後も継続する。	小児科
		土屋小児病院	○小児二次救急体制の確保 ○小児二次救急診療及び電話対応トリアージを通しての適正受診啓発実施		
		白岡中央 総合病院	○自院で対応出来ない分、休日・夜間に必要となる受診に関し、適切な情報提供の実施	○休日、夜間における患者からの問い合わせに対し、マニュアル等を整備、適切な案内を行える体制とした。	小児科

## 第6次地域保健医療計画の平成28年度取組項目進捗状況

(市町・保健所)

第6次地域保健医療計画の平成28年度取組項目進捗状況調査票

1 脳卒中医療

（目標）

予防重視の観点から、医療機関、医師会、医療保険者、市町で連携を強化し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行います。  
脳卒中の予後改善を図るため、病院前救護から急性期・慢性期の治療やリハビリ、在宅医療までの医療連携体制の構築を推進します。

利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」の地域連携クリティカルパスを活用するなど、プレホスピタル・ケアから在宅医療に関わる複数の機関における患者情報の共有化を図り、良質な医療提供に努めます。

患者が病期に応じ、適切なケアが享受できるよう医療情報システムや介護・福祉サービスの情報提供を行います。

実施主体	主な取組	機関名	平成28年度実施計画	平成28年度実績	評価	担当課名
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	高血圧等脳卒中ハイリスク者に対する保健指導の充実	加須市	○保健師、管理栄養士による健康相談の実施 ○重点健康相談（高血圧予防）の実施	○健康相談 195回実施（1,014名） ○重点健康相談（高血圧予防）1回実施（22名）	B	健康づくり推進課
		久喜市	○健康相談及び栄養相談を実施する。 ○特定保健指導を実施する。	○健康相談及び栄養相談を実施した。 ○特定保健指導を実施した。	A	中央保健センター
		蓮田市	○健康相談を実施する。 ○特定保健指導を実施する。 ○特定保健指導対象外で高血圧や脂質異常症、糖尿病等リスクの高い者に対して、健康相談を実施する。 ○特定健診結果の受診勧奨値の者に対しては、必要に応じて受診確認及び受診勧奨を実施する。	○特定健診結果配布時に医療機関から健康相談の案内を配布し定例健康相談の周知を図った。また特定健診結果で特定保健指導対象外の者へ電話による健康相談を実施した。 ・定例健康相談実施数 7回 48名 ・特定保健指導実施数 105名 ・特定保健指導対象外者への電話健康相談数 142件	A	健康増進課
		幸手市	○特定保健指導実施時、高血圧、高脂血症、高血糖、肥満傾向の有る方に生活習慣の見直しなどの保健指導を実施する。 ○成人健康教育で「見えない塩分を知る教室」を実施 ○成人健康相談で健康相談を実施する。	○特定保健指導実施時、高血圧、高脂血症、高血糖、肥満傾向の有る方に生活習慣の見直しなどの保健指導を実施 ○成人健康相談で月1回健康相談を実施。 ○健康福祉まつりで健康相談を実施。	B	健康増進課
		白岡市	○集団健診結果説明会で、希望者に健康相談を実施する。 ○パンフレット等の配布を行い、疾患に対する知識の普及啓発を行う。	○集団健診結果説明会で、希望者に健康相談を実施した。123件 ○パンフレット等の配布を行い、疾患に対する知識の普及啓発を行った。	B	保険年金課
		宮代町	○特定保健指導を実施する。	○特定保健指導94名（積極的：9名 動機付け：85名）実施	A	健康介護課 健康増進担当
		幸手保健所	○保健指導従事者に対し保健指導スキルアップ研修会の実施	○働く世代の健康づくり研修会の開催 H28.9.29 参加者35名 ○特定健診・保健指導分析・評価研修会の開催 H28.12.16 参加者28名	A	総務・地域保健 推進担当 保健予防推進担当
市町（国民健康保険、教育委員会及び消防機関を含む）保健所	医療機関と消防機関との連携によるプレホスピタル・ケアの充実	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」が持つ救急現場での患者情報参照機能等について、医療機関、消防機関及び住民への普及啓発を行い、利用を促進する。 ○市内救急告示病院事務担当者との連絡調整会議を開催する。	○市ホームページに掲載するとともに、防災訓練等で、「とねっと」の救急面での活用についてPRを行い、普及啓発に努めた。 ○市内救急告示病院事務長との連絡調整会議を開催し、救急搬送における現状と課題等について意見交換を行った。 （第1回 平成28年7月22日、第2回 平成28年12月13日）	A	医療体制推進課
		幸手保健所	○救急医療対策協議会において、各医療機関及び消防機関との連携を図る。	○H29.2.14 東部北地区救急医療対策協議会 出席委員27名	A	総務・地域 保健推進担当
		加須保健所	○救急医療対策協議会において、各医療機関及び消防機関との連携を図る。	○H29.2.14 東部北救急医療対策協議会及び小児救急医療部会会議 33人	A	総務・地域 保健推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	地域連携クリティカルパスを活用した医療連携体制の整備	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」の連携パス機能について、医療機関等への普及啓発を行い、利用を促進する。	○「とねっと」の協議会総会や協議会だよりを通じて、医療機関等に連携パス機能の利用を呼びかけるなどし、普及に努めた。	A	医療体制推進課
		加須保健所	○地域連携クリティカルパス等を利用した医療連携体制の支援に努める。	○参加医療機関103施設 参加者29,940人	A	総務・地域 保健推進担当

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への情報提供	加須市	○埼玉県救急医療情報センター、埼玉県医療機能情報提供システム及び夜間・休日における市内在宅当番医等の情報を、広報紙、ホームページ等で情報提供する。 ○市内救急告示病院事務担当者との連絡調整会議を開催する。	○毎月発行の「市報かぞおしらせ版」や市ホームページに埼玉県救急医療情報センター、埼玉県医療機能情報提供システム及び夜間・休日等における市内在宅当番医等の情報を掲載し、市民に情報提供した。 ○市内救急告示病院事務長との連絡調整会議を開催し、市民への情報提供等について意見交換を行った。 (第1回 平成28年7月22日、第2回 平成28年12月13日)	A	医療体制推進課
		幸手保健所	○医療機能情報システムを活用し、住民に対して必要な医療機関、医療機能等の情報提供を推進する。	○依頼 457件 提出 398件 進捗率 87.1%	B	総務・地域保健推進担当
		加須保健所	○医療機能情報システムを活用し、住民に対して必要な医療機関、医療機能等の情報提供を推進する。	○依頼259件 提出243件 進捗率93.8%	A	総務・地域保健推進担当

## 2 糖尿病医療

(目標)

特定健診・保健指導を効率的効果的に実施し、自覚症状のない早期の段階で、生活習慣の改善を図り、QOLの向上のため糖尿病予防に努めます。

早期診断された患者の悪化防止のために、標準的な糖尿病教育プログラムが受けられるような医療機関を増やします。

初期・安定期の治療や保健指導について、かかりつけ医と専門医療機関が地域で共通したパスを活用した情報提供システムの普及啓発を目指し、病院と診療所の連携強化を図ります。

地域の管理栄養士等の質の向上と指導の標準化を図るため、市町、医師会が協力して地域として糖尿病教育の質が向上するような研修会を実施します。

実施主体	主な取組	機関名	平成28年度実施計画	平成28年度実績	評価	担当課名
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	特定健診・保健指導の効果的な実施	行田市	○特定健康診査、特定保健指導の案内通知の工夫 ○健診未受診者への受診勧奨の実施 ○特定健康診査、特定保健指導の普及啓発（ポスターやPR活動を行う）	○未受診者に対し、勧奨はがき、勧奨電話を実施 ○保健協力会、民生委員等市内団体に対し、特定健診のPRを実施。また、医療機関、公共施設のほか、28年度から市内薬局にポスターを掲出。公用車にマグネットを貼付しPRを実施	A	保険年金課 保健センター
		加須市	○実施要領に基づき関係機関と連携し、受診率向上に努める。	○各地域健康まつりでの受診啓発ティッシュ配布 ○各保健センターへのポスター掲示やのぼり旗設置 ○広報紙やホームページへの掲載	B	国保年金課
			○保健指導プログラムを基に、特定保健指導を実施していく。	○特定保健指導（前年度開始の者含む）延212名(29.0%) 動機付け支援 延192名 積極的支援 延 20名	B	健康づくり推進課
		羽生市	○特定健診にe-GFR値の検査を実施 ○受診勧奨2回実施 ○特定健診受診券同封案内に、実施医療機関の土曜の実施状況を記載する。 ○商工会会員へのチラシ配布、夏祭り・健康まつり、東部地区共同での受診勧奨PRを実施	○特定健診にe-GFR値の検査を実施 ○受診勧奨 2回実施 1回目：H28.8.15時点での未受診者（9,864人） 2回目：H28.10.15時点の未受診者のうち、45歳の男女、受診率の低い地区に勧奨通知を発送（942人） ○特定健診受診券同封案内に、土曜日の健診実施医療機関を掲載 ○商工会会員へチラシ配布、夏祭り、健康まつり、東部地区共同での受診勧奨PRを実施	A	国保年金課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	特定健診・保健指導の効果的な実施	久喜市	<p>○未受診者へ圧着タイプの受診勧奨はがきを送付（8月下旬予定）。目を引くようカラー刷りとする。</p> <p>○若い世代への浸透を狙い、SNS（市公式フェイスブック、ツイッター）による受診啓発を行う。</p> <p>○本庁および各支所窓口に、受診啓発スローガンやポスターを掲示する。</p> <p>○市民まつり、健康食育まつり等において、特定健診PR用のポロシャツを着用し、啓発品の配布と共に受診勧奨を行う。</p> <p>○視覚的PRの充実のため、久喜市けんこう大使である、ゆるキャラのイラストを使用する。（→掲示用スローガン、ポスター、受診勧奨はがき、啓発品、PR用ポロシャツ、特定保健指導受診券送付用封筒等）</p>	<p>○未受診者へカラー刷り4面圧着はがきを8月上旬送付。（29,162通）</p> <p>○6月、11月に、公式フェイスブック、ツイッターに受診啓発記事を掲載。</p> <p>○特定健康診査等の共同広報事業（ラジオCM・テレビCM）に参加。特定健診受診促進合同PRキャンペーンに参加（イオンモール春日部）。</p> <p>○本庁および各総合支所窓口に受診啓発スローガンの掲示（6月～11月）</p> <p>○市民まつり等の各種イベント（5回）で特定健康診査PRポロシャツの着用を実施。11月1日に、国民健康保険課職員20名でポロシャツ着用。</p> <p>○健康食育まつりで特定健康診査アンケートの実施（252人）。</p> <p>○本庁および各総合支所窓口、健診実施医療機関にポスターの掲示（6月～11月）</p> <p>○久喜市健康大使のゆるキャラのイラストを使用（掲示用スローガン、ポスター、受診勧奨はがき、啓発用ティッシュ、PRポロシャツ）に使用。</p> <p>○啓発品の配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康食育まつりでボールペン300本、ティッシュ300個配布。</li> <li>・市民まつり等（4回）でティッシュを合計1,200個配布。</li> <li>・本庁、各総合支所市民課窓口、各（4ヶ所）保健センターで特定健康診査啓発用ティッシュ合計3,500個の配布。</li> </ul> <p>○特定健康診査実施医療機関に治療中の方への受診勧奨の協力依頼を行った。</p>	A	国民健康保険課
			<p>○特定保健指導の未利用者に対して、郵便、訪問、電話等で利用勧奨を実施する。</p> <p>○保健指導従事者の資質向上のため研修会へ参加する。</p>	<p>○特定保健指導対象者への案内通知を送付した。</p> <p>○特定保健指導の未利用者に対し、電話、訪問、郵便等による利用勧奨を実施。</p> <p>○資質向上のため、県主催等の研修会へ参加。</p>	A	中央保健センター
		蓮田市	<p>○特定健診の結果で医療が必要と思われる者に対し、受診勧奨を実施する。</p> <p>○特定保健指導対象者に対しては、実施率が向上するよう案内通知等の工夫や電話や訪問等による利用勧奨を実施する。</p> <p>○特定保健指導対象外で保健指導が必要な者に対して、健康相談等を実施する。</p>	<p>○特定健診結果で受診勧奨値の者に対して、電話による健康相談を実施し重症化の予防に努めた。また、特定保健指導の実施率が向上するよう利用勧奨の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導対象外者への電話健康相談数 142件</li> <li>・特定保健指導対象者へのはがき及び電話による利用勧奨を実施</li> <li>・特定保健指導の利用申込のなかった者に対し再度別日程の案内通知を送付</li> </ul>	A	健康増進課
		幸手市	<p>○特定健診（集団健診）を受診した40～74歳の方に対し、結果説明会を実施し、必要に応じて受診勧奨や、食生活相談・糖尿病教室への参加を勧める。</p> <p>○特定保健指導の未利用者に対して、通知、電話等による利用勧奨を実施する。</p> <p>○庁舎内や公用車に特定健診の受診勧奨のポスターなどの掲示を行い、受診者数向上を図る。</p>	<p>○特定健診（集団健診）を受診した40～74歳の方に対し、結果説明会を実施し、必要に応じて受診勧奨や健康相談・健康教育を案内した。</p> <p>○特定保健指導の未利用者に対して、健診結果郵送とともに通知で利用勧奨を実施した。</p> <p>○庁舎内や公用車に特定健診の受診勧奨のポスターなどの掲示を行い、受診者数向上を図った。</p>	A	保険年金課 健康増進課
		白岡市	<p>○集団健診は夏期、秋期に分けて、土曜日に実施するとともに胃がん検診、肺がん検診と同時実施することにより、受診しやすい環境を整える。</p> <p>○コールセンターを設置して受診勧奨を予定。未受診者へはがきを発送する。</p> <p>○集団健診の結果説明会で、特定保健指導の対象者には初回面接を行い利用率の向上を図る。</p> <p>○継続した受診をしてもらうため、受診者には啓発用ボールペンを配布する。</p> <p>○各種団体の総会などでPRを行う。蓮田市と合同PR、東部地区のPRイベントに参加する。</p> <p>○個別健診実施医療機関にのぼり、ポスターを配布して健診をPRする。</p>	<p>○集団健診は夏期、秋期に分けて、土曜日にも実施するとともに胃がん検診、肺がん検診と同時実施することにより、受診しやすい環境を整えた。受診者569件</p> <p>○コールセンターを設置して3,598件（世帯2,712件）受診勧奨を実施した。未受診者へはがきを1,748件発送した。</p> <p>○集団健診の結果説明会で、特定保健指導の対象者には初回面接を行い利用率の向上を図った。</p> <p>○継続した受診をしてもらうため、受診者には啓発用ボールペンを配布した。</p> <p>○各種団体の総会などでPRを行ない、東部地区のPRイベントに参加し、啓発用品を500個配布した。また、健康まつりでも啓発用品2,000個を配布した。</p> <p>○個別健診実施医療機関にのぼり、ポスターを配布して健診をPRした。</p>	B	保険年金課



市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	特定健診・保健指導の効果的な実施	宮代町	<p>○特定保健指導において案内通知や電話による利用勧奨を行う。 ○対象者に沿った特定保健指導を実施する。 ○集団特定健診を受診した40代の方に、検査結果に沿った情報提供を行う。</p> <p>○町内の個別健診実施医療機関にのぼり、ポスターを配布して特定健診をPRする。 ○新たに特定健診の対象となった40歳の方及び過去3年で受診実績がある方のうち、集団健診を未申込の方に受診勧奨通知を発送する。 ○特定健診と胃がん・肺がん・大腸がん検診のうち2つ以上を併せて受診した方を対象に、40歳新規の受診者全員及び41～69歳の対象者から抽選で100名に町内で使用できる商品券を配布する。</p>	<p>○特定保健指導対象者に案内通知を出し、利用勧奨に伴う電話連絡を131人に実施。 ○特定保健指導実施者数94人（積極的：9人 動機付け：85人）。そのうち、個別相談32人、栄養教室46人、運動教室延べ571人に実施（7月末時点）。 ○集団健診を受けた40代53人に、検査結果に沿ったリーフレットを送付。</p> <p>○町内の個別健診実施医療機関にのぼり、ポスターを配布して特定健診をPRした。 ○新たに特定健診の対象となった40歳の方及び過去3年で受診実績がある方のうち、集団健診を未申込の方に受診勧奨通知を発送した。 ○特定健診と胃がん・肺がん・大腸がん検診のうち2つ以上を併せて受診した方を対象に、40歳新規の受診者全員及び41～69歳の対象者から抽選で100名に町内で使用できる商品券を配布した。</p>	A	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	<p>○集団健診は土・日も開催するとともに胃がん検診、肺がん検診、大腸がん、前立腺がんと同時に実施することにより、受診しやすい環境を整える。 ○受診勧奨はがきを発送する。受診勧奨架電 ○集団健診の結果相談会で、特定保健指導の対象者には初回面接を行い、利用率の向上を図る。</p>	<p>○特定健診集団（2か所）・個別の実施。土日にも開催。 ○特定健診受診者数 3, 120人 受診率33.3%（H29.4月集計分まで） ○受診勧奨はがき発送。受診勧奨の架電を実施 ○特定保健指導 142人 指導終了割合32.3%（H28年度） ○40～74歳の方を対象に結果相談会を実施</p>	A	健康支援課
		幸手保健所	<p>○保険者、事業所、健診機関等の関係者を対象にした会議や研修会を開催</p>	<p>○働く世代の健康づくり研修会を開催 H28.9.29実施 参加者35名 ○特定健診・保健指導分析・評価研修会を開催 H28.12.16実施 参加者28名</p>	A	総務・地域保健 推進担当 保健予防推進担当
		加須保健所	<p>○保健指導担当者の資質向上を目的として、研修会を開催する。</p>	<p>○保健指導スキルアップ研修会を開催。H29.1.12 25人参加 ○特定健診・特定保健指導担当者会議を開催。 H28.8.31 11人参加</p>	A	保健予防推進担当
		行田市	<p>○歯周病予防教室の実施（糖尿病や生活習慣病等に関する内容も盛り込む。） ○糖尿病個別相談の実施 ○糖尿病腎症を含めた腎臓病予防講座の実施</p>	<p>○歯周病予防教室を実施した。（2回 参加者数35人） ○糖尿病個別相談を実施した。（3回 参加者数3人） ○糖尿病腎症を含めた腎臓病予防講座を実施した。（1回 参加者数58人）</p>	A	保健センター
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	糖尿病患者の教育プログラムの充実	加須市	<p>○健康相談等での保健指導、栄養指導を実施 ○重点健康相談（糖尿病予防）実施</p>	<p>○健康相談 195回実施（1,014名） ○重点健康相談（糖尿病予防）1回実施（28名）</p>	B	健康づくり推進課
		羽生市	<p>○モデル事業に引き続き、埼玉県方式として国保連と共同で「糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく生活習慣病重症化予防対策事業」を実施 ○H27年度生活指導実施者に対し、継続支援を実施</p>	<p>○国保連と共同で「糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく生活習慣病重症化予防対策事業」を実施（8人） ○H27年度生活指導実施者に対する継続支援実施（3人）</p>	A	国保年金課
		蓮田市	<p>○糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施する。 ○市民健康講座として糖尿病予防についての講座を実施する。 ○健康相談を実施し、重症化予防を図る。</p>	<p>○糖尿病性腎症重症化予防対策事業 ①受診勧奨：3名 ②保健指導：10名 ○市民健康講座 血管げんき教室：72名 ○定例健康相談 実施回数 7回 糖尿病についての相談者 延べ11名</p>	A	健康増進課
		幸手市	<p>○健康相談・栄養相談等での保健・栄養指導の実施 ○特定健診受診結果から受診勧奨値の者に対し、受診勧奨を実施 ○糖尿病性腎症重症化予防のための生活習慣改善支援プログラムの実施</p>	<p>○健康相談・栄養相談等での保健・栄養指導の実施（市内医療機関からの紹介ケースもあった）（健康相談 12回延42人、栄養相談32回、延56人） ○特定健診受診結果から受診勧奨値の者に対し、受診勧奨を実施 ○糖尿病性腎症重症化予防のための生活習慣改善支援プログラムを6ヶ月実施（6人参加、全員HbA1cの数値改善） ○糖尿病予防教室（医師講話・管理栄養士による講話と調理実習）を実施（2日間、延べ46人参加）</p>	A	健康増進課 保険年金課
		白岡市	<p>○埼玉県共同事業の「糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく生活習慣病重症化予防対策事業」に参加</p>	<p>○生活保健指導 14名 継続支援 4名 受診勧奨 20名</p>	B	保険年金課
		宮代町	<p>○集団特定健診においてHbA1c値が基準以上であった方に、改善に向けた教室を開催する。</p>	<p>○血糖コントロール教室43名（延べ158名）に実施。</p>	A	健康介護課 健康増進担当
			<p>○糖尿病性腎症重症化予防事業の実施</p>	<p>○糖尿病性腎症重症化予防事業を実施した</p>	A	住民課 国保年金担当

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	糖尿病地域医療連携システムの構築	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」の連携パス機能について、医療機関等への普及啓発を行い、利用を促進する。	○「とねっと」の協議会総会や協議会だよりを通じて、医療機関等に連携パス機能の利用を呼びかけるなどし、普及・啓発に努めた。	A	医療体制推進課
		久喜市	○保健指導従事者の資質向上のため、研修会へ参加する。	○資質向上のため、研修会へ参加した。	A	中央保健センター
		蓮田市	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	○埼玉県主催の糖尿病性腎症重症化予防プログラムの説明会に参加。また、そのほか糖尿病の内容を含む研修会に参加。	B	健康増進課
		幸手市	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	○特定健診・保健指導、生活習慣病重症化予防等各種研修会に参加し資質の向上を図った。	A	健康増進課
		幸手保健所	○保険者、事業所、健診機関等の関係者を対象にした会議や研修会を開催	○働く世代の健康づくり研修会 H28.9.29実施 参加者35名 ○特定健診・保健指導分析・評価研修会 H28.12.16実施 参加者28名	B	総務・地域保健推進担当 保健予防推進担当
		加須保健所	○保健指導担当者の資質向上を目的として、高血圧、糖尿病に関する研修を実施する。	○保健指導スキルアップ研修会を開催。H29.1.12 25人参加	A	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	糖尿病治療及び保健指導を担う専門職の質の向上	加須市	○研修会等への参加	○保健所や国保連主催の研修会に参加した。	B	健康づくり推進課
		白岡市	○保健指導従事者の資質向上のため、研修会に参加する。	○保健指導従事者の資質向上のため、研修会に参加した。	B	保険年金課
		宮代町	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	○資質向上のため、研修会等へ参加。	A	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図った。	A	健康支援課

### 3 在宅医療

（目標）

安心して在宅医療へ移行してもらうための環境づくりに努めます。

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護職員など多職種が連携したチームで、患者、家族をサポートする体制を構築します。

かかりつけ医とかかりつけ医を支援する地域の中核病院の連携を強化し、地域完結型の医療提供を推進します。

実施主体	主な取組	機関名	平成28年度実施計画	平成28年度実績	評価	担当課名
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	在宅医療機関と入院医療機関の連携推進	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」を活用した情報共有及び医療連携の推進 ○在宅医療の連携拠点となる北埼玉在宅医療連携室への支援 ○在宅療養後方支援ベッドの確保及び周知	○加須市在宅医療・介護連携推進委員会を設置し、地域医療ネットワークシステム「とねっと」を活用した、多職種間の連携や情報共有等について協議を進めた。 ○北埼玉在宅医療連携室への情報提供、事業協力等の支援 ○在宅療養支援ベッドを確保（365日、利用者10人）	A	医療体制推進課 高齢者福祉課
		幸手保健所	○歯科医師会、市町保健福祉関係職員、介護保険施設職員等の連携を推進するため「歯科口腔保健連携研修会」を実施する。	○「歯科口腔保健連携会議」H29.1.12実施 参加者23名	B	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	医療と介護が連携した多職種協働の推進	行田市	○行田市在宅医療・介護連携推進協議会を開催し、医療と介護連携の情報共有ツールの運営ルール、多職種研修の内容、切れ目のない在宅医療・介護提供体制の構築の検討を行う。 ○多職種の顔の見える関係づくりとして合同意見交換会を引き続き実施 ○介護資源マップの管理、更新 ○機能強化型地域包括支援センターを設置し、業種別介護事業所団体との連絡、連携を図る。 ○医師会導入の情報共有システム（MCS）の運営開始 ○三師会・市、機能強化型地域包括支援センターとのミーティングを継続	○行田市在宅医療・介護連携推進協議会発足。委員10名。第1回協議会を平成28年9月12日（月）開催した。 ○第4回行田市在宅医療と介護の連携推進に係る多職種合同意見交換会を平成29年1月28日（土）に開催。参加者85名。グループワーク「在宅高齢者の医療と介護をどう支えるか」～多職種の連携の実際～として、事例検討、情報共有システム（MCS）の模擬運用研修を実施。 ○介護資源マップの更新（事業所の内容更新） ○機能強化型地域包括支援センターを1か所指定。在宅医療・介護連携推進事業の一部の業務を委託した。 ○情報共有システム（MCS）の運用開始。実績：1事例 ○三師会・市、機能強化型地域包括支援センターとのミーティングを12回開催。	A	高齢者福祉課
		加須市	○在宅医療・介護連携推進委員会及び分科会の開催を通じた顔の見える関係づくり及び課題に関する検討等の推進 ○在宅医療の連携拠点となる北埼玉在宅医療連携室への支援 ○医療・介護連携のための新たなICTの導入支援 ○在宅医療・介護に関する市民向けリーフレットの作成・活用	○在宅医療・介護連携推進委員会を開催（6回） ○ICT（北彩あんしんリング）を導入稼働（平成29年3月～） ○市民への啓発用リーフレットを作成配布（2,000部）	A	高齢者福祉課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	医療と介護が連携した多職種協働の推進	羽生市	○医師会、歯科医師会、薬剤師会、総合病院、特養、老健、居宅介護支援事業所で構成された検討会において、多職種協働による医療と介護の連携推進について引き続き協議を進め、連携に必要な事業について適宜実施していく。	○在宅医療・介護連携推進会議の設置（会議5回、加須市との合同会議2回開催） ○H30年度からの在宅医療・介護連携のための相談窓口委託に係る協議の開催（県を含む会議2回、加須市等との協議）	B	高齢介護課
		久喜市	○地域の医療、介護の資源の把握 ○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ○医療関係者・介護関係者の研修 ○地域住民への啓発（フォーラムの開催）	○久喜市在宅医療・介護連携推進会議を3回実施し、在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策について協議した。 ○在宅医療・介護関係者研修会を実施し、顔の見える関係作りにつなげた。 ○在宅医療・介護連携フォーラムを開催し、市民への普及啓発に努めた。	A	介護福祉課
		蓮田市	○「蓮田市、白岡市、宮代町在宅医療・介護連携推進事業の共同実施に関する協定書」に基づき、医療・介護関係者連携会議及び研修会を開催し、現場レベルでの多職種協働を推進する。 ○医療・介護関係組織、団体の代表者で構成される代表者会議を開催し、多職種協働のための体制構築、施策化を図る。 ○多職種が連携しやすいよう在宅医療連携ガイドを作成する。	○医療・介護関係者連携会議を3回、研修会を3回開催し、現場レベルでの多職種協働を推進した。 ○医療・介護関係組織、団体の代表者で構成される代表者会議を2回開催し、多職種協働のための体制構築、施策化を図った。 ○在宅医療・介護資源実態調査を実施し、在宅医療連携ガイドを作成・公表した。	A	在宅医療介護課
		幸手市	○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 ○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施	○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 3回 ○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施 ・地域資源マップ作成のためのアンケート調査 ・ケアカフェ（在宅医療・介護連携推進研修会）の実施 7回 ・ICTシステム活用に向けた研修会の実施 3回 ・介護支援専門員研修 1回 ・市民のつどいの開催 1回、参加者230人 ・事例検討会議（地域包括ケア会議）の実施 7回 ・在宅医療・介護の理解促進のためのリーフレット作成 ・サロン等での健康相談（暮らしの保健室）17ヶ所 ・住民主催の地域ケア会議の開催 4回	A	介護福祉課 健康増進課
		宮代町	○多職種連携が「IT」の追加修正 ○多職種連携会議の開催 ⇒二市一町（蓮田市・白岡市・宮代町）共同事業により ○地域包括支援センター・看護師・ケアマネを対象にした研修会の開催 ⇒二市一町（蓮田市・白岡市・宮代町）共同事業により	○多職種連携会議の開催（蓮田市、白岡市とともに実施 年3回） ○地域包括支援センター・看護師・ケアマネを対象にした研修会の開催（蓮田市、白岡市とともに実施 年3回）	B	健康介護課 高齢者支援 担当
		幸手保健所	○「難病支援連絡会議」の開催（埼玉県難病連絡協議会共催）	○「管内市町難病支援連絡会議」 H29.3.9実施 参加者 19人	A	保健予防 推進担当
		加須保健所	○専門職人材育成拠点事業 各機関の課題の抽出、連携の実態把握のためアンケート調査	○訪問相談員育成事業事前アンケート 33名 ○第2回在宅難病患者等支援者研修事前及び事後アンケート 事前 8名 事後 23名	A	総務・地域 保健推進担当 保健予防 推進担当
		市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	地域完結型医療の推進	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」の普及啓発に努め、かかりつけ医と中核病院の連携を強化し、地域完結型医療を推進する。	○市報かぞや市ホームページ等を活用し、「とねっと」の普及啓発とともに地域完結型医療の推進に努めた。
久喜市	「とねっと」によるITを活用した医療連携を推進し、地域の限りある医療資源を有効に活用することにより、地域完結型医療の推進を図る。			「とねっと」によるITを活用した医療連携を推進し、地域の限りある医療資源を有効に活用することにより、地域完結型医療の推進を図った。	A	健康医療課
幸手市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」の啓発、医療情報の共有による地域完結型医療の実現を目指す。			広報9月号救急の日とあわせて掲載 市ホームページ掲載（通年） 「とねっと」の新規加入でA4サイズが入るバッグ（さっちゃんイラストつき）を配布（在庫限りで配布終了） とねっと事務局作成の啓発のぼり旗の保健福祉総合センターロビー設置	A	健康増進課
宮代町	○埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会を構成する医師会、中核医療施設、保健所及び7市2町の自治体とともに、地域医療ネットワークシステムの更新を行い、活用の推進と加入者の拡大を図る。			7市2町で協力し、ネットワークシステムの更新に向けた打合せ等を行い、プロポーザルに向けた準備を行った。 また、「とねっと」に関しHPへの掲載等を行うなど加入者の拡大に努めた。	A	健康介護課 健康増進担当
幸手保健所	○地域医療構想調整会議の開催			○H29.3.22 利根地域保健医療・地域医療構想協議会 出席委員27名	A	総務・地域 保健推進担当

	加須保健所	○埼玉県在宅医療提供体制充実支援事業等を活用して、医療情報の共有による地域完結型医療の推進を支援する。	○北埼玉医師会でH28.10.19北埼玉医師会学術講演会出席 ○行田市医師会でH28.3「在宅医療支援センター」開設	A	総務・地域 保健推進担当
--	-------	---	---	---	-----------------

#### 4 健康づくり対策

(目標)

健康と栄養・食生活について正しい知識の普及啓発を図り、生活習慣を改善して病気の発症を予防する「一次予防」を推進します。

健全な食生活や健康的な生活環境の基盤づくりを進め、個人の健康づくりの取組を積極的に支援します。

特定健康診査、がん検診の受診率の向上に努め、的確な保健指導を着実に実施します。

実施主体	主な取組	機関名	平成28年度実施計画	平成28年度実績	評価	担当課名
市町(国民健康保険及び教育委員会を含む)保健所	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	行田市	○市民けんこう大学、大学院の実施 ○市民けんこう大学修了生による「熱中症おたすけ隊」の熱中症予防普及啓発活動のための出張講座 ○健幸案内所の実施 ○禁煙外来治療助成制度の実施 ○健康づくりチャレンジポイント事業の実施	○市民けんこう大学(参加延人員393人)、市民けんこう大学院(参加延人員356人)を実施した。 ○熱中症おたすけ隊の出前講座(参加延人員461人)を実施した。 ○保健センター他市内4箇所の地域包括支援センターを健幸案内所とし実施。(講座等で健幸案内所を案内したもの1,100人、訪問にて案内したもの88人、ロコモ度テストをしたもの299人) ○禁煙外来治療助成制度を実施した。(登録者39人 禁煙達成者23人) ○健康づくりチャレンジポイント事業を実施した。(応募者数345人)	A	保健センター
		加須市	○健康教育・健康相談の実施 ○健康まつり等における普及啓発の実施	○健康教育・健康相談 161回実施(延7899人) ○市民まつりや健康まつり等での普及啓発	B	健康づくり推進課
		羽生市	○特定健診・特定保健指導を広報により普及啓発を実施	○特定健診・特定保健指導の広報による普及啓発を実施	A	国保年金課
		久喜市	○高齢者向け健康相談、健康教育の実施 ○健康・食育まつりにおける介護予防事業のPR	○高齢者に対し健康教育・健康相談を実施。 ○健康・食育祭りで、はつらつ運動教室のリーダーによるデモンストラクションを実施。	A	介護福祉課
			○各種健康教育・健康相談を実施する。 ○健康・食育まつり等における普及・啓発を行う。	○各種健康教育・健康相談を実施。 ○健康・食育まつり等における普及・啓発を実施。	A	中央保健センター
		蓮田市	○市民健康講座を実施する。 ○各団体から依頼を受け、出向いて実施する出前健康相談、健康講話にて、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発を図る。 ○食生活改善推進員協議会活動を通じた、食生活の正しい知識の普及を図る。	○市民健康講座実施数 1回 27名(女子力アップ～骨盤&乳ケア～) 1回 22名(アートセラピーを取り入れた認知症予防教室) 2会場 延72名(血管げんき教室) ○出前健康相談実施数 20回 410名 出前健康講話実施数 24回 558名 ○食生活改善推進員協議会が、伝達講習会において生活習慣病予防食の調理実習を実施 15回200名	A	健康増進課
		幸手市	健康教育として以下を実施 ○ロコモティブシンドローム予防教室 ○生活習慣病予防教室(糖尿病・合併症:眼) ○骨粗しょう症予防教室 ○出前講座の実施 ○乳子宮癌検診受診者に健康講話を実施	○ロコモティブシンドローム予防教室 34人 ○生活習慣病予防教室 糖尿病予防編(2回コース糖尿病基礎編・栄養編)延べ46人 眼疾患編 29人 ○骨粗しょう症予防教室 21人 ○出前講座 9回 ○乳子宮癌検診受診者に健康講話を実施 10回 1009人 ○めざせ!毎日10000歩運動教室 ウォーキング継続者数165人 ○健康長寿サポーター養成講座の実施 養成人数255人	A	健康増進課
		白岡市	○特定健康診査の対象者に、生活習慣の見直しをするきっかけづくりとして、運動教室を開催する。 ○窓口や特定健康診査結果説明会で、健康づくりや生活習慣病予防のパンフレットを配布し、正しい知識の普及啓発を図る。	○特定保健指導対象者の予備群のかたに運動教室を実施。 運動教室9日間+栄養教室1日 参加者29名 ○窓口や特定健康診査結果説明会で、健康づくりや生活習慣病予防のパンフレットを配布し、正しい知識の普及啓発を図った。	B	保健年金課
			○健康相談・栄養相談の実施 ○健康体操教室の実施 ○健康講座・健康教室の実施 ○出前講座の実施 ○健康長寿サポーター養成講座の実施	○健康相談・栄養相談の実施(12回・118人) ○健康体操教室の実施(12回・340人) ○健康講座・健康教室の実施(6回・118人) ○出前講座の実施(4回・110人) ○健康長寿サポーター養成講座の実施(1回・11人)	B	健康増進課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	宮代町	○健康教室を実施する。 ○健康相談、栄養相談を実施する。 ○集団特定健診時に、健康に関する媒体を展示し、生活習慣に関する助言や個別相談を実施する。	○骨粗しょう症予防集団栄養指導 314名に実施。 ○貯骨とエクサ！ 延べ123名に実施。 ○貯骨とクッキング！ 20名に実施。 ○知っ得！けんこう講習 延べ83名に実施。 ○健康長寿サポーター養成講習 42名に実施。 ○その他の出前講座 3回 71名に実施。 ○集団特定健診（7日間）で栄養ブースを設け、受診者に対し媒体を用いて生活習慣に関する助言や栄養相談（30名）を実施	A	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○特定健診受診者及び健康づくりに関心のある町民を対象に、生活習慣病のリスクを減らすことを目的として、医師及び歯科医師による医療講演会を実施し、正しい知識の普及啓発を図る。 ○健康への関心と検診の動機付けを目的に健康フェスタを開催する。 ○集団健康教育を実施する。 ○管理栄養士による生活習慣病予防のための健康教育および個別栄養相談を実施する。 ○食生活改善推進員協議会による生活習慣病予防のための料理教室を開催する。 ○健康意識の高い住民の育成を目的に「すぎと健康マイスター」事業を実施する。（H28年度で終了） ○健康長寿のまちづくりの推進役を育成するため「すぎと健康アカデミー」を開校する。	○特定健診受診者及び講演の内容に関心のある町民を対象に、生活習慣病のリスクを減らすことを目的として、内科医師及び歯科医師による医療講演会を実施し、正しい知識の普及啓発を図った。 ○健康への関心と検診の動機付けを目的に健康フェスタを開催した。 ○集団健康教育を実施 延78回 延参加者数1,605人 ○管理栄養士による生活習慣病予防のための健康教育および個別栄養相談を実施した。 ○食生活改善推進員協議会による生活習慣病予防のための料理教室を開催した。 ○健康意識の高い住民の育成を目的に「すぎと健康マイスター」事業を実施した。（H28年度事業終了） チャレンジ者数 668人・マイスター任命数242人 ○がん検診サポーター養成講座を実施した。 1回 28人 ○健康長寿サポーター養成講座を実施した。 2回 43人 ○健康長寿のまちづくりの推進役を育成するため「すぎと健康アカデミー」を開校した。 修了生35人	A	健康支援課
		幸手保健所	○給食施設指導や健康長寿サポーター養成講座等を通じた健康づくりの普及啓発	○給食施設指導 延べ 207件（対象249施設） ○給食施設（事業所）実地指導 4施設 ○全面禁煙実施認証施設数 376施設 ○事業所と連携した健康長寿サポーター養成講座等の実施 35人	A	保健予防推進担当
		加須保健所	○各種団体や給食施設等を通じて健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及を図る。 ○全面禁煙・空間分煙実施施設の拡充を図り、健康なまちづくりを推進する。 ○健康づくりを推進するため「健康長寿サポーター」養成講座を実施	○生活習慣病予防キャンペーンを実施 （H29.2~3） 行政機関、工業団地連合会加入施設、商工会議所、給食施設（事業所・食品営業許可対象施設）969施設 ○全面禁煙実施認証施設 新規認証 17施設 ○健康長寿サポーター養成 2回 72人	A	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	民間企業や地区組織など、多様な主体が連携した健康増進計画の策定及び推進	行田市	○糖尿病早期発見事業（糖尿病予防検体測定）の実施 ○禁煙サポーター薬局の開設の実施	○市内12薬局で、糖尿病早期発見事業を実施。（延利用者数279人） ○市内14薬局を「禁煙サポーター薬局」としてスモーカーライザーを配布。禁煙に関する知識を有する薬剤師等が市民の呼気測定により肺の健康状態を伝え、禁煙を促進した。（延利用者数145人）	A	保健センター
		加須市	○第2次加須市健康づくり推進計画は、平成28年3月に策定済である。 同計画の推進に当たり、地区組織の代表者や関係団体等の幅広い参画を得て、加須市健康づくり推進委員会を開催し、平成27年度に実施した事業及び第1次加須市健康づくり推進計画に係る実績について委員からの意見を頂き、評価を行う。	○健康づくり推進委員会において、健康づくり推進計画に位置付けられた平成27年度の事業の約91%が順調又は概ね順調と評価され、市民の健康づくりに寄与した。 ○「埼玉一の健康長寿のまち」推進部会ワーキンググループを延べ29回開催、延べ337人の委員に参加いただいた。また、昨年度策定した第2次加須市健康づくり推進計画について意見を頂くとともに、市民が参加しやすい事業への工夫等について議論した。	B	健康づくり推進課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	民間企業や地区組織など、多様な主体が連携した健康増進計画の策定及び推進	羽生市	○第2次羽生市健康づくり計画の策定（実施期間：H29年度～H33年度） 小・中学生を含む市民にアンケートを実施し、策定作業部会及び健康づくり推進協議会の委員から意見を頂きながら計画を策定する。 ○啓発用ポロシャツの着用、公用車へのマグネットの貼用、のぼり旗の設置 ○健康チャレンジ事業の実施 ○プラス1000歩健康ウォーク事業の実施	○第2次羽生市健康づくり計画の策定（実施期間：H29年度～H33年度） 小・中学生を含む市民にアンケートを実施し、策定作業部会及び健康づくり推進協議会の委員から意見を頂きながら計画を策定する。 ○啓発用ポロシャツの着用、公用車へのマグネットの貼用、のぼり旗の設置 ○健康チャレンジ事業の実施 ○プラス1000歩健康ウォーク事業の実施	A	健康づくり推進課
		久喜市	○久喜市健康増進計画を策定する。 庁内連絡会議作業部会、庁内連絡会議、久喜市健康づくり推進会議を開催し、関係機関との連携を図りながら、第2次久喜市健康増進計画を策定する。	○久喜市健康づくり推進会議、久喜市食育推進会議、庁内連絡会議、庁内連絡会議作業部会を開催し、関係機関との連携を図りながら、第2次久喜市健康増進・食育推進計画を策定した。	A	健康医療課
		蓮田市	○健康増進計画「健康はすだ21」の推進を図るため健康づくり推進員を委嘱し、健康づくり推進員連絡会議を開催することによって、各関係機関の連携を図り、健康づくり活動を地域に広げるための環境づくりを進める。	○「健康づくり推進員連絡会議」7回延べ130名、[理事会]1回5名 健康はすだ21の「栄養・食生活」分野の推進を図るための「地域食生活支援推進連絡会」2回延べ27名 連絡会議等で各関係機関の連携が図れた。	A	健康増進課
		幸手市	○健康日本21幸手計画（第2次）の推進を図るため、各関係機関の連携を図り、健康日本21幸手計画推進会議を開催し、各委員からの意見を反映しながら進行管理を行う。	○健康日本21幸手計画（第2次）推進会議を開催。（2回）	A	健康増進課
		白岡市	○白岡市健康増進計画に基づき、健康づくりに関係する団体の代表と公募による委員より構成されるはびすイッチ会議を開催し、関係課や関係団体における健康に関する施策や事業の進捗状況の確認や委員からの意見の反映、評価等の進行管理を行う。	○はびすイッチ会議の開催（5回） ○健康づくりに関係する団体、各課が実施する活動、施策の進捗状況の確認。会議委員（関係団体代表者、公募市民）からの意見、評価を頂き計画の進行管理を行った。 ○市民アンケート、関係団体、関係課のヒアリング等を実施し、会議委員や庁内関係課からの意見を反映させ、食育推進計画（平成29年度～31年度）を策定した。	B	健康増進課
		幸手保健所	○地域の栄養関係団体の食育活動への情報提供等 ○市町健康増進計画・食育推進計画策定や推進に関する会議への出席	○栄養関係団体の活動支援・情報提供 19回 ○市町健康増進計画・食育計画策定会議等への参加 12回	A	保健予防推進担当
		加須保健所	○ヘルシーメニューの企画・提案や禁煙支援を主体的に実施しようとする事業所等に対し、国・県における取組方を情報提供し、他の民間団体等との連携を支援する。	○埼玉県健康づくり協力店の新規指定 4店舗	A	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	生活習慣病の早期発見と的確な保健指導の推進	加須市	○特定健康診査の結果、特定保健指導の該当にならないものに対し、生活習慣病予防の講座を行っていく。	○対象者：369名中、参加者：40名	B	健康づくり推進課
		羽生市	○特定健康診査、特定保健指導の実施 ○特定健康診査の受診勧奨と特定保健指導対象者の指導勧奨 ○人間ドック等助成（国保、後期高齢者医療加入者） ○後期高齢者の健康診査の実施	○特定健康診査（4,219人）、特定保健指導の実施（94人） ○特定健康診査の受診勧奨：2回実施10,788人と特定保健指導対象者の指導勧奨 ○人間ドック等助成（国保：人間ドック211人、脳ドック33人、併診ドック143人、後期高齢者：人間ドック19人、脳ドック12人、併診ドック19人） ○後期高齢者の健康診査の実施（2,745人）	A	国保年金課
			○基本健康診査の実施により早期発見を行う。基本健康診査において、指導対象者へのアプローチを行う。 ○健診後の健康相談、健康教育を実施する。	○基本健康診査受診者数 212人 ○健康相談 延46人 健康教育講座参加者 延318人	A	健康づくり推進課
		久喜市	○生活保護受給者等の健康診査を実施する。健診結果により、必要な者に保健指導を実施する。 ○がん検診を実施する。要精密検査者に対して、精密検査の受診勧奨を実施する。 ○特定保健指導を実施する。	○生活保護受給者等の健康診査を実施した。健診結果により必要な者に対して、保健指導を実施した。 ○がん検診を実施。要精密検査対象者に対して、精密検査の受診勧奨を実施した。 ○特定保健指導を実施した。	A	中央保健センター
			○市内小学校4年生全児童を対象に小児生活習慣予防健診を実施する。	○市内小学校4年生全児童を対象に小児生活習慣予防健診を実施した。	A	学務課
蓮田市	○出前健康相談で健康チェックを実施する。 ○定例の健康相談を実施する。 ○特定健診、後期高齢者健診、健康増進法による健診を実施する。 ○特定保健指導を実施する。 ○特定保健指導対象外で保健指導が必要な者に対しては、健康相談、健康講座等を実施する。	○出前健康相談実施数 20回410名 健康相談実施数 7回48名 特定健診受診者数 4,633名（費用決済数） 後期高齢者健診受診者数 2,413名（費用決済数） 健康増進法による健診受診者数 13名 特定保健指導実施数 105名 特定保健指導対象外者への電話健康相談数 142件	A	健康増進課		

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	生活習慣病の早期発見と的確な保健指導の推進	幸手市	○特定健診・保健指導の実施 ○特定健診の受診勧奨の実施	○特定健診は、40～64歳に個別健診を追加し、健診体制の拡充を図った。保健指導は、体組成計測定や歩数計を貸出し、取り組みが継続できるよう促した。 ○受診状況別に内容を工夫し、受診勧奨通知を実施した。	A	健康増進課 保険年金課
		白岡市	○白岡市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施する。 ○生活習慣病重症化予防対策事業の周知啓発	○法定報告（平成29年7月27日現在）特定健康診査受診率34.1% ○法定報告（平成29年7月27日現在）特定保健指導終了率6.5%	B	保健年金課
			○小学校4年生及び中学校1年生を対象として、小児生活習慣病予防検診を実施する。	○小学校4年生及び中学校1年生を対象として、小児生活習慣病予防検診を実施（小学校4年生441人、中学校1年生405人）	B	教育指導課
		宮代町	○特定保健指導の実施 ○後期高齢者の健康診査の実施 ○生活保護受給者等の健康診査及び検診結果により保健指導の実施	○後期高齢者の健康診査を個別（6月～11月）と集団健診を7日間実施。特定保健指導94名（積極的：9人 動機づけ：85人）実施。 ○生活保護受給者等に対して健康診査3名実施。	A	健康介護課 健康増進担当
			○特定健康診査の実施	○特定健康診査の個別健診を6月1日～11月30日、集団健診を7日間実施した。	A	住民課 国保年金担当
		杉戸町	○杉戸町国保加入者に対する特定健診及び20歳～39歳に対する国保健診を実施する。 ○特定健診にe-GFR値の検査項目を導入し、慢性腎疾患対策を実施する。 ○杉戸町国保加入者に対する特定健診受診者のうち動機付け、積極的支援のものを対象として、結果相談会を実施する。 ○健康相談の実施（随時） ○健康教育の実施	○国保健診（20歳～39歳）を実施 ○特定健診にe-GFR値の検査項目を導入し、慢性腎疾患対策を実施した。 ○特定健診受診者数 3,120人 受診率33.3%（H29.4月集計分まで） ○特定保健指導 142人 指導終了割合32.3%（H28年度法定報告） ○40～74歳の方を対象に結果相談会を実施した。 ○健康相談の実施（電話相談を含む）随時開催 延157人 ○健康教育の実施 延78回 延参加者数1,605人 ○健康管理システムを活用し対象者情報を絞り込むことで、受診勧奨や個別指導内容の適正を図った。	A	健康支援課
加須保健所	○保健指導担当者の資質向上を目的として研修会を開催する。	○保健事業スキルアップ研修会	A	保健予防推進担当		
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	地域、学校等における食育の推進	加須市	○親と子の食育事業（学童のための栄養学習）の実施 ○食改推進員による小学生・中学生向け料理教室の実施 ○小学校及び他団体等への出前講座の実施	○親と子の食育事業（学童のための栄養学習）の実施 わくわく食育クッキング（3回実施、参加者67名） ○食改推進員による小学生・中学生向け料理教室の実施（自主活動、他団体との協働事業） 親子料理教室他（39回実施、参加者1,265名） ○小学校及び他団体等への出前講座の実施 就学児健診時健康講座他（2回実施、50名参加）	A	健康づくり推進課
			○食に関する正しい知識と望ましい食習慣の指導 ○自然への恩恵や勤労への感謝や食文化の指導 ○栄養教諭の専門性を生かした指導 ○学校給食を通じた食に関する指導	○各校における食育の指導の実施 ○栄養教諭による食育指導 ○給食時の校内放送による啓発（加須市うどんの日の由来等）	B	学校教育課
		羽生市	○親子を対象とした料理教室の開催	○親子お魚料理教室の開催 年1回 参加者数18名 ○親子おやつ作り教室の開催 年1回 参加者数15名	A	健康づくり推進課
			○栄養教諭による授業実施 ○歯科衛生士による歯科からの食育支援 ○学校給食センターの小中学校訪問 ○全小学校での給食時放送による意識向上 ○給食センターによる食育だよりでの保護者への啓発 ○食育と健康についての保健主事・養護教諭研修	○栄養教諭による授業実施（33回） ○歯科衛生士による歯科保健の視点からの食育支援（15回） ○学校給食センターの小中学校訪問（14回） ○全小学校での給食時放送による意識向上（11校） ○給食センターによる食育だよりでの保護者への啓発（15回）	A	学校教育課
		久喜市	○学校給食の予定献立表や給食だよりの配布を通じて、正しい食生活の知識の普及・啓発を行う。 ○地元産農産物を取り入れた献立や行事食、郷土料理、伝統料理などを採り入れた献立を実施し、食べ物や生産者に対して感謝する心を育むとともに、地域の食材や地域性などについて楽しく学ぶ機会を推進する。	○学校給食の予定献立表や給食だよりの配布を通じて、正しい食生活の知識の普及・啓発を行った。 ○地元産農産物を積極的に使用するとともに、行事食、郷土料理、伝統料理などを採り入れた献立を実施し、食べ物や生産者に対して感謝する心を育むとともに、地域の食材や地域性などについて楽しく学ぶことができた。	A	学務課
		幸手市	○市内小学校に小児生活習慣病予防のための食育講話を実施	○市内小学校に小児生活習慣病予防のための食育講話を実施（7校実施、450人参加）	A	健康増進課
		白岡市	○彩の国ふるさと学校給食月間の実施 ○栄養教諭及び栄養職員による食育の授業実施	○彩の国ふるさと学校給食月間の実施（小学校6校、中学校4校） ○栄養教諭による食育の授業実施（小学校4校、中学校4校）	B	教育指導課

宮代町	○栄養教諭による食育の授業実施	○栄養教諭による食育の授業を年1回、各学校で各クラスごとに実施した。	A	教育推進課
-----	-----------------	------------------------------------	---	-------



市町（国民健康保険及び教育委員会を含む保健所）	地域、学校等における食育の推進	杉戸町	○関係課と連携し、杉戸町食育担当者会議を開催する。 ○一般住民を対象とした食育講演会を実施する。 ○小学校就学時健診において、保護者を対象に食育講話を実施する。	○関係課と連携し杉戸町食育推進担当者会議を開催した。 ○一般住民を対象とした食育講演会を実施した。 ○町内の小学校へ早寝早起朝ごはんをテーマに講話を実施 ○町内6校の小学校就学時健診において保護者を対象に食育講話を実施した。参加者数 326人	A	健康支援課
		幸手保健所	○地域の栄養関係団体の食育活動への情報提供等 ○給食施設指導を通じた各施設における食育の推進状況把握 ○市学校給食審議会、市町食育推進計画策定や推進に関する会議への出席	○栄養関係団体の活動支援・情報提供 19回 ○市町健康づくり食育担当者会議を開催 H28.5.26 参加者12人 ○市学校給食審議会、市町健康増進計画・食育計画策定会議等への参加 12回 ○食育推進研修会を開催 H29.3.1 参加者 44人	A	保健予防推進担当
		加須保健所	○管内各市の食育推進計画推進を支援する。 ○健康づくり協力店を活用した外食の栄養成分表示の普及を図る。 ○高齢者の低栄養の予防等について、各市と連携し食環境の向上を図る。 ○小・中学校等の栄養教諭、養護教諭等とのネットワークづくりを進め、学校保健と連携した食育の推進を図る。	○各市健康づくり推進委員会等への参画を通じ、各種計画の推進を促した。 ○埼玉県健康づくり協力店 新規指定 4店舗 ○高齢者の食支援研修会の開催。 H29.2.15 32人 ○養護教諭の研修会に参加し、児童・生徒の食環境等について情報共有を図った。H28.8.25 30人	A	保健予防推進担当

## 5 親と子の保健対策

(目標)

親と子の悩みや不安を相談でき、必要な支援が受けられるような地域社会をめざします。  
生後なるべく早い時期に乳児のいる家庭の状況を把握することにより、乳幼児のいる家庭の孤立化を防ぎます。  
また、乳幼児健康診査のさらなる充実で、育児支援や児童虐待の早期発見の機能を強化します。  
関係機関の連携を強化していくことにより、親と子の成長や発達を支援します。

実施主体	主な取組	機関名	平成28年度実施計画	平成28年度実績	評価	担当課名
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	生後4か月ぐらいまでの乳児の状況把握と育児支援	行田市	○子育て包括支援センターの機能充実を図り、すべての妊婦を対象に妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を実施し、ハイリスク者や継続支援が必要となったケースについては支援プランを作成し、地区担当保健師との連携のもと個別の対応を行い、必要な支援に結び付ける。 ○乳児産婦全戸訪問事業を継続して実施する。 ○4か月健診の個別化に伴い、健診実施方法の周知、児童の安否確認、育児不安の軽減を目的に概ね生後2か月児を対象に赤ちゃんクラスを開始する。	○子育て包括支援センターの開設日を週5日に増設し、支援体制の強化を図った。また、すべての妊婦に対する切れ目のない支援を実施することを目的に、子育て支援センターの助産師が妊娠届時の面接、電話相談を実施。妊婦台帳及び出生児童台帳を作成し、ハイリスク者及び支援の必要なケースの早期把握を行い、継続支援が必要なケースについては、支援プランを作成し地区担当保健師との連携のもと個別支援を実施した。（相談903件、支援プラン作成18件） ○乳児産婦全戸訪問事業（訪問数405件） ○5月から赤ちゃんクラスを月1回実施。欠席者のうち赤ちゃん訪問未実施者は、訪問又は来所にて安否確認を行った。また、赤ちゃん訪問で把握した要フォロー者の名簿を作成し、継続支援ができるよう、従事者間で情報の共有を行った。	A	保健センター
		加須市	○生後4か月児までの児を対象とした全戸訪問事業（乳児家庭訪問事業）を実施し、必要な支援やサービスの提供ができるよう結びつける。 ○訪問した母子のケースには虐待予防のアンケートを3つ（育児チェックシート、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんの気持ち質問票）実施し、母の精神面の把握に努める。 ○育児不安や悩み、子育てに関する支援や情報提供を実施する。	○平成28年度訪問数 682件 ○訪問時に3つのアンケートを実施し、該当項目数や点数に応じて必要な支援につなげた。 ○施設入所している児童や家庭の事情で実際は市外（国外含）に住んでいる場合、また、訪問拒否の場合は訪問の実施に至っていない。その場合は、健診等で全家庭の育児状況等について把握に努めた。	B	健康づくり推進課
		羽生市	○乳児家庭全戸訪問事業を実施し、必要な支援やサービス提供ができるよう結びつける。訪問した母子のケースには、虐待予防のアンケートを3つ実施し、母の精神面把握に努める。 ○育児不安や悩み、子育てに関する支援や情報提供を実施する。 ○3か月児健診を実施し、その後必要なケースには継続した支援を行う。	○乳児全戸訪問数（産後うつ病質問票等の実施） 334人（訪問率93.8%） ○3か月児健診にて、育児不安や悩み等の把握する質問票の活用 334人（受診率98%） ○3ヶ月児健診で継続支援実施 32件	A	健康づくり推進課
		久喜市	○乳幼児家庭全戸訪問指導事業の実施	○対象家庭数 965 訪問指導件数 947 実施率 98.1%	A	中央保健センター

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	生後4か月ぐらいまでの乳児の状況把握と育児支援	蓮田市	○こんにちは赤ちゃん訪問において、生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や育児相談を行う。 ○3～4か月児健診の未受診者に対し、地区担当保健師や母子保健推進員が訪問・電話連絡等を行い虐待や育児不安を早期発見できるように努める。 ○産後うつ病アンケートにより母の育児不安や悩みに対して継続して支援を行う。	○こんにちは赤ちゃん訪問(延355名に実施)において、生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や育児相談を行った。 ○3～4か月児健診の未受診者に対し、地区担当保健師や母子保健推進員が訪問・電話連絡等を行い虐待や育児不安を早期発見できるように努めた。 ○産後うつ病アンケートにより母の育児不安や悩みに対して継続して支援を行った。	B	子ども支援課
		幸手市	○乳児家庭全戸訪問事業の実施 ○訪問時の質問紙を活用し、虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるように努める。 ○産後ケア事業の実施 ○子育て総合窓口における早期からの専門的相談・支援	○乳児家庭全戸訪問事業の実施 ○訪問時の質問紙を活用し、虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるように努める。 ○産後ケア事業の実施 ○子育て総合窓口における早期からの専門的相談・支援	A	健康増進課
		白岡市	○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、保健師等が生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児支援を行う。また、産後うつ病アンケートにより、母の精神面の把握に努め、育児不安や悩みに対する継続した支援を行う。 ○4か月児健診において、状況を把握し育児支援を行う。また、未受診児の状況把握に努める。 ○状況に応じた保健指導や子育てに関する情報提供を行い、必要なサービスにつなげる。	○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、保健師等が生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し育児支援を行った。また、産後うつ病アンケート等により、母の精神面の把握に努め、育児不安や悩みに対する継続した支援を行った。(事業対象訪問数427件) ○4か月児健診において、状況を把握し育児支援を行った。また、未受診児の状況把握を行った。(受診者数418人 未受診率2.8%) ○状況に応じた保健指導や子育てに関する情報提供を行い、健康相談や個別の相談事業等の必要なサービスにつなげた。	B	健康増進課
		宮代町	○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、生後4か月未満の乳児がいるすべての家庭に訪問を実施し、保健指導を実施。アンケート等を活用し、虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるように努める。	○赤ちゃん訪問実施238名、面接2名 ○2ヶ月に1回ケース対応会議を開催し、ハイリスクケース等の支援の方針を決定している。	A	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、保健師が生後4か月までの乳児と産婦への保健指導を実施する。 ○「すくすく子育てアンケート」(産後のメンタルヘルス質問紙)を活用し虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるよう努める。さらに訪問で把握した情報を3～4か月児健診へつなげ継続した支援を実施する。 ○3～4か月健診未受診児の状況把握に努める。必要により子育て支援課と連携を図る。	○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、看護師、保健師が生後4か月までの乳児と産婦への保健指導を実施。延252件 ○「すくすく子育てアンケート」(産後のメンタルヘルス質問紙)を活用し虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるよう努めた。さらに訪問で把握した情報を3～4か月児健診へつなげ継続した支援を実施した。 ○3～4か月健診未受診児の状況把握に努めた。必要により子育て支援課と連携を図った。	A	健康支援課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査の充実	行田市	○4か月児健診を医療機関への委託による個別方式で実施し、診察機能及び医師の相談機能の充実を図る。 ○健診結果等事前に把握した要フォロー者について名簿を作成し、継続支援が実施できるよう、健診従事者が情報共有を行う。 ○2歳6ヶ月時を対象に集団の歯科健診を実施し、歯科保健の充実を図るとともに、育児不安や発達状況の確認を行い、支援を開始する。 ○健診終了時に多職種によるカンファレンスを実施し、健診時の情報共有を行い、支援方針の決定を行う。	○8月から4か月児健診を個別方式で実施した。 ○健診結果等事前に把握した要フォロー者について名簿を作成することにより健診従事者が情報共有を行い、継続支援を実施した。 ○2歳6ヶ月児を対象に保健センター会場にて歯科健診を実施し、歯科保健の大切さを歯科衛生士が個別で指導するとともに、保健師が育児不安や発達状況の確認を行い、必要なケースには支援を開始。 ○健診終了時に多職種によるカンファレンスを実施し、健診時の情報共有を行い、支援方針の決定を行った。	A	保健センター
		加須市	○児の乳幼児期の疾患や発育異常等を早期発見し、親の育児や生活習慣病等に対する相談支援を行う。 ○未受診者の状況把握において、引き続き訪問や電話等で確認支援していく。 ○3歳児健診の検尿をスルホサリチル酸法で行う。 ○平成28年度から「健やか親子21(第2次)」について新たな指標が示され、新問診票が開始となる。 ○平成28年度「乳幼児健康カルテ」を作成する。	○乳幼児健康診査受診率95.1% ○乳幼児健康診査未受診者191人に対し、通知、電話、訪問等を行った結果、未対応者は0人。 ○3歳児健診の検尿で、スルホサリチル酸法を導入により二次検尿が不要になった対象者もいた。 ○新アンケートを参考に、保健相談で虐待予防に努めた。 ○平成28年度より「乳幼児健康カルテ」を見直し、新たに作成、使用開始した。	A	健康づくり推進課
		羽生市	○乳幼児健康診査の問診等により育児不安や発育発達の状況把握を行い、専門的な相談支援を実施する。	○乳幼児健康診査の受診者数 3か月児健診341人、10か月児健診364人、18か月児健診370人、3歳児健診370人に問診で育児不安や状況把握を行い、必要に応じて専門的な相談を行った。	A	健康づくり推進課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査の充実	久喜市	○育児環境や家庭の健康状態、育児負担等に着目した問診、相談を実施するとともに、必要に応じ継続した支援に結びつける。	○4か月児健診 対象 974人 受診 938人 受診率 96.3% 10か月児健診 対象 1,047人 受診 985人 受診率 94.1% 1歳6か月児健診 対象 1,037人 受診 994人 受診率 95.9% 3歳児健診 対象 1,132人 受診 1,080人 受診率 95.4%	A	中央保健センター
		蓮田市	○健診問診スタッフが事前に要フォロー児の情報を共有し、継続支援が実施できるようにする。 ○平成28年度市の図書館職員と協力し3～4か月児健診においてブックスタート事業を行う。 ○1歳6か月児健診時に、食生活改善推進員協議会の協力を得て手作りおやつを試食と子どもの食生活に関する支援を行う。 ○1歳6か月児健診と3歳児健診において心理相談を実施し、心理士・児童ケースワーカー・家庭児童相談員・保健師による多職種がフォロー体制を組んでいる。 ○健診終了後多職種によるカンファレンスの実施	○健診問診スタッフが事前に要フォロー児の情報を共有し、継続支援が実施できるように努めた。 ○平成28年度市の図書館職員と協力し3～4か月児健診においてブックスタート事業を開始した。（年12回414名実施） ○1歳6か月児健診時に、食生活改善推進員協議会の協力を得て手作りおやつを試食と子どもの食生活に関する支援を行った。（年12回434名実施） ○1歳6か月児健診と3歳児健診において心理相談を実施し、心理士・児童ケースワーカー・家庭児童相談員・保健師による多職種がフォロー体制を組んでいる。（心理相談延97名実施） ○各健診・事業終了後多職種によるカンファレンスの実施	A	子ども支援課
		幸手市	○各健診受診者全員と個別面接、個別相談を実施 ○10か月児健診で保健師による集団保健指導を実施 ○1歳6か月児と3歳5か月児健診で臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施 ○3歳5か月児健診で家庭児童相談員を配置し必要時、個別相談を実施 ○各健診終了前後に、カンファレンスを実施。経過を踏まえた相談ができるよう配慮し、健診終了後は継続フォローの方針を検討 ○未受診児訪問の実施 ○発育発達に経過観察を要する児には多種専門職の指導助言を受けられる乳幼児発達相談につなげる。 ○4ヶ月健診、1歳6か月健診、3歳5か月健診の案内に健やか親子21アンケートを同封し、必要な方に2次質問を実施	○各健診受診者全員と個別面接、個別相談を実施（各12回、延べ1,180人） ○10か月児健診で保健師による集団保健指導を実施（12回、285人） ○1歳6か月児と3歳5か月児健診で臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施（各12回、延べ63人） ○3歳5か月児健診で家庭児童相談員を配置し必要時、個別相談を実施（12回、延べ21人） ○各健診終了前後に、カンファレンスを実施。経過を踏まえた相談ができるよう配慮し、健診終了後は継続フォローの方針を検討（各12回、延べ537人） ○未受診児訪問の実施（延べ99人） ○発育発達に経過観察を要する児には多種専門職の指導助言を受けられる乳幼児発達相談につなげた ○4ヶ月健診、1歳6か月健診、3歳5か月健診の案内に健やか親子21アンケートを同封し、必要な方に2次質問を実施した	A	健康増進課
		白岡市	○各健診において、保健師が全ての受診者と個別面接・相談を実施し育児支援を行う。 ○1歳6か月児健診、3歳児健診では、臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施 ○健診終了後には、カンファレンスを行い継続フォローの方針を検討する。また、未受診者の状況把握に努める。	○各健診において、保健師が全ての受診者と個別面接・相談を実施し育児支援を行った。（各健診12回実施） 4か月児健診において、離乳食開始に向けた教室を開催した。 10か月児健診において、ボランティアによる読み聞かせを実施（160人） ○1歳6か月児健診、3歳児健診において、臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施（60人） ○健診終了後には、カンファレンスを行い継続フォローの方針を検討した。また、未受診者の状況把握を行った。（健診未受診率4か月児 2.8%、10か月児 3.0%、1歳6か月児 2.2%、3歳児 4.9%）	B	健康増進課
		宮代町	○各乳幼児におけるグループ支援と個別支援の充実 ○1歳6か月児健診、3歳児健診に臨床心理士を配置し個別相談を実施 ○健診後多職種によるカンファレンスの実施	○各乳幼児健診において第一子の母にはグループ（計479名）と個別で育児支援、第二子以降の母には、個別で育児支援を行った。 ○健診後は他職種（専門職は、保健師の他、管理栄養士、歯科衛生士、臨床心理士）でカンファレンスを行い（計47回）今後の支援について方向性を検討した。	A	健康介護課 健康増進担当

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査の充実	杉戸町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各健診とも受診者全員と個別面接を実施する。</li> <li>○3か月健診にファミリーサポートセンター職員によるサービス利用勧奨を行う。</li> <li>○3か月健診で、赤ちゃんと保護者の方が一緒に絵本を楽しむひとときを持ってもらおうといった子育て支援の取組として町立図書館から絵本を手渡しするブックスタートを実施する。</li> <li>○9か月健診時に子育て支援センター職員によるサービス利用勧奨を行う。</li> <li>○1歳6か月児健診、3歳児健診に臨床心理士の個別指導を実施する。</li> <li>○3歳児健診時にボランティアの絵本読み聞かせコーナーを設定し、親子で絵本に親しみコミュニケーションを深める支援を実施する。</li> <li>○地域における支援が必要な母子については、健診時に希望をとり、子育て支援センターへ個別連携シートを送付して訪問・電話・面接等の支援を依頼する。</li> <li>○健診の未受診者について、保健師間で定期的カンファレンスを実施、今後の方向性について協議・情報の共有化を図る。</li> <li>○町立保育園に定期的に訪問、未受診者の状況を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各健診とも受診者全員と個別面接を実施した。</li> <li>○3か月健診にファミリーサポートセンター職員によるサービスの利用勧奨をした。</li> <li>○3か月健診で、赤ちゃんと保護者の方が一緒に絵本を楽しむひとときを持ってもらおうといった子育て支援の取組として町立図書館から絵本を手渡しするブックスタートの場を提供。</li> <li>○9か月健診時に子育て支援センター職員によるサービスの利用勧奨を実施した。</li> <li>○1歳6か月児健診、3歳児健診に臨床心理士の個別指導を実施した。</li> <li>○3歳児健診時にボランティアの絵本読み聞かせコーナーを設定し、親子で絵本に親しみコミュニケーションを深める支援を行った。</li> <li>○地域における支援が必要な母子については、健診時に希望をとり、子育て支援センターへ個別連携シートを送付して訪問・電話・面接等の支援を依頼した。</li> <li>○健診の未受診者について、保健師間で、今後の方向性について協議・情報の共有化を図った。</li> <li>○町立保育園に定期的に訪問、未受診者の状況を把握した。</li> </ul>	A	健康支援課
		行田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○臨床心理士による相談を継続して実施する。</li> <li>○乳幼児健診において子どものこころの問題を把握した場合は、個別相談及び相談機関についての情報提供を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○臨床心理士による育児相談、発達相談及び発達検査を実施した。（年間12回 延人数25人）</li> <li>○乳幼児健診において子どものこころの問題を把握した場合は、個別相談及び相談機関についての情報提供を行った。</li> </ul>	A	保健センター
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	子どもの心の健康に関する相談や情報提供の充実	加須市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの心の健康に関する相談や情報提供を行う。</li> <li>○乳幼児健診や乳幼児健康相談において、発育・発達の確認と子育てに関する指導・助言を実施し、必要な方には、訪問や電話にて相談や情報提供を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの心の健康に関する相談を乳幼児健診や乳幼児相談、個別相談で受けた。必要な場合は、個別フォローや、保健所のこころの相談の紹介を行った。</li> <li>○乳幼児健診186回、乳幼児健康相談47回実施した。</li> </ul>	B	健康づくり推進課
		羽生市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児健診や訪問・相談事業等において、子供の心の健康問題を把握した場合は、保健所や医療機関等の関係機関と連携し、必要な支援を行う。</li> </ul>	○関係機関と連携し支援を行った	A	健康づくり推進課
		久喜市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児健診や訪問、相談事業等において、子どもの心の健康問題を把握した場合は、保健所や医療機関等の関係機関と連携し、必要な支援を行う。</li> </ul>	○乳幼児健診や訪問、相談事業等において、子どもの心の健康問題を把握した場合は、保健所や医療機関等の関係機関と連携し、必要な支援を行った。	A	中央保健センター
		蓮田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○18歳未満の子どもの心の問題に対して、関係機関と連携をとり支援する。</li> <li>○保健所で実施する心に関する事業の情報提供</li> <li>○各種乳幼児健診や乳幼児相談において、個別相談を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○18歳未満の子どもの心の問題に対して、関係機関と連携をとり支援した。</li> <li>○保健所で実施する心に関する事業の情報提供</li> <li>○各種乳幼児健診や乳幼児相談において、個別相談を実施</li> </ul>	A	子ども支援課
		幸手市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○臨床心理士による相談を実施</li> <li>○各健診受診者全員と個別面接、個別相談を実施</li> <li>○1歳6か月児と3歳5か月児健診で臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施</li> <li>○3歳5か月児健診で家庭児童相談員を配置し必要時、個別相談を実施</li> <li>○子育て総合窓口における専門的随時相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○臨床心理士による相談を実施（12回延べ32人）</li> <li>○各健診受診者全員と個別面接、個別相談を実施（各12回延べ1,180人）</li> <li>○1歳6か月児と3歳5か月児健診で臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施（各12回63人）</li> <li>○3歳5か月児健診で家庭児童相談員を配置し必要時、個別相談を実施（12回21人）</li> <li>○子育て総合窓口における専門的随時相談（延べ1,610件）</li> </ul>	A	健康増進課
		白岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健診や相談事業等において、保健師による個別相談のほか必要時臨床心理士による心理相談の実施</li> <li>○状況に応じて保護者に療育支援先の情報提供を行い関係機関と連携する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健診や相談事業等において、保健師による個別相談のほか必要時臨床心理士による心理相談の実施（フォロー相談 年33回 133人）</li> <li>○状況に応じて保護者に療育支援先の情報提供を行い関係機関と連携した。</li> </ul>	B	健康増進課
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○当課及び関係機関で実施している教育相談に係る情報を通知やHPで提供</li> <li>○学校への相談員の配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当課及び関係機関で実施している教育相談に係る情報を通知やHPで提供（市公式HPに掲載、翌年度新就学児へリーフレットを配布）</li> <li>○学校への相談員の配置（小学校6校、中学校4校）</li> </ul>	B	教育指導課
		宮代町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○臨床心理士による心理相談の実施</li> <li>○各乳幼児健診や健康相談等において、個別相談を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○臨床心理士による心理相談の実施（43回延94人）</li> <li>○各乳幼児健診における個別相談284人、健康相談における個別相談延984人実施。</li> </ul>	A	健康介護課 健康増進担当

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	子どもの心の健康に関する相談や情報提供の充実	杉戸町	○発達の遅れや偏り、生活上の支障が生じている親と子の相談として、臨床心理士による子育て相談を実施する。 ○乳幼児健診等において、必要があるケース、希望のあるケースについては臨床心理士の個別相談を実施する。（再掲） ○発達支援事業：ラッコ教室（1歳6か月健診のフォロー・一般）において、臨床心理士による子育てについての講話を実施、保護者の育児不安等の軽減を図る。	○発達の遅れや偏り、生活上の支障が生じている親と子の相談として、臨床心理士による子育て相談を実施した。 ○乳幼児健診等において、必要があるケース、希望のあるケースについては臨床心理士の個別相談を実施（再掲）した。 ○発達支援事業：ラッコ教室（1歳6か月健診のフォロー・一般）において、臨床心理士による子育てについての講話を実施、保護者の育児不安等の軽減を図った。	A	健康支援課
		幸手保健所	○子どもの心の健康相談事業（相談・会議・研修）を通して、情報提供を行う。	○子ども心相談 延べ13回 心理士による個別相談延べ18件 ○子どもの心研修会 H29.2.27実施 参加者47人	A	保健予防推進担当
		加須保健所	○子どもの心の健康相談の実施	○専門相談、医師8回、心理士8回 実人員24人 延人員41人	A	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	関係機関の連携強化による子育て支援	行田市	○子育て包括支援センターとして、市内及び隣接した市の産科の助産師などと連携を図り、切れ目の無い支援につなげる。 ○要保護児童対策地域協議会へケースの提供及び同会議に出席し、関係機関との連携と支援を行う。 ○ハイリスクケースに対しては引き続き、児童福祉担当、生活保護担当、児童相談所、民生委員、医療機関など必要に応じた機関と連携し支援を行う。	○子育て包括支援センターとして、市内及び市外の産婦人科を訪問し、事業についての情報交換を行い、顔の見える関係作りを行った。 ○要保護児童対策地域協議会へのケース提供及び同会議に出席し、関係機関との連携と支援を行った。 ○ハイリスクケースに対して、関係機関と連携し支援を行った。	A	保健センター
		加須市	○市内小児科専門医の協力を得て、4月から10月の祝日及び11月から3月の日曜日、祝日、年末年始における小児科診療を実施する。	○市内小児科専門医の協力を得て、4月から10月の祝日と11月から3月の日曜日、祝日、年末年始（1月1日を除く）における小児科診療を実施した。（実施日39日）	A	医療体制推進課
			○虐待ケースについて、関係機関で実施する児童虐待ケース会議に参加し、対応する。 ○児童虐待防止等ネットワーク実務者会議へ参加し、各機関と連携をとる。 ○保健センター内の育児掲示板を活用し、子育て情報の提供をする。	○虐待ケースについて、関係機関で実施する児童虐待ケース会議に参加し、対応した。ケース会議は随時実施。 ○要保護児童対策地域協議会への参加（年12回）。 ○保健センター内の育児掲示板を活用し、子育てサークルの案内や子育てに関する情報を提供した。	B	健康づくり推進課
		久喜市	○要保護児童対策地域協議会への参加・活用 ○ハイリスク家庭に対し、児童福祉部門や保健所、医療機関等の関係機関と連携し、支援を行う。	○要保護児童対策地域協議会に参加・活用した。 ○ハイリスク家庭に対し、児童福祉部門や保健所、医療機関等の関係機関と連携し、支援を行った。	A	中央保健センター
		蓮田市	○支援が必要な母子に対し、保健所や他職種との同行訪問を実施し、必要時ケース会議を開催し情報共有と支援の連携を図る。 ○要保護児童対策地域協議会に出席 ○就学支援委員会に出席 ○蓮田市母子愛育会との連携と支援	○支援が必要な母子に対し、保健所や児童相談所・他職種との同行訪問を実施し、必要時ケース会議を開催し情報共有と支援の連携を図った。 ○要保護児童対策地域協議会（代表者会議年1回・実務者会議年6回）の開催 ○就学支援委員会に出席 ○蓮田市母子愛育会との連携と支援	A	子ども支援課
		幸手市	○要保護児童対策地域協議会との連携 ○幸手市母子愛育会との連携 ○就学支援委員会に参加 ○妊娠期から子育て支援が行われるよう、子育て総合窓口を委託している幸手地区助産師会が市内医療機関等関係機関や関係団体に呼びかけ、研修会を実施 ○子育て支援課主催の幼児学級への保健師の参加と情報共有	○要保護児童対策協議会の開催（代表者会議1回、実務者会議12回、個別ケース会議7回） ○幸手市母子愛育会事業の実施（9回） ○就学支援委員会に参加（3回） ○妊娠期から子育て支援が行われるよう、子育て総合窓口を委託している幸手地区助産師会が市内医療機関等関係機関や関係団体に呼びかけ、研修会を実施（1回） ○子育て支援課主催の幼児学級への保健師の参加と情報共有（20回）	A	健康増進課
		白岡市	○母子愛育会への支援、協働（ほか、教育指導課と同様）	○母子愛育会への支援、協働（幼児教室への協力等） ○小中学校就学支援委員会に参加（年4回） ○要保護児童対策地域協議会に参加（年4回） ○就学支援に向けた情報交換会の実施（年1回）	B	健康増進課
○小中学校就学支援委員会を実施し、関係者を委員に委嘱 ○要保護児童対策地域協議会に参加 ○就学相談での情報の共有化	○小中学校就学支援委員会を実施し、関係者を委員に委嘱（4回実施） ○要保護児童対策地域協議会に参加（4回） ○就学相談での情報の共有化 ○関係機関とのケース会議の実施（1回）		B	教育指導課		

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	関係機関の連携強化による子育て支援	宮代町	<p>○子育て応援室とのケースの共有、ケース対応会議の開催</p> <p>○要保護児童対策協議会に出席</p> <p>○教育委員会の就学相談への連携、就学支援委員会に参加</p> <p>○「障害のあるお子さんの情報交換会」に就学相談担当者を案内する</p>	<p>○要保護児童対策地域連絡協議会に参加し（代表者会議、実務者会議3回、個別ケース会議1回）要支援家庭の情報を共有しその後の支援につなげた。</p> <p>○2か月に1回のケース対応会議や必要時にケースに関する情報交換を行い、情報を共有し支援の方向性の統一を図った。</p> <p>○就学支援委員会に参加（3回）、就学相談の必要なケースを教育委員会に連絡し支援した。</p>	A	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	<p>○杉戸町母子愛育会との連携強化を図る。</p> <p>○子育て支援センターとの共同事業を活用し連携を強化するとともに、個別支援の方向性の共有を図る。</p> <p>○養育支援を必要とする家庭について要保護児童対策地域協議会との連携を図り必要な支援を実施する。</p> <p>○未熟児のフォローについては、未熟児養育医療費申請時の面接、子育て支援課及び医療機関との連携を図り、入院中からハイリスク児や養育支援家庭等への支援を実施する。</p> <p>○町立保育園の4園について、保健師が保育園を訪問して園児の様子を把握、発達状況、家庭環境等の情報の共有化を図る。</p> <p>○教育委員会：教育相談所には「教育相談室」と「適応指導教室」があり、子育てに関すること、不登校、学校生活、いじめ等についての相談を実施する。</p>	<p>○杉戸町母子愛育会との連携強化を図った。</p> <p>○子育て支援センターとの共同事業を活用し連携を強化するとともに、個別支援の方向性の共有を図った。</p> <p>○養育支援を必要とする家庭について要保護児童対策地域協議会との連携を図り必要な支援を実施した。</p> <p>○未熟児養育医療費支給事業は、平成25年度より権限移譲により健康支援課が主管課となった。未熟児養育医療費申請時の面接、子育て支援課及び医療機関との連携を図り、入院中からハイリスク児や養育支援家庭等への支援を実施した。</p> <p>○町立保育園の4園について、保健師が保育園を訪問して園児の様子を把握、発達状況、家庭環境等の情報の共有化を図った。</p> <p>○教育委員会： ・乳幼児健全発達支援相談指導事業の言語相談、心理相談で実施した発達検査等を保護者の同意のもと、就学にむけて情報提供。 ・各種教育相談窓口、就学相談等の情報提供</p>	A	健康支援課
		幸手保健所	<p>○母子保健連携調整会議、小児精神保健医療推進連絡会議、小児精神保健医療研修会、母子保健関連の研修会（事例検討会を含む）等の実施</p> <p>○要保護児童対策地域協議会への出席</p>	<p>○母子連絡調整会議 H28.6.3実施 参加者14人、H29.2.24実施 参加者10人</p> <p>○小児精神保健医療推進会議 H29.2.27研修会と同時開催 参加者47人</p> <p>○ふれあい親子支援事業研修会 H28.10.4実施 参加者27人</p> <p>○要保護児童対策協議会代表者会議・実務者会議 参加延べ31回</p>	A	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	休日・夜間における適正な小児科受診の啓発	行田市	<p>○市報、ホームページによる情報提供</p> <p>○乳児産婦全戸訪問事業等で「子どもの救急ミニガイドブック」を配布し、啓発を行う。</p>	<p>○市報、ホームページ、ポスターの掲示により、周知を図った。</p> <p>○乳児産婦全戸訪問事業で「子どもの救急ミニガイド」を配布した。</p>	A	保健センター
		加須市	<p>○小児科医による救急講座・子育て相談を開催し、受診が必要な症状等について啓発する。</p> <p>○広報紙やホームページ、チラシの配布などによって啓発する。</p>	<p>○市内の小児科専門医を講師に招いて、市内4地域で子どもの救急講座・子育て相談を開催し、子育て中の保護者等がもしもの時の対応について学習した。（4回開催、参加者373人）</p> <p>○市内の小児医療に関するチラシを作成し、市民への周知を図った。</p>	A	医療体制推進課
			<p>○乳児家庭訪問事業や乳幼児健診等の保健事業の中で、かかりつけ医や急病時の知識の普及に努める。（チラシ配布）</p>	<p>○乳児家庭訪問事業実施時に、小児救急医療ガイドブックを説明しながら配布している。（年682件）</p> <p>○3～4か月児健診時には、チラシを説明しながら配布している。（年42回）</p>	A	健康づくり推進課
		羽生市	<p>○広報やホームページによる休日当番医、埼玉県小児救急電話相談、埼玉県大人の救急電話相談等の情報提供の実施</p>	<p>○広報やホームページによる休日当番医、埼玉県小児救急電話相談、埼玉県大人の救急電話相談等の情報提供の実施</p> <p>○加須保健所との共催による小児救急に関する講座の開催</p>	A	健康づくり推進課
		久喜市	<p>○子ども医療費及びひとり親家庭等医療費の受給資格証に、平日の診療時間内での受診を促す文章を表記する。</p> <p>○市報・市ホームページによる情報提供を実施する。</p>	<p>○子ども医療費及びひとり親家庭等医療費の受給資格証に、平日の診療時間内での受診を促す文章を表記した。</p> <p>○市報・市ホームページによる情報提供を実施した。</p>	A	子育て支援課
		蓮田市	<p>○母子健康手帳交付時に「子どものミニ救急ガイドブック」の配布</p> <p>○健康カレンダーや子育てガイドブックに小児救急電話番号、#8000、救急医療情報、休日急患診療等の情報を掲載</p> <p>○乳幼児健診で、事故防止パンフレットの配布</p>	<p>○母子健康手帳交付時に「子どものミニ救急ガイドブック」を説明して450名に配布し、早期に知識の普及をするよう努めた。</p> <p>○健康カレンダーや子育てガイドブックに小児救急電話番号、#8000、救急医療情報、休日急患診療等の情報を掲載。</p> <p>○乳幼児健診で、事故防止パンフレットを415名に配布。</p>	A	子ども支援課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	休日・夜間における適正な小児科受診の啓発	幸手市	<p>○広報紙、ホームページ、健康環境カレンダーで休日により情報提供を図る。</p> <p>○乳幼児家庭全戸訪問事業における訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」を配布</p> <p>○パパママ教室同窓会、10か月児健診、母子健康教育（集まれ6～7か月ベビー）時に、事故防止と上手なお医者さんのかかり方について指導を行う。</p> <p>○乳幼児家庭全戸訪問事業と乳幼児健診時に「お医者さんに行くべきか迷ったらまず相談！」ファイルを配布</p>	<p>○広報紙、ホームページ、健康環境カレンダーにより情報提供を図った</p> <p>○乳幼児家庭全戸訪問事業における訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」を配布（272人）</p> <p>○パパママ教室同窓会（8回、延べ61人）、10か月児健診、母子健康教育（集まれ6～7か月ベビー）時（6回、135人）に、事故防止と上手なお医者さんのかかり方について指導を行った</p> <p>○乳幼児家庭全戸訪問事業（272人）と乳幼児健診時（1180人）に「お医者さんに行くべきか迷ったらまず相談！」ファイルを配布（延べ1452人）</p>	A	健康増進課
		白岡市	<p>○市報、ホームページ、保健センター事業等予定表等に救急電話相談や休日夜間急患診療所の情報提供をする。</p> <p>○母親学級において子どもの急な病気についての講話の実施や、赤ちゃん訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」を配布し、適正受診について啓発する。</p>	<p>○市報、ホームページ、保健センター事業等予定表等に救急電話相談や休日夜間急患診療所の情報提供を行った。</p> <p>○母親学級同窓会において子どもの急な病気についての講話の実施や、赤ちゃん訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」等を配布し、適正受診について啓発した。（母親学級同窓会年6回 56人、赤ちゃん訪問427件）</p> <p>○小児救急医療啓発事業として、市内幼稚園において医師による講演会を実施した。（1回 37人）</p>	B	健康増進課
		宮代町	<p>○赤ちゃん訪問等でパンフレット「子どもの救急ミニガイドブック」の配布による啓発</p>	<p>○赤ちゃん訪問・面接時にパンフレットの配布（計240名）</p> <p>○掲載した保健センターガイドを全世帯に配布</p>	A	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	<p>○ママパパ教室やこんにちは赤ちゃん訪問時に、「上手なお医者さんのかかり方」について保健指導を実施する。</p> <p>○小児救急電話相談「#8000」や埼玉県救急医療情報センターのシステム及び小児休日診療の啓発を行う。（保健センター年間計画表・広報等への掲載・赤ちゃん訪問時）</p> <p>○冬季に実施している小児休日診療については、乳幼児健診時・訪問時などにチラシを配布するとともに、各医療機関・公共施設にポスター掲示またはチラシを設置し、周知を図る。</p>	<p>○ママパパ教室やこんにちは赤ちゃん訪問時に、「上手なお医者さんのかかり方」について保健指導を実施した。ママパパ教室延参加人員150人</p> <p>○小児救急電話相談「#8000」や埼玉県救急医療情報センターのシステム及び小児休日診療の啓発を行った。（保健センター年間計画表・広報等への掲載・赤ちゃん訪問時に内容が印刷されたクリアケース配布）</p> <p>○冬季に実施している小児休日診療については、乳幼児健診時・訪問時などにチラシを配布するとともに、各医療機関・公共施設にポスター掲示またはチラシを設置し、周知を図った。</p>	A	健康支援課

## 第6次地域保健医療計画の平成29年度事業計画案

(医師会・歯科医師会・薬剤師会・医療機関・各団体)



第6次地域保健医療計画の平成29年度実施計画調査票

1 脳卒中医療

（目標）

予防重視の観点から、医療機関、医師会、医療保険者、市町で連携を強化し健康教育や保健指導等予防のための取組を行います。  
 脳卒中の予後改善を図るため病院前救護から急性期・慢性期の治療やリハビリ、在宅医療までの医療連携体制の構築を推進します。  
 利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」の地域連携クリティカルパスを活用するなど、プレホスピタル・ケアから在宅医療に関わる複数の機関における患者情報の共有化を図り、良質な医療提供に努めます。  
 患者が病期に応じ、適切なケアが享受できるよう医療情報システムや介護・福祉サービスの情報提供を行います。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	高血圧等脳卒中ハイリスク者に対する保健指導の充実	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力をする。	会長
		行田市医師会	○市内3医療機関での脳ドックの実施及び健診後の各医療機関での指導を実施	会長
		幸手薬剤師会	○健康まつりでの保健指導、栄養指導実施	
		行田市薬剤師会	○市内3薬局において健康相談会を定期的に実施	
		行田中央総合病院	○健康まつりなどで小冊子などを配布。	
		行田総合病院	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施	健康管理センター
		行田総合病院	○脳ドックの実施	健診担当
		行田総合病院	○脳ドックの推進	栄養科
		行田総合病院	○栄養指導の充実	事業部
羽生総合病院	○医療講演を行い、脳ドックの重要性を地域に広める。	健康管理センター		
新久喜総合病院	○脳ドックの啓発・推進活動	事業部		
済生会栗橋病院	○高血圧、脂質異常症、糖尿病、透析患者を対象とした食事療法・服薬指導・保健指導を行う。	地域連携課		
蓮田病院	○地域の医療機関と連携し、高血圧症の栄養指導を拡充する。 ○検診センターにおいて脳検査の推進 ○公開講座への取り入れ項目とする	経営企画室		

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	高血圧等脳卒中ハイリスク者に対する保健指導の充実	東埼玉総合病院	○予防重視の観点から、市民公開講座を開催し、医療機関、医師会、行政（幸手市、杉戸町、宮代町）と連携し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行う。	地域医療推進部
		白岡中央総合病院	○5月12日の看護の日や8月5日の白岡祭り、または院内などでの健康相談や11月開催予定の公開講座で、病気予防への啓発 ○インターネット上での案内、受診しやすい内容のコースを設定し、受診しやすい体制を取る。	健康管理課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	医療機関と消防機関との連携によるプレホスピタルケアの充実	北埼玉医師会	○埼玉県東部地域MC、埼玉県北部地域MC、BANDO、MCの構成員として、充実に協力をする。	会長 担当理事
		行田市医師会	○市民フォーラムにおいてAEDの体験学習及び消防署員による寸劇の中でAED講習を実施	会長
		行田市 歯科医師会	○地域連携病院との関係強化（行田中央総合病院・行田総合病院）	会長
		行田総合病院	○医療機関と消防機関とで症例を持ち寄ったプレホスピタルケアの勉強会を実施。	医師
		羽生総合病院	○救急隊員との連携を強化し、診療の質を高めるために症例検討会、気管内挿管の研修やERカンファレンスを実施する。	救急委員会 事業部
		新久喜 総合病院	○地域医療ネットワークシステムの構築に協力、医療情報の共有による地域完結型医療の実現 ○医療機関を対象とした連携会、症例検討会、研修会の開催（年12回以上） ○救急隊との症例検討会の開催（年2回）	地域医療課
		済生会栗橋病院	○消防署員や救急隊員および保健所職員・学校職員に当院にきていただき、脳卒中を中心とする救急医療に対する研究会を定期に開催している。今後も、事例、症例を共有することで、更なるレベルアップと相互に顔の見えるチーム体制を築く。	地域連携課
		蓮田病院	○派遣型救急ワークステーションとの連携強化 ○救急隊員の実習受入 ○普通救命講習の実施	経営企画室
		東埼玉総合病院	○消防機関との連携強化に向け『症例検討会』を開催（年2回予定） ○近隣消防機関との連携強化のために訪問し、救急科長、事務部長等訪問による当院との要望・意見交換の実施	
		白岡中央 総合病院	○普通救命講習を全職員を対象に実施（平成29年6月、9月、12月、平成30年3月予定） ○消防機関への連携訪問（救急担当医師や医師入職時に定期訪問） ○埼玉県東部地区メディカルコントロール協議会への定期的な参加	総務人事課
		北埼玉医師会	○「とねっと」の普及と活用にチャレンジする。	担当理事
		行田市医師会	○急性期は2病院が対応し、回復期は各医療機関が対応している。各病院には地域医療連携室があり、調整にあたっている。	
		埼葛歯科医師会	○地域連携病院との関係強化	会長

医療機関  
医師会  
歯科医師会  
薬剤師会  
各団体

地域連携クリティカルパスを活用した医療連携体制の整備

久喜市 歯科医師会	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催	会長
蓮田市 歯科医師会	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催	会長
白岡市 歯科医師会	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催	会長
行田市 歯科医師会	○地域連携病院との関係強化（行田中央総合病院・行田総合病院）	会長
行田総合病院	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会のパスによる患者様の受入れを継続（回復期）	脳外科 MSW
中田病院	○地域医療連携会への参加 ○埼玉県脳卒中地域連携研究会情報交換会への参加	地域医療 連携室
羽生総合病院	○地域医療連携会へ参加する。	地域連携室
新久喜 総合病院	○地域医療ネットワークシステムの構築に協力、医療情報の共有による地域完結型医療の実現 ○地域医療連携懇話会への参加 ○市内救急告示病院事務担当者との連絡調整会議への参加	地域医療課
済生会栗橋病院	○3ヶ所の急性期病院と1ヶ所のリハビリテーション施設間で、脳卒中地域連携クリティカルパスの運用について、年3回の情報交換を実施する。さらに参加施設を広めて継続する。	福祉相談課
東埼玉病院	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会の主催する「情報交換会」に常時出席予定（それぞれ3回/年程度）	リハビリテーション科・医療福祉相談室
蓮田病院	○「とねっと」を活用した地域医療機関とのクリティカルパス運用実績の拡大 ○利根医療圏における「とねっと」新規獲得のためのワーキンググループ会議参加	病診連携室
東埼玉総合病院	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会情報交換会に参加 ○脳卒中地域連携パスの運用継続	地域医療 推進部
白岡中央 総合病院	○埼玉県脳卒中パスの運用、連携医療機関との連携 ○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会の情報交換会への参加	地域医療・ 連携センター

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への情報提供	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、傘下の医療機関において住民に情報提供を行う。	担当理事
		行田総合病院	○病院院外広報誌などでの情報提供	広報
		羽生総合病院	○ホームページや広報誌を充実させるとともに、医療講演を開催した際に受け入れ実績、手術の実績を説明する。	広報委員会 情報室
		新久喜 総合病院	○地域の医師に対する脳神経外科医師による脳卒中に対する当院での最新治療の啓発（医師、救急隊向け症例検討会、ポスター掲示等） ○地域住民を対象とした院内外での健康教室の開催（年間90回）	地域医療課
		済生会栗橋病院	○当院のホームページでの情報発信及び当院が主催する「出張市民講座」等において、当院が脳卒中に24時間365日対応できる旨を情報提供する。 ○土・日曜日のリハビリテーションが可能となる体制づくりをしているが、このことが可能になり次第、ホームページへの情報掲載やクリニックへお知らせを出すようにする。	地域医療連携センター
		東埼玉病院	○近隣市町の地域住民を対象として「市民健康講座」等を開催し、運動指導等の啓発を行う。	リハビリテーション科・地域医療連携室
		東埼玉総合病院	○『地域連携の会』を開催し地域の医療機関、在宅医療機関等との情報交換を実施 ○ホームページや院内掲示にて積極的な情報提供に努める。	地域医療推進部
		白岡中央 総合病院	○脳神経外科の担当医の変更時など、常に最新の情報を病院ホームページに掲載する。また新入職の医師などは中央病院ニュース（広報誌）で紹介し周知を行う。	総務人事課

## 2 糖尿病医療

(目標)

特定健診・保健指導を効率的効果的に実施し、自覚症状のない早期の段階で、生活習慣の改善を図り、QOLの向上のため糖尿病予防に努めます。

早期診断された患者の悪化防止のために、標準的な糖尿病教育プログラムが受けられるような医療機関を増やします。

初期・安定期の治療や保健指導について、かかりつけ医と専門医療機関が地域で共通したパスを活用した情報提供システムの普及啓発を目指し、病院と診療所の連携強化を図ります。

地域の管理栄養士等の質の向上と指導の標準化を図るため、市町、医師会が協力して地域として糖尿病教育の質が向上するような研修会を実施します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	特定健診・保健指導の効果的な実施	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力をする。	担当理事
		行田市医師会	○保健センターにおける保健指導について問題症例は相談を受けアドバイスを行っている。	会長
		南埼玉郡市医師会	○会員医療機関において、特定健診28,000件を実施予定。	
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣	会長
		行田中央 総合病院	○特定健診の受入れ体制の強化 ○特定保健指導の受診勧奨の強化	健康管理 センター
		行田総合病院	○特定健診の充実を図る。 ○特定健診に対する病院院外広報誌での情報提供	健診担当 広報 医師 健康推進課
		中田病院	○産業医による訪問・指導 ○積極的に特定健診の受診勧奨を行う。	
		羽生総合病院	○特定健診受診の啓発活動を強化する。ホームページや広報誌で特定健診について案内していく。	健診センター
		新久喜 総合病院	○特定健診の充実を図る	
		済生会栗橋病院	○健診センターにおける特定健診や健康診断を通じて、糖尿病だけでなく、メタボリック症候群等のハイリスク患者を抽出し、常駐する健診センター長から詳細な説明と2次健診の必要性について案内する。	健診センター
		新井病院	○特定健診受診の啓発活動 ○掲示・広報誌での情報提供	看護部
		蓮田よつば病院	○特定健診受診の啓発活動 健診の受け入れ体制の強化	○特定

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	特定健診・保健指導の効果的な実施	白岡中央 総合病院	○特定健診の受診者数向上に向け、周知の方法として院内放送で時期の案内を行う。また、オプション検査の対応開始	健康管理課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病患者の教育プログラムの充実	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力をする。	担当理事
		行田市医師会	○市の依頼により講習会講師を派遣している。 ○薬局でHbA1C測定を行い、検査異常者には協力医療機関を公開している。	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣	会長
		行田中央 総合病院	○糖尿病患者会活動を通じての啓発活動の充実 ○院内イベントにおける講演等の実施 ○行田市公開講座への講師の派遣 ○糖尿病教育入院の実施 ○糖尿病透析予防プログラムの充実 ○フットケア外来の拡充	関係各部署
		行田総合病院	○糖尿病教育入院の実施 ○栄養指導の充実	医師 栄養科
		中田病院	○合併症予防のための患者それぞれに合った教育的指導を充実させる。 ○多職種でのチームカンファレンスの実施	糖尿病 療養指導士
		羽生総合病院	○糖尿病教育入院の実施並びに医療講演、糖尿病教室を開催。栄養指導の強化。	診療部門 栄養科
		済生会栗橋病院	○平成29年4月から、常勤の糖尿病専門医が赴任しており、糖尿病患者の教育プログラムを見直しを実施している。今後、外来および病棟において、定期的な患者啓発活動を行う。	診療統括部
		新井病院	○糖尿病教育入院パス及び資料を見直し情報を共有化 ○栄養指導の充実	看護部
		東埼玉病院	○生活習慣病教室（糖尿病教育を含む）の開催（12回／年） 対象患者：外来患者 講師：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士及び栄養士。	栄養管理室

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病患者の教育 プログラムの充実	東埼玉総合病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○糖尿病患者の教育プログラムのさらなる充実</li> <li>・糖尿病教育入院 年間60件</li> <li>・フットケア外来 年間300件</li> <li>・透析予防プログラム 年間300件</li> <li>・冠動脈疾患予防プログラム 年間500件</li> <li>・閉塞動脈硬化症予防プログラム 500件</li> <li>・治療中断予防プログラム 300件</li> <li>・歯科と連携した予防プログラム 実施</li> <li>・生活習慣病予防祭りの開催 1回</li> <li>・糖尿病栄養指導件数(個人)年間1,000件</li> </ul>	地域糖尿病 センター
		白岡中央 総合病院	○看護外来の開設(8月2日から、緩和ケア認定看護師とともに開設。がんによる疼痛や心のつらさ、糖尿病の予防・悪化・血糖コントロールなど相談にのる。毎週水曜日9時~13時実施。予約受付から当日受付も可能)	看護部 糖尿病 認定看護師
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病地域医療連 携システムの構築	北埼玉医師会	○「とねっと」の普及と活用にチャレンジする。	担当理事
		行田市医師会	○薬局でのHbA1c測定異常者に協力医療機関を公開している。	会長
		埼玉葛歯科医師会	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用した連携システムの強化	会長
		北埼玉 歯科医師会	○糖尿病予防教室や病院内で糖尿病患者会への講話	会長
		行田市 歯科医師会	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用した連携システムの強化	会長
		行田市薬剤師会	○引き続き行田市、行田市医師会、行田市歯科医師会連携のもと、市内12薬局の検体測定室にてHbA1c測定を推進し、数値が高いにも関わらずまだ治療されていない方を発見し受診勧奨する。健診などへの積極的参加も呼びかける。	
		行田中央 総合病院	○行田市薬剤師会が行うHbA1c測定事業への協力	
		中田病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連携する医療機関と定期的な情報交換会への参加</li> <li>○地域住民を対象とした公開講座開催。</li> <li>食事指導、運動療法等、パンフレット配布</li> </ul>	糖尿病 療養指導士
		羽生総合病院	○連携医療機関との情報交換会の開催。医療講演やホームページ等で地域住民への周知。	事業部 地域連携室
		済生会栗橋病院	○連携する医療機関と年間3回の定期的な情報交換を行う体制があるが、今後は糖尿病の連携のための会とする。	地域医療連 携センター
東埼玉病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○看護の日イベントとして、地域住民への食生活・栄養相談を予定。</li> <li>○地域住民を対象として、健康講話を実施し、食生活の相談、パンフレットの配布を行う予定。</li> </ul>	栄養管理室		

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病地域医療連携システムの構築	蓮田病院	○地域の医療機関と連携し、糖尿病の栄養食事指導の拡充 ○公開講座の実施	経営企画室
		東埼玉総合病院	○糖尿病循環型連携パス（紙パス）年間800件 ○電子版糖尿病連携パス（とねっとによるITパス）年間1,000件 ○在宅での糖尿病管理や訪問診療との在宅医療連携のさらなる強化 ○幸手市薬剤師会調剤薬局との連携事例 50件 ○幸手市国保データベースによる透析予防事業との連携	地域糖尿病センター
		白岡中央総合病院	○院内の糖尿病教育パスの見直しを行い、その後、糖尿病地域連携パスの導入	看護部 糖尿病認定看護師
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病治療及び保健指導を担う専門職の質の向上	北埼玉医師会	○糖尿病第一人者による学術講演を年間3～4回開催し、医師会員の質の向上に努める。	担当理事
		行田市医師会	○保健センターにおける保健指導について、相談があればアドバイスを行っている。	会長
		埼玉葛歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加、糖尿病関連講習会の実施 ○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会への参加及び講師派遣	会長・専務理事
		幸手市歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加、糖尿病関連講習会の実施 ○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会への参加及び講師派遣	会長
		北埼玉歯科医師会	○外部講師による学術講演会の実施	会長
		行田市歯科医師会	○糖尿病関連講習会の実施、および行田市内の調剤薬局にて実施している糖尿病の簡易検査の検討	会長
		幸手薬剤師会	○糖尿病が疑われる住民への受診勧奨の研修会を実施 ○糖尿病ネットワーク研修会への参加 ○糖尿病治療薬についての研修会実施 ○管理栄養士との連携	
		杉戸・宮代薬剤師会	○糖尿病治療に関する講習会の実施及び参加	
		羽生市薬剤師会	○糖尿病治療と医薬品講習会の開催 ○糖尿病簡易検査の検討	
		中田病院	○病棟スタッフの糖尿病に対する知識の向上 ○統一化のため、指導体制の強化を行う。 ○糖尿病研修に参加。スタッフへの伝達講習。	糖尿病療養指導士
羽生総合病院	○糖尿病専門医の採用。研修会へ参加し、最新の医療情報を習得し専門知識を向上させる。	診療部門 地域連携室		



医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病治療及び保 健指導を担う専門 職の質の向上	新久喜 総合病院	○各団体主催の糖尿病関連の研修会等に参加	健康管理 センター
		済生会栗橋病院	○平成29年4月から常勤の糖尿病専門医が赴任しており、院内研修として糖尿病に関わる勉強会を実施することで、糖尿病チームの専門性のレベルをアップを図る。	診療統括部
		新井病院	○埼玉利根医療圏地域糖尿病ネットワーク研究会の参加及び専門研修会に参加し、質の向上を図る。	看護部
		東埼玉総合病院	○埼玉利根医療圏地域糖尿病療養指導士養成講座開講 ○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会の開催 ○学術・講演会活動の実施 ○地域ぐるみの疾病管理専門部会（DM・CKD・眼科・歯科・認知症・心筋梗塞）	地域糖尿病 センター
		白岡中央 総合病院	○糖尿病療養指導士（CDE）・地域糖尿病療養指導士（CDEL）受講（病院医療従事者） ○看護外来の開設 ○対外的な研修会の実施（看護学校で糖尿病看護についての研修等を予定）	看護部 糖尿病 認定看護師

### 3 在宅医療

（目標）

安心して在宅医療へ移行してもらうための環境づくりに努めます。

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護職員など多職種が連携したチームで、患者、家族をサポートする体制を構築します。

かかりつけ医とかかりつけ医を支援する地域の中核病院の連携を強化し、地域完結型の医療提供を推進します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅医療機関と入 院医療機関の連携 推進	北埼玉医師会	○北埼玉医師会内に設置した「北埼玉在宅医療連携室」がコーディネーターとして連携推進を図る。 ○連携ツールとして「とねっと」の普及にチャレンジする。	担当理事
		行田市医師会	○在宅医療拠点を行田中央総合病院に依頼している。 ○在宅医療実施医療機関の会合を毎月実施し、情報交換を行っている。	会長
		南埼玉郡市 医師会	○南埼玉郡市医師会内及び東埼玉病院の在宅医療連携拠点において、在宅医療・介護関係者からの相談対応、及び訪問診療医の登録、在宅医療支援ベッドの確保を実施予定	

医療機関  
医師会  
薬剤師会  
歯科医師会  
各団体

在宅医療機関と入院医療機関の連携推進

北葛北部医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の医療・介護の資源の把握</li> <li>○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討</li> <li>○医療・介護関係者の情報共有の支援</li> <li>○医療・介護関係者の研修</li> <li>○地域住民への普及、啓発</li> <li>○在宅医療・介護連携に関する関係市町との連携</li> </ul>	在宅医療 連携拠点事業 推進室
北埼玉 歯科医師会	○在宅歯科医療推進窓口（行田中央総合病院内）の設置の継続。羽生、加須地区への在宅窓口のサテライトの設置。	地域保健部 地域包括部
行田市 歯科医師会	○行田中央総合病院内に設置した北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点の活用と従来からある行田市在宅歯科医療窓口との整合性確保	会長
行田中央 総合病院	○在宅療養支援病院として、連携する3医療機関との連携強化を進める	地域連携室
行田総合病院	○在宅機関との定期的な情報交換 ○在宅機関との入院患者に対するカンファの実施	MSW 地域連携室
中田病院	○地域医療機関との意見交換、情報共有を行う。 ○退院支援業務の強化（退院前カンファレンスを含む） ○訪問診療事業の充実を図る。	地域医療 連携室 医師 訪問部
羽生総合病院	○地域医療機関との意見交換、情報共有を積極的に行う。 ○院内で関わる部署間のスムーズな連携。	地域連携室
新久喜 総合病院	○在宅医、訪問看護ステーション、ケアマネ等とのカンファレンス実施 ○医療連携会を開催し、地域における当院の役割を説明（年2回）	地域医療課
済生会栗橋病院	○地域医療構想に基づき、連携する地域の医療機関と担当する医療の範囲および地域の実情に即した連携体制についての調整を行うことで、急性期医療から在宅医療へのシームレスな体制整備を行い、地域完結型医療を目指す。このこと、具現化する会議体を立ちあげ、地域を積極的にカバーする医療ネットワークを提案する。 ○入退院支援センターの専任看護師・MSWがケアマネージャーとの連絡を密にし、在宅医療を専門としているクリニック等に情報を提供している。入院時にも、連絡を取り合うことにより、さらに密な連携体制とする。 ○訪問看護ステーションのスタッフは、医師会主催の介護医療の会に出席する。	入退院支援課
東埼玉病院	蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、多職種協働による在宅医療の支援体制等について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組む。在宅医療提供体制充実支援事業の「在宅療養支援ベッド」の受け入れ病院として引き続き参加する。	総合診療科

医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅医療機関と入院医療機関の連携推進	蓮田よつば病院	○かかりつけ医や近隣医療機関との連携を図るため定期的な訪問を行う。	地域医療 相談室
		東埼玉総合病院	○在宅医療機関と入院医療機関の連携を推進 ○医療介護のさらなる連携を推進するために、地域包括支援センターを囲んでの意見交換会「地域包括ケアワーキング」を定期開催	在宅医療 連携拠点事 業推進室
		白岡中央 総合病院	○地域連携の会の開催（平成29年度中に開催予定） ○在宅療養支援ベッドの推進（往診医より依頼があった際は速やかに対応する。） ○在宅医療機関へ情報交換と関係性の促進を目的に年3回程度の訪問を行う。 ○回復期退院パス作成による退院調整の強化 ○多職種参加による中間、退院前カンファレンスの実施 ○ ベッドコントロール会議（月2回）による看護師、社会福祉士、セラピストとの情報共有の強化 ○回復期病棟の入院時訪問件数のアップ（年間24件目標（平成28年度実績：16件/年）） ○退院時訪問の件数アップ（年間20件目標（平成28年度実績13件/年）） ○地域診療科の新設（在宅医療担当の常勤医師の配置）	地域医療・ 連携センター リハビリテー ション技術科
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	医療と介護が連携した多職種協働の推進	北埼玉医師会	○北埼玉医師会内に設置した「北埼玉在宅医療連携室」が中心となり、「北彩あんしんリンク」（MCS）にチャレンジする。	北埼玉在宅 医療連携室
		行田市医師会	○多職種による在宅医療連携の会議を実施している。	会長
		南埼玉郡市 医師会	○年2回（9月、2月）に在宅医療研究会を開催予定	
		埼葛歯科医師会	○埼葛地区拠点窓口の活動強化	会長
		蓮田市 歯科医師会	○在宅医療連携推進協議会への参加、取組強化	会長
		北埼玉 歯科医師会	○多職種連携会議への参加。ケアマネ連絡会での講話。	地域包括部
		行田市 歯科医師会	○行田市健康福祉部高齢者福祉課主催の多職種連携会議への参加と北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点のPR	会長

医療機関  
医師会  
薬剤師会  
歯科医師会  
各団体

医療と介護が連携  
した多職種協働の  
推進

羽生市 歯科医師会	○介護関連施設及び障がい者施設での口腔ケア、歯科保健指導 ○医師会、薬剤師会、介護支援専門員との口腔ケアの重要性について、協議 ○介護支援専門員の総会に出席して、口腔ケア・口腔機能の回復の重要性・訪問歯科の利用について説明 ○地域包括ケアシステムモデル事業の自立支援型地域法価値ケア会議に参画	会長
幸手薬剤師会	○訪問薬剤師の同行訪問 ○介護職員との研修会を実施	
杉戸・宮代 薬剤師会	○在宅医療連携推進に関する講習会への参加	会長
行田市薬剤師会	○行田市、行田市医師会、行田市歯科医師会とともに地域包括ケアシステムの構築を目指し、在宅医療と介護の連携を図る	
羽生市薬剤師会	○医師会、歯科医師会、行政との連携の継続 ○ケアマネとの連携の強化	
行田中央 総合病院	○行田市医師会と連携して在宅医療支援センターを運営し、在宅医療における医師、歯科医師、コメディカル等を紹介する「在宅主治医等紹介システム」を運営する ○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催するミーティングに参加し、連携・多職種協働の動きに対し協力していく ○多職種連携会議への参加、協力	地域連携室等
行田総合病院	○多種職連携会議や地域のケアマネ会へ参加して医療と介護の連携を図る。	MSW リハビリ
中田病院	○居宅介護支援事務所、介護施設、地域包括センター等と連携し、情報共有を図る。 ○訪問看護ステーションと連携し、病院から在宅への移行や状態変化時、病院の受け入れをスムーズにする。 ○患者、家族が安心して在宅で療養できるようかかりつけ医や多職種との情報共有に努める。	地域医療 連携室 病棟・医局 訪問診療 訪問看護 ステーション
羽生総合病院	○訪問リハビリ、訪問介護、居宅介護支援センター等で連携を行い、医療、介護の枠を超えた患者本位の支援体制を構築する。	医療相談室 地域連携室 リハビリ部門

医療機関  
医師会  
薬剤師会  
歯科医師会  
各団体

医療と介護が連携  
した多職種協働の  
推進

済生会栗橋病院	○保健センター、地域包括支援センターを中核として、地域の医療機関と介護施設との意見交換の場作りをすることで、相互協力の環境整備を行う。 ○訪問看護ステーションの看護師・医師が退院調整担当のMSWと連携をさらに密にする。また、在宅リハビリテーションに向けて、理学療法士が訪問看護に随行することを実践する。	入退院支援課
東埼玉病院	蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、多職種協働による在宅医療の支援体制等について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組む。また、メディカルケアステーションの試運用を医師会からの依頼で行っており、引き続き試運用の結果を医師会や上記連携会議に適宜報告する。	総合診療科
蓮田病院	○2市1町の在宅医療研修会への積極参加と活用 ○埼玉県の勧める「MCS」導入を視野に入れた、在宅介護分野との医療連携の推進	病診連携室
蓮田よつば病院	○蓮田市在宅医療介護連携会議及び代表者委員会への出席 ○地域ケア会議や地域のケアマネ会へ参加して医療と介護の連携を図る。 ○病院主催の地域交流会の定期開催。 ○市医師会との連携強化。認知症懇話会への出席。	○地域 ○蓮田 地域医療 相談室
東埼玉総合病院	○定期的学習会の開催 ○交流会「ケアカフェ」の定期開催 ○医療介護のさらなる連携へ向けた会議の開催 ○在宅医療啓発イベントの開催 ○医療と介護の一体的な提供体制の構築	在宅医療 連携拠点事 業推進室
白岡中央 総合病院	○地域交流会の開催と継続 ○白岡市リハビリテーション協議会を通しての市内セラピストとの連携強化 ○平成29年度訪問リハビリ提供利用者数の拡大（前年比+30単位/月で目標745単位/月） ○介護保険事業所（通所リハ、通所介護等）のセラピストとの利用者情報共有強化 ○地域ケア会議に参加して医療と介護の連携強化 ○地域診療科の新設（在宅医療担当の常勤医師の配置）	地域医療・ 連携センター リハビリテー ション技術科

<p>医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体</p>	<p>医療と介護が連携した多職種協働の推進</p>	<p>新しらおか病院</p>	<p>○地域包括支援センターとの連携、訪問して定期的な相談を行い地域医療提供体制の充実を図る。 ○地域医療機関への定期的な訪問、連携の強化 ○白岡市役所と連携して、認知症初期集中治療チームを派遣 ○訪問看護、居宅介護包括ケアセンターとの医療連携 ○在宅医療支援のため、当院より医師を派遣（往診）</p>	
<p>医療機関 医師会 薬剤師会 各団体</p>	<p>地域完結型医療の推進</p>	<p>北埼玉医師会</p>	<p>○医療機関の連携ツールとして開発、運用してきた「とねっと」の更なる発展に向けてチャレンジする。</p>	<p>担当理事</p>
		<p>行田市医師会</p>	<p>○2病院の地域医療連携室を介し、患者の紹介、逆紹介を行っている。</p>	<p>会長</p>
		<p>埼玉葛歯科医師会</p>	<p>○地域連携病院との連携強化</p>	<p>会長</p>
		<p>行田市 歯科医師会</p>	<p>○地域連携病院の行田中央総合病院、行田総合病院との関連強化</p>	<p>会長</p>
		<p>行田中央 総合病院</p>	<p>○行田市医師会在宅連携拠点と連携して、かかりつけ医との連携を図る ○行田市歯科医師会との連携強化</p>	<p>地域連携室</p>
		<p>行田総合病院</p>	<p>○かかりつけ医との連携強化 ○紹介患者の受入及び逆紹介の推進</p>	<p>地域連携室</p>
		<p>中田病院</p>	<p>○在宅医療・医療連携の会への参加。顔の見える関係づくり強化する。</p>	<p>地域医療連携室</p>
		<p>羽生総合病院</p>	<p>○かかりつけ医との連携を強化し、紹介患者の受入れや適切な逆紹介を行っている。</p>	<p>地域連携室</p>
		<p>新久喜 総合病院</p>	<p>○協力医療機関との連携会議実施 ○多職種との病棟カンファレンス</p>	<p>地域医療課</p>
		<p>済生会栗橋病院</p>	<p>○地域医療構想に基づき、地域の医療提供体制の再編が求められているなかで、地域中核病院として、地域における病院群としての医療機能を整備すべく、定期的な情報交換の場作りを行う。 ○他の急性期病院との補完性を高めるとともに、クリニック等との情報共有に努める。また、当院の診療科の整備を充実する。</p>	<p>入退院支援課</p>
		<p>東埼玉病院</p>	<p>蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、地域完結型の在宅医療の推進等について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組む。</p>	<p>総合診療科</p>
		<p>蓮田病院</p>	<p>○医療連携懇話会などを通じて定期的な情報交換を行う。</p>	<p>経営企画室</p>
		<p>蓮田よつば病院</p>	<p>○訪問看護ステーションの機能強化型の取得。 ○認知症初期集中支援チームによる訪問促進</p>	<p>QOL推進部</p>
		<p>東埼玉総合病院</p>	<p>○地域ケア会議の開催 ○地域包括ケアにおけるワンストップ相談窓口である「暮らしの保健室」の設置場所を各地域に拡大（目標40箇所） ○地域包括ケアシステムの中核的役割を担う。</p>	<p>在宅医療連携拠点事業推進室</p>

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	地域完結型医療の 推進	白岡中央 総合病院	○地域の医療機関からの紹介と逆紹介件数の推進（紹介数268件/月、逆紹介数85件/数） ○地域連携の会の開催による診療科ごとの情報提供 ○地域診療科の新設（在宅医療担当の常勤医師の配置）	地域医療・ 連携センター
----------------------------	----------------	--------------	---	-----------------

#### 4 健康づくり対策

（目標）

健康と栄養・食生活について正しい知識の普及啓発を図り、生活習慣を改善して病気の発症を予防する「一次予防」を推進します。健全な食生活や健康的な生活環境の基盤づくりを進め、個人の健康づくりの取組を積極的に支援します。特定健康診査、がん検診の受診率の向上に努め、的確な保健指導を着実に実施します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力をする。	会長
		行田市医師会	○市の関連会議に参加・協力している。	会長
		南埼玉郡市 医師会	○会員医療機関において、特定健診28, 000件を実施予定	
		埼葛歯科医師会	○8020高齢者よい歯のコンクールの開催と啓発活動の強化	公衆衛生部
		久喜市 歯科医師会	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	会長
		蓮田市 歯科医師会	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	会長
		幸手市 歯科医師会	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	会長
		白岡市 歯科医師会	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	会長
		宮代町 歯科医師会	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	会長
		杉戸町 歯科医師会	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	会長

医療機関  
医師会  
歯科医師会  
薬剤師会  
各団体

健康づくりや生活  
習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発

北埼玉 歯科医師会	○保健センターや公民館での虫歯、歯周病予防に関する講話	会長、理事
行田市 歯科医師会	○行田市健康福祉部保健センター主催骨粗鬆症予防教室への協力	会長
加須市 歯科医師会	○個別成人歯科検診 問診や検査に基づき、歯周疾患及びう蝕に関する予防や生活習慣の改善について、保健指導（予防指導）を行う。 ○歯周病予防講座 歯周病専門医による講話	
羽生市 歯科医師会	○歯科保健普及啓発事業 羽生市福祉健康まつりにおいて、歯科健康相談を通して口腔衛生に関する知識の普及啓発を行う。 ○羽生市口から考える子供たちの健康づくり研究会	
幸手薬剤師会	○ロコモ体操啓発資材の配布 ○ロコモ体操啓発活動 ○健康福祉まつりでの健康相談会実施 ○薬局での栄養相談実施 ○薬物乱用防止活動	
杉戸・宮代 薬剤師会	○杉戸町の産業祭において、血圧測定及び健康相談を実施予定 ○薬物乱用防止教室において、地域での啓発活動を実施	
行田市薬剤師会	○日本禁煙学会認定禁煙サポーターのいる薬局にて、行田市、行田市医師会、行田市歯科医師会と連携してスモーカーライザーを使い禁煙を呼びかけていく。また、この取組を日本禁煙学会で発表する予定。	
羽生市薬剤師会	○健康福祉まつりにて、かかりつけ薬剤師の普及啓発 ○薬物乱用防止教室の継続	
行田中央 総合病院	○院内での健康まつりにおける健康啓発講演や各種展示の実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携して、小学校での禁煙教育の実施	
行田総合病院	○健康相談等で栄養指導等の実施	栄養科
中田病院	○地域住民を対象とした公開講座を開催。健康教育や生活習慣病予防のための知識向上を図る。	地域医療 連携室
羽生総合病院	○地域の住民を対象に医療講演を開催し、自身の健康について意識付けを行う。他医療機関と連携を図り、健康教育や保健指導といった予防医療を強化する。	地域連携室 事業部
新久喜 総合病院	○人間ドック等の推進・受診啓発 ○地域住民対象の病院内外での健康教室開催（年90回） （栄養指導・骨粗しょう症・生活習慣病について等）	健康管理 センター 地域医療課
済生会栗橋病院	○当院が主体的に行う「出張市民講座」や「健康相談」の場で、メタボリック症候群やがん予防・早期発見について情報提供を行う。	地域医療連 携センター



医療機関  
医師会  
歯科医師会  
薬剤師会  
各団体

健康づくりや生活  
習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発

新井病院	○地域のイベント（久喜市民祭り参加予定）に参加し、生活習慣病予防の啓発活動を行う。 ○年2回の市民講座を開催し、健康に関する正しい知識を習得	看護部
蓮田よつば病院	○認知症カフェ「はすカフェ」の月一回の定期的な開催 ○認知症予防教室の月一回の定期的な開催	QOL推進部
秋谷病院	○予防医療の院内掲示を行い、啓発活動を行う。	医事課
東埼玉総合病院	○住民を対象とした市民公開講座を開催し、医療機関、医師会、行政（幸手市、杉戸町、宮代町）と連携し、健康教育や保健指導等予防のための取組みを行う。 ○骨粗鬆症リエゾンサービス委員会において、地域への啓発活動として市民公開講座へ参加する。	地域医療推進部
白岡中央総合病院	○院外活動への積極的な参加をし、健康相談を行う（5月12日の看護の日や8月5日の白岡祭り等）。 ○行政との連携強化し、白岡市リハビリ連絡協議会で体操作成	健康管理課 リハビリテーション技術科
新しらおか病院	○オレンジカフェ参加 ○オレンジカフェや近隣介護施設等にて講演を行い、認知症予防に関する正しい知識の普及を継続して行う。	看護部 医療相談室
行田市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進員養成講座の実施 ○健康講話と調理実習を通じた健康教育 ○田んぼアート、農業祭への参加 ○親子の料理教室の実施 ○特定保健指導食事実践協力 ○健康教育及び健康講座に参加し、食の普及啓発 ○食改全体研修会（ウエルネスセミナー）開催	
羽生市健康運動普及推進員協議会	○健康運動普及推進員による運動習慣の普及	健康づくり推進課
羽生市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進員による調理実習を通じた正しい食習慣の普及 ○市民福祉健康まつりにて、健康づくりに関する知識の普及・啓発	健康づくり推進課
久喜市食生活改善推進員協議会	○保健事業の協力や自主事業、諸団体からの依頼講習会等を通して、子供から高齢者に対し食育の推進に取り組み、また、食を中心とした生活習慣予防に関する知識の普及・啓発を行う。	中央保健センター
蓮田市食生活改善推進員協議会	○健康まつりにて減塩みそ汁、野菜不足解消等、生活習慣病予防のアドバイスを対面と冊子を配布しながら行う。 ○年間を通じて、食の大切さを取り入れた予防教室を開催し、市民の健康意識を高める。	健康増進課

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	幸手市食生活改善推進員協議会	○健康福祉まつりにおいて試食や展示を行い、生活習慣病予防につながる食生活や健康づくりに関する知識の普及・啓発 ○米料理教室の実施	健康増進課
		白岡市食生活改善推進員協議会	○各種料理教室の開催。 男性料理教室「減塩調理実習」 ロコモ予防教室「骨太クッキング」 ○母子愛育会との協働による減塩習慣指導の実施 ○健康まつりへの参加「ロコモ予防食の試供品の提供」 ○減塩推進スキルアップ事業の開催	健康増進課
		宮代町食生活改善推進員協議会	○各種料理教室において、バランスのよい食生活について簡単な講話や調理実習を実施する。 ○「ヘルスメイトが繋ぐパートナーシップ事業」として、塩分測定器を用いた減塩普及活動を行う。 ○「生活習慣病予防のための食生活改善支援事業」として、生活習慣の改善に向けた講話やヘルシーメニュー（1食あたり野菜120g以上、塩分3g未満）の調理実習を行う。	健康介護課
		杉戸町食生活改善推進員協議会	○生活習慣病予防料理教室を開催する。 ○地域の健康づくりの牽引者を養成する「すぎと健康アカデミー」事業協力（調理実習講師等）	健康支援課
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	民間企業や地区組織など、多様な主体が連携した健康増進計画の策定及び推進	北埼玉医師会	○地域産業保健センターの運営主体として、加須市、羽生市の従業員50人未満の事業所の産業衛生の向上のための各種事業を行う。 ○医師会員が数十社の産業医としてその責務を果たす。	会長
		埼葛歯科医師会	○事業所健診の実施と啓発活動の強化	会長
		北埼玉 歯科医師会	○保険組合による企業検診への協力	会長
		行田市 歯科医師会	○保健組合による企業健診への協力	会長
		行田総合病院	○医師や看護師を企業に派遣し、健康のための指導・講演会を実施	医師
		中田病院	○特定健診実施増加に向け、広報活動を強化する。 ○地域住民の会合の場で講演や健康のための運動指導など実施する。	地域 医療連携室 医師 リハ科
		羽生総合病院	○産業医による定期訪問、指導を行う。 ○特定健診や企業検診の強化	健診センター
		新久喜 総合病院	○当院医師による企業向け、地域（老人会・婦人会・民生委員等）向けの専門的講話及び健康体操の実施 ○健康教室の開催参加	健康管理 センター 地域医療課

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	民間企業や地区組織など、多様な主体が連携した健康増進計画の策定及び推進	済生会栗橋病院	○近隣の行政が主催する健康イベントにおいて、健康相談、医療相談のブースを構えることで、定期的に健康増進のための働きかけを行う。	看護部
		新井病院	○医師を企業に派遣し、健康増進のための講演指導を行う。	看護部
		蓮田よつば病院	○自治会や民間企業等への認知症についての啓発活動の促進 ○認知症サポーター養成講座の開催	QOL推進部
		秋谷病院	○企業検診の受け入れ態勢の強化	医事課
		白岡中央 総合病院	○産業医の新規拡大（2社程度）を図り、従業員の健康づくりに貢献する。 ○体操教室による住民の健康づくり（9月5日、11月7日、平成30年1月16日、3月6日計4回／年予定） ○オレンジカフェ開催（10月10日、12月5日、平成30年2月6日計3回／年予定）にて住民への認知症予防、啓発活動	健康管理課 リハビリテーション技術科
		山王クリニック	○地域保健センターと連携を図り、継続的に支援ができるようにする。	
		新しらおか病院	○オレンジカフェ参加 ○医師、看護師、精神保健福祉士をオレンジカフェ、近隣介護施設等に派遣し講演を行い、認知症に関する正しい知識の普及を行う。	看護部 医療相談室
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	生活習慣病の早期発見と的確な保健指導の推進	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力をする。	会長
		行田市医師会	○特定健診をはじめ各種検診に協力している。	会長
		北埼玉 歯科医師会	○歯周病検診、健康長寿歯科検診の実施	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣、あるいは行田市保健センター事業の市民健康大学への講師派遣、保健センター主催骨粗鬆症予防教室への協力	会長
		羽生市 歯科医師会	○成人歯科相談 個々が有する口腔の悩みを解消し、口腔の健康の保持増進に努める。 ○成人歯科検診 40歳以上の方々に対し、各歯科医院で歯周病の予防及び口腔の健康の保持増進を行う。 ○8020よい歯のコンクール（北埼玉歯科医師会主催） ○高齢者歯科保健指導 ○歯科食育教室	
		行田中央 総合病院	○特定健診、特定保健指導の充実	健康管理 センター
		行田総合病院	○特定健診や人間ドックの更なる充実	健診担当
		中田病院	○糖尿病の医療講演等において個別相談に対応する。	健康推進課

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	生活習慣病の早期 発見と的確な保健 指導の推進	羽生総合病院	○医療講演にて生活習慣病についての意識付け。各種健診の案内と受診しやすい環境づくり	事業部 健診センター
		新久喜 総合病院	○巡回検診・施設内検診（人間ドック）の充実推進	健康管理 センター
		済生会栗橋病院	○健診センターにおける特定健診や健康診断を通じて、生活習慣病に対する個別指導を徹底する。また、健診受診者を増やすべく、広報活動に力を入れる。	健診センター
		新井病院	○市民祭り、市民講座、糖尿病教室等にて生活習慣病に対する啓発活動	看護部
		秋谷病院	○特定健診の啓発活動	医事課
		白岡中央 総合病院	○結果説明時に異常所見があった場合はそのまま外来受診を促すことにより早期発見、早期治療を目指す。	健康管理課
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域、学校等にお ける食育の推進	北埼玉医師会	○医師会員が学校医として健康教育の一環である食育の推進に努める。	会長
		行田市医師会	○各種会議に出席、協力している。	会長
		久喜市 歯科医師会	○久喜市食育健康まつりへの参加	会長
		北埼玉 歯科医師会	○公民会や学校での食育講話	会長
		行田市 歯科医師会	○公民館あるいは市内小中学校への食育講話	会長
		行田市薬剤師	○地域の公民館、学校、各種団体などで食育の推進を実施。	
		羽生総合病院	○地域の学校にて生徒、保護者、職員を対象に食育についての医療講演を開催する。	事業部 栄養科
		済生会栗橋病院	○食育セミナー等を通して、食育の重要性を啓発できるようにする。	
		白岡中央 総合病院	○小児科外来の案内板に子供の食育に関するポスター掲示を行い、啓発活動を行う。	栄養科
		加須市食生活改善 推進員協議会	○推進員や市民を対象に講話や調理実習を通じて生活習慣病予防（特に、糖尿病および高血圧予防）を行っていく。 ○市イベントにおいて資料配布やポスター、呼びかけ、試食等を通じて野菜の摂取についての普及啓発や健診受診勧奨を行う。 ○自主活動や出前講座等で子どもから高齢者までの食育活動を継続して行う。	健康づくり 推進課
		羽生市食生活改善 推進員協議会	○小学生を対象とした親子料理教室の開催	健康づくり 推進課
		幸手市食生活改善 推進員協議会	○市内の小学生とその保護者を対象におやこ料理教室を開催（夏2日、冬1人）	健康増進課

## 5 親と子の保健対策

(目標)

親と子の悩みや不安を相談でき、必要な支援が受けられるような地域社会をめざします。  
 生後なるべく早い時期に乳児のいる家庭の状況を把握することにより、乳幼児のいる家庭の孤立化を防ぎます。  
 また、乳幼児健康診査のさらなる充実で、育児支援や児童虐待の早期発見の機能を強化します。  
 関係機関の連携を強化していくことにより、親と子の成長や発達を支援します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	生後4か月ぐらいまでの乳児の状況把握と育児支援	北埼玉医師会	○加須市、羽生市からの委託として3か月健診を実施する。	会長
		行田市医師会	○4ヶ月児健診について、専門医療機関による個別健診を予定している。	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣	会長
		羽生市 歯科医師会	○乳幼児健診 歯科保健指導 3か月 予定実施回数12回	
		羽生総合病院	○当院出生児を対象とした乳幼児健康の実施	小児科 産婦人科
		山王ドーム クリニック	○予防接種の説明会の企画及び実施 ○生後1年までの個別相談に応じる。	
		白岡中央 総合病院	○育児の不安や疑問の解消（スキンケア等の乳児のお世話の仕方など） ○健診希望者への健康診断の実施	小児科
		加須市母子 愛育連合会	○遊びの広場や三世代交流会を開催	健康づくり 推進課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査の充実	北埼玉医師会	○加須市、羽生市からの委託として乳幼児健診を実施する。	会長
		久喜市 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	会長
		蓮田市 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	会長
		幸手市 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	会長
		白岡市 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	会長
		宮代町 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	会長
		杉戸町 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	会長

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	育児支援に重点を おいた乳幼児健康 診査の充実	行田市 歯科医師会	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣	会長
		加須市 歯科医師会	○歯科相談 ○1歳6か月児、2歳児、3歳児歯科検診 ○歯LOW教室（2歳児、親と子の虫歯予防教室）	
		羽生市 歯科医師会	○乳幼児健診 歯科保健指導 10か月 歯科検診及び歯科保健指導 1歳6か月・3歳 ○2歳児歯科検診 ○親子歯科教室 ○フッ化物塗布	
		行田総合病院	○附属行田クリニックにて毎週木曜日・金曜日の週2回乳幼児健康診断を引き 続き実施する。	医師
		羽生総合病院	○当院出生児を対象とした乳幼児健康の実施	小児科 産婦人科
		山王ドーム クリニック	○乳児健診の際に、助産師と個別相談できる時間を設ける。 ○計測デー実施により、発育・発達の相談に応じる。	
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	子どもの心の健康 に関する相談や情 報提供の充実	北埼玉医師会	○児童虐待防止ネットワークの中心的存在として、関係機関に助言するととも に、協力、連携に努める。	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣 ○行田市単独事業の2歳児歯科検診の実施 ○小学校就学前検診時の歯科講話の実施	会長
		羽生総合病院	○臨床心理士によるカウンセリング	臨床心理士
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	関係機関の連携強 化による子育て支 援	北埼玉医師会	○児童虐待防止ネットワークの中心的存在として、関係機関に助言するととも に、協力、連携に努める。	会長
		北埼玉 歯科医師会	○母と子の良い歯のコンクール、ママ・パパ教室での講話、就学児歯科検診時 の講話、2歳児歯科検診の実施	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣 ○行田市単独事業の2歳児歯科検診の実施 ○小学校就学前検診時の歯科講話の実施	会長
		白岡中央 総合病院	○小児予防接種の充実	小児科
		羽生市母子 愛育会連合会	○乳幼児健診の測定補助 ○市民福祉健康まつりに参加し、赤ちゃんハイハイコンクールの開催 ○家庭訪問にて声かけ活動、赤ちゃん誕生訪問の実施	健康づくり 推進課

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	関係機関の連携強化による子育て支援	久喜市母子愛育連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各地区保健センターの保健事業への協力（乳幼児健診の補助、教室・がん検診の託児 等）</li> <li>○各地区まつり・フェスタ等への参加協力</li> <li>○子育て支援イベントの開催</li> <li>○地域の小学校に出向き、授業への協力</li> <li>○研修会の開催</li> </ul>	中央保健センター
		蓮田市母子愛育会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊産婦乳幼児の家庭への声掛け訪問</li> <li>○乳幼児健康診査未受診者への訪問</li> <li>○各地域での母子で参加できるイベント（測定会、お茶会、七夕、ハロウィン、クリスマス会、豆まき、消防署見学、おいも堀、公園で遊ぼう会、幼稚園サロン等）の開催</li> <li>○子育てフェスタ等への参加</li> <li>○研修会の開催</li> </ul>	子ども支援課
		幸手母子愛育会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康増進課の保健事業に託児協力</li> <li>○地域の小学校に出向き、「いのちの大切さ事業」を実施</li> <li>○健康まつりに参加</li> </ul>	健康増進課
		白岡市母子愛育会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健センターの保健事業に託児協力</li> <li>○健康まつりへの参加</li> <li>○乳児教室等の開催</li> <li>○食生活改善推進員協議会との協働による料理教室の開催</li> <li>○家庭訪問による声かけ運動の実施</li> </ul>	健康増進課
		杉戸町母子愛育会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児への訪問及び乳幼児健診未受診者への訪問実施</li> <li>○年2回 母と子のつどいを開催</li> <li>○メッセージ入りマタニティキーホルダー・母子手帳カバー配布</li> <li>○保健センター事業への協力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食教室で保育協力</li> <li>・ママパパ教室で技術協力</li> <li>・骨粗鬆症・乳がん子宮がん健診会場において保育協力</li> </ul> </li> </ul>	健康支援課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	休日・夜間における適正な小児科受診の啓発	北埼玉医師会	○会員の小児科医による母親向けの出前講演、「子供の急病時の対応」を年4回開催する。（加須市からの事業委託）	会長
		行田総合病院	小児救急医療支援事業への継続的支援として、祝日の月曜日・金曜日の日中、月曜日・金曜日の夜間、第2・第4土曜日の夜間にて小児外来診療及び小児救急診療を継続して実施する。	
		羽生総合病院	○時間外となる、土曜日の午後、日曜日、祝日の8時から17時まで小児科医を配置し、救急医療を継続していく	小児科
		白岡中央総合病院	○自院で対応出来ない分、休日・夜間に必要となる受診に関し、マニュアル等を活用し、適切な情報提供の実施	小児科

## 第 6 次地域保健医療計画の平成 2 9 年度事業計画案

(市町・保健所)



第6次地域保健医療計画の平成29年度実施計画調査票

1 脳卒中医療

（目標）

予防重視の観点から、医療機関、医師会、医療保険者、市町で連携を強化し健康教育や保健指導等予防のための取組を行います。  
 脳卒中の予後改善を図るため病院前救護から急性期・慢性期の治療やリハビリ、在宅医療までの医療連携体制の構築を推進します。  
 利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」の地域連携クリティカルパスを活用するなど、プレホスピタル・ケアから在宅医療に関わる複数の機関における患者情報の共有化を図り、良質な医療提供に努めます。  
 患者が病期に応じ、適切なケアが享受できるよう医療情報システムや介護・福祉サービスの情報提供を行います。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	担当課名
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	高血圧等脳卒中ハイリスク者に対する保健指導の充実	行田市	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援の実施） ○特定健診結果の受診勧奨値の者に、必要に応じて受診勧奨を実施	保険年金課
		加須市	○保健師、管理栄養士による健康相談の実施 ○重点健康相談（高血圧予防）の実施	健康づくり推進課
		久喜市	○健康相談及び栄養相談を実施する。 定保健指導を実施する。 ○特	中央保健センター
		蓮田市	○健康相談を実施する。 ○特定保健指導を実施する。 ○特定保健指導対象外で高血圧や脂質異常症、糖尿病等リスクの高い者に対して、健康相談を実施する。 ○特定健診結果の受診勧奨値の者に対しては、必要に応じて受診確認及び受診勧奨を実施する。	健康増進課
		幸手市	○特定保健指導実施時、高血圧、高脂血症、高血糖、肥満傾向の有る方に生活習慣の見直しなどの保健指導を実施する。 ○成人健康相談で健康相談を実施する。	健康増進課
		白岡市	○特定健康診査（集団）結果説明会を利用し、希望者に個別健康相談を実施する。 ○パンフレット等の配布を行い、疾患に対する知識の普及啓発を行う。 ○特定健診結果の受診勧奨値の者に、受診勧奨方法を検討	保険年金課

		宮代町	○特定保健指導を実施する。	健康介護課 健康増進担当
		幸手 保健所	○保険者、事業所、健診機関等の関係者を対象にした会議や研修会の開催	総務・地域 保健推進担当 保健予防 推進担当
市町（国民健康保険、教育委員会及び消防機関を含む） 保健所	医療機関と消防機関との連携による プレホスピタル・ケアの充実	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」が持つ救急現場での患者情報参照機能等について、医療機関、消防機関及び住民への普及啓発を行い、利用を促進する。 ○市内救急告示病院事務長との連絡調整会議を開催する。	医療体制 推進課
		幸手 保健所	○救急医療対策協議会による、各医療機関及び消防機関との連携の推進	総務・地域 保健推進担当
		加須 保健所	○救急医療対策協議会において、各医療機関及び消防機関との連携を図る。	総務・地域 保健推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）	地域連携クリティカルパスを活用した医療連携体制の整備	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」の連携パス機能について、医療機関等への普及啓発を行い、利用を促進する。	医療体制 推進課
		加須 保健所	○地域連携クリティカルパス等を利用した医療連携体制の支援に努める。	総務・地域 保健推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への情報提供	加須市	○埼玉県救急医療情報センター、埼玉県医療機能情報提供システム及び夜間・休日における市内在宅当番医等の情報を、広報紙、ホームページ等で情報提供する。 ○市内救急告示病院事務長との連絡調整会議を開催する。	医療体制 推進課
		幸手 保健所	○医療機能情報システムによる、住民に対しての必要な医療機関、医療機能等の情報提供の推進	総務・地域 保健推進担当
		加須 保健所	○医療機能情報システムを活用し、住民に対して、必要な医療機関、医療機能等の情報提供を推進する。	総務・地域 保健推進担当

## 2 糖尿病医療

(目標)

特定健診・保健指導を効率的効果的に実施し、自覚症状のない早期の段階で、生活習慣の改善を図り、QOLの向上のため糖尿病予防に努めます。

早期診断された患者の悪化防止のために、標準的な糖尿病教育プログラムが受けられるような医療機関を増やします。

初期・安定期の治療や保健指導について、かかりつけ医と専門医療機関が地域で共通したパスを活用した情報提供システムの普及啓発を目指し、病院と診療所の連携強化を図ります。

地域の管理栄養士等の質の向上と指導の標準化を図るため、市町、医師会が協力して地域として糖尿病教育の質が向上するような研修会を実施します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	担当課名
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	特定健診・保健指導の効果的な実施	行田市	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援の実施）	保険年金課
		加須市	○保健指導プログラムを基に、特定保健指導を実施していく。	健康づくり推進課
		羽生市	○特定健診にe-GFR値の検査を実施 ○受診勧奨2回実施 ○特定健診受診券同封案内に、土曜日健診実施医療機関を掲載する。 ○夏祭り・福祉健康まつり、東部地区共同での受診勧奨PRを実施	国保年金課
		久喜市	○未受診者へ受診勧奨はがきを送付。 ○若い世代への浸透を狙い、SNS（市公式フェイスブック、ツイッター）による受診啓発を行う。 ○本庁および各支所窓口、実施医療機関等に、受診啓発スローガンやポスターを掲示する。 ○特定健康診査実施期間中、国民健康保険課職員が特定健診PR用ポロシャツを着用し、特定健康診査の啓発を行う。 ○市民まつり、健康食育まつり等において、特定健診PR用のポロシャツを着用し、啓発品の配布と共に受診勧奨を行う。 ○視覚的PRの充実のため、久喜市けんこう大使である、ゆるキャラのイラストを使用する。（→掲示用スローガン、ポスター、受診勧奨ハガキ、啓発品、PR用ポロシャツ、特定保健指導受診券送付用封筒等） ○特定健康診査実施医療機関に治療中の方への受診勧奨の協力依頼を行う。	国民健康保険課
			○特定保健指導対象者への案内通知を送付する。 ○特定保健指導の未利用者に対し、電話、訪問、郵便等による利用勧奨を実施する。 ○保健指導従事者の資質向上のため、研修会へ参加する。	

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）  
保健所

特定健診・保健指導の効果的な実施

蓮田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健診の結果で医療が必要と思われる者に対し、受診勧奨を実施する。</li> <li>○特定保健指導対象者に対しては、実施率が向上するよう案内通知等の工夫や電話や訪問等による利用勧奨を実施する。</li> <li>○特定保健指導対象外で保健指導が必要な者に対して、健康相談等を実施する。</li> </ul>	健康増進課
幸手市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健診（集団健診）を受診した40～74歳の方に対し、結果説明会を実施し、必要に応じて受診勧奨や、食生活相談・糖尿病教室への参加を勧める。</li> <li>○特定保健指導の未利用者に対して、通知、電話等による利用勧奨を実施する。</li> <li>○庁舎内や公用車に特定健診の受診勧奨のポスターなどの掲示を行い、受診者数向上を図る。</li> </ul>	健康増進課 保険年金課
白岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団健診を夏期・秋期の6日間実施。うち1日のみ日曜日実施。また、がん（胃・肺）検診と同時開催することで受診しやすい環境を整える。</li> <li>○コールセンターを設置して受診勧奨を実施。また、未受診者には、はがきにて受診勧奨を実施</li> <li>○集団健診の結果説明会で、特定保健指導対象者には、初回面接を行い利用率の向上を図る。</li> <li>○継続受診を促すため、啓発用品を配布する。</li> <li>○各種団体の総会などで特定健診等の周知啓発を実施。東部地区における特定健診受診促進合同PRキャンペーンに参加</li> <li>○個別健診実施医療機関にのぼり、ポスターを配布し特定健診のPRを実施</li> </ul>	保険年金課
宮代町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定保健指導において案内通知や電話による利用勧奨を行う。</li> <li>○対象者に沿った特定保健指導を実施する。</li> <li>○集団特定健診を受診した40代の方に、検査結果に沿った情報提供を行う。</li> </ul>	健康介護課 健康増進担当
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町内の個別健診実施医療機関にのぼり・ポスターを配布して、特定健診をPRする。</li> <li>○集団健診の予約開始前に、新40歳の方及び昨年度集団健診の受診実績がある方に受診予約勧奨通知を送付する。</li> <li>○新40歳の方及び過去3年で受診実績のある方のうち、集団健診を未申込の方に受診勧奨通知を送付する。</li> </ul>	住民課 国民年金担当
杉戸町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団健診は土・日も開催するとともに胃がん検診、肺がん検診、大腸がん、前立腺がんと同時実施することにより、受診しやすい環境を整える。</li> <li>○受診勧奨はがきを発送する。</li> <li>○集団健診の結果相談会で、特定保健指導の対象者には初回面接を行い、利用率の向上を図る。</li> </ul>	健康支援課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	特定健診・保健指導の効果的な実施	幸手保健所	○保険者、事業所、健診機関等の関係者を対象にした会議や研修会の開催	総務・地域保健推進担当 保健予防推進担当
		加須保健所	○保健指導担当者の資質向上を目的として、研修会を開催する。 ○研修会を通じ、市町村データヘルス計画等の策定、評価の支援を行う。	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	糖尿病患者の教育プログラムの充実	行田市	○糖尿病個別相談の実施 ○血液サラサラ教室（糖尿病及び腎臓病予防を盛り込んだ内容）の実施 ○埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業である、糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムの実施	保健センター 保険年金課
		加須市	○健康相談等での保健指導、栄養指導を実施 ○重点健康相談（糖尿病予防）実施	健康づくり推進課
		羽生市	○埼玉県方式として国保連と共同で「糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく生活習慣病重症化予防対策事業」を実施 ○H28年度生活指導実施者に対し継続支援を実施	国保年金課
		久喜市	○健康相談及び栄養相談を実施し、重症化予防を図る。	中央保健センター
		蓮田市	○糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施する。 ○市民健康講座として糖尿病予防を含む内容の講座を実施する。 ○健康相談を実施し、重症化予防を図る。	健康増進課
		幸手市	○健康相談・栄養相談等での保健・栄養指導の実施 ○特定健診受診結果から受診勧奨値の者に対し、受診勧奨を実施 ○糖尿病性腎症重症化予防のための生活習慣改善支援プログラムの実施 ○市内の専門医による講話を実施（糖尿病、腎臓病）	健康増進課 保険年金課
		白岡市	○埼玉県共同事業の「生活習慣病重症化予防対策事業」に参加	保険年金課
		宮代町	○集団特定健診においてHbA1c値が基準以上であった方に、改善に向けた教室を開催する。 ○糖尿病性腎症重症化予防事業の実施 ○対象者の範囲を広げることを目的とし、今年度より近隣市町（杉戸町・春日部市）と連携して事業を実施する。	健康介護課 健康増進担当
		住民課 国民年金担当		
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	糖尿病地域医療連携システムの構築	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」の連携パス機能について、医療機関等への普及啓発を行い、利用を促進する。	医療体制推進課
		久喜市	○保健指導従事者の資質向上のため、研修会へ参加する。	中央保健センター
		蓮田市	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。 ○糖尿病性腎症重症化予防事業にて、通院中の方の保健指導については、かかりつけ医と情報共有を行う。	健康増進課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	糖尿病地域医療連携システムの構築	幸手保健所	○保険者、事業所、健診機関等の関係者を対象にした会議や研修会の開催	総務・地域保健推進担当 保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	糖尿病治療及び保健指導を担う専門職の質の向上	行田市	○保健指導従事者の研修会への参加	保健センター
		加須市	○研修会等への参加	健康づくり推進課
		幸手市	○各種研修に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	健康増進課
		白岡市	○保健指導従事者の資質向上のため研修会に参加	保険年金課
		宮代町	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	健康支援課

### 3 在宅医療

（目標）

安心して在宅医療へ移行してもらうための環境づくりに努めます。

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護職員など多職種が連携したチームで、患者、家族をサポートする体制を構築します。

かかりつけ医とかかりつけ医を支援する地域の中核病院の連携を強化し、地域完結型の医療提供を推進します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	担当課名
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	在宅医療機関と入院医療機関の連携推進	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」を活用した情報共有及び医療連携の推進 ○北埼玉在宅医療連携室への支援 ○在宅療養後方支援ベッドの確保及び周知	医療体制推進課 高齢者福祉課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	医療と介護が連携した多職種協働の推進	行田市	<p>○行田市在宅医療・介護連携推進協議会を開催し、医療と介護連携の情報共有ツールの運営ルール、多職種研修の内容、切れ目のない在宅医療・介護提供体制の構築の検討を行う。また、具体的解決にむけ専門部会を立ち上げ解決策を検討。</p> <p>○多職種の顔の見える関係づくりとして合同意見交換会を引き続き実施</p> <p>○介護資源マップの管理、更新</p> <p>○機能強化型地域包括支援センターを設置し、業種別介護事業所団体との連絡、連携を図る。</p> <p>○医師会導入の情報共有システム（MCS）の普及</p> <p>○三師会・市、機能強化型地域包括支援センターとのミーティングを継続</p> <p>○県から医師会へ委託している在宅医療推進拠点の平成30年度県から市への事務移譲における準備</p>	高齢者福祉課
		加須市	<p>○在宅医療・介護連携推進委員会の開催</p> <p>○北埼玉在宅医療連携室への支援</p> <p>○ICT「北彩あんしんリング」の普及</p> <p>○市民への普及啓発</p>	高齢者福祉課
		羽生市	<p>○在宅医療・介護連携のための相談窓口の設置</p> <p>○在宅医療・介護体制の仕組みを、在宅医療・介護連携推進会議により検討</p> <p>○検討、決定した内容を各関係機関へ周知</p> <p>○在宅医療・介護連携の仕組みについて市民へ周知</p>	高齢介護課
		久喜市	<p>○久喜市在宅医療・介護連携推進会議を開催し、8項目についての課題やその対応について協議する。</p> <p>○在宅医療・介護関係者の研修会を実施し、顔の見える関係作りにつなげる。</p>	介護福祉課
		蓮田市	<p>○「蓮田市、白岡市、宮代町在宅医療・介護連携推進事業の共同実施に関する協定書」に基づき、医療・介護関係者連携会議及び研修会を開催し、現場レベルでの多職種協働を推進する。</p> <p>○医療・介護関係組織、団体の代表者で構成される代表者会議を開催し、多職種協働のための体制構築、施策化を図る。</p> <p>○多職種が連携しやすいよう在宅医療連携ガイドを作成する。</p>	在宅医療 介護課
		幸手市	<p>○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催</p> <p>○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施</p> <p>○幸手市、杉戸町での共同実施における協定を締結し事業を推進する。</p>	介護福祉課 健康増進課
		宮代町	<p>○多職種連携が「<sup>1</sup>」の追加修正</p> <p>○多職種連携会議の開催</p> <p>⇒二市一町（蓮田市・白岡市・宮代町）共同事業により</p> <p>○地域包括支援センター・看護師・ケアマネを対象にした研修会の開催</p> <p>⇒二市一町（蓮田市・白岡市・宮代町）共同事業により</p>	健康介護課 高齢者支援 担当

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	医療と介護が連携した多職種協働の推進	幸手保健所	○「難病支援連絡会議」の開催（埼玉県難病連絡協議会共催）	保健予防推進担当
		加須保健所	○難病対策地域協議会を設置し体制整備を図る。	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	地域完結型医療の推進	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」の普及啓発に努め、かかりつけ医と中核病院の連携を強化し、地域完結型医療を推進する。	医療体制推進課
		久喜市	○「とねっと」によるITを活用した医療連携を推進し、地域の限りある医療資源を有効に活用することにより、地域完結型医療の推進を図る。 ○市民の皆さんに医療の現状を認識していただき、限られた医療資源を有効に活用していただけるよう、市、市民、医療機関等の3者が一体となって、地域医療を考え、推進していくため、講演会及びシンポジウムを行う。	健康医療課
		宮代町	○埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会を構成する医師会、中核医療施設、保健所及び7市2町の自治体とともに、地域医療ネットワークシステムの更新を行い、活用の推進と加入者の拡大を図る。	健康介護課 健康増進担当
		幸手保健所	○利根地域保健医療・地域医療構想協議会の開催	総務・地域保健推進担当
		加須保健所	○埼玉県在宅医療提供体制充実支援事業等を活用して、医療情報の共有による地域完結型医療の推進を支援する。	総務・地域保健推進担当



## 4 健康づくり対策

(目標)

健康と栄養・食生活について正しい知識の普及啓発を図り、生活習慣を改善して病気の発症を予防する「一次予防」を推進します。健全な食生活や健康的な生活環境の基盤づくりを進め、個人の健康づくりの取組を積極的に支援します。特定健康診査、がん検診の受診率の向上に努め、的確な保健指導を着実に実施します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	担当課名
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	行田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内飲食店が提案したレシピを栄養に精通した大学に監修してもらい、健康レシピを開発する。</li> <li>○「空気の美味しいお店」認定事業の実施</li> <li>○健康教室、健康相談の充実</li> <li>○健幸案内所の開設</li> <li>○市民けんこう大学・大学院の実施</li> <li>○熱中症おたすけ隊を結成し、出張講座にて熱中症予防に関する知識の普及啓発活動を実施</li> <li>○禁煙外来治療助成事業の実施</li> <li>○健康づくりチャレンジポイント事業の実施</li> </ul>	保健センター
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健診、保健指導の案内通知の工夫</li> <li>○特定健診未受診者、保健指導未利用者に対し、受診及び利用勧奨の実施</li> <li>○市内各団体を通じた特定健診受診の普及活動の実施、けんこうまつり等で特定健診のPRを実施</li> </ul>	保険年金課
		加須市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康教育・健康相談の実施</li> <li>○健康まつり等における普及啓発の実施</li> </ul>	健康づくり推進課
		羽生市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健診・特定保健指導の広報による啓発を実施</li> <li>○生活習慣病予防のための各種健康教育講座を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出前健康づくり推進課</li> </ul>
		久喜市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者向け健康教育・健康相談を実施。</li> <li>○各種健康教育・健康相談を実施する。</li> <li>○食育セミナー、健康づくり・食育推進大会等における普及・啓発を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護福祉課</li> <li>中央保健センター</li> </ul>
		蓮田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民健康講座を実施する。</li> <li>○各団体から依頼を受け、出向いて実施する出前健康相談、出前健康講話にて、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発を図る。</li> <li>○食生活改善推進員協議会活動を通じた、食生活の正しい知識の普及を図る。</li> </ul>	健康増進課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）  
保健所

健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発

幸手市	<p>健康教育として以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活習慣病予防教室パート1 糖尿病合併症編（医師講話）</li> <li>○生活習慣病予防教室パート2 腎臓病編（2回コース医師講話・栄養編）</li> <li>○出前講座の実施</li> <li>○ヘルシークッキング教室</li> <li>○スイーツ教室</li> <li>○乳子宮癌検診受診者に健康講話を実施</li> <li>○めざせ！毎日10000歩運動教室（健康長寿埼玉モデル）の実施</li> <li>○健康マイレージの導入（1月から）</li> <li>○健康長寿サポーターの養成</li> </ul>	健康増進課
白岡市	<p>○特定保健指導予備群のかたに、生活習慣の見直しをするきっかけづくりとして、運動教室の実施</p> <p>○窓口や特定健康診査結果説明会で健康づくりや生活習慣病予防のパンフレットを配布し、正しい知識の普及啓発を図る。</p>	保険年金課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康相談・栄養相談の実施</li> <li>○健康体操教室の実施</li> <li>○健康講座・健康教室の実施</li> <li>○出前講座の実施</li> <li>○健康まつりの実施</li> <li>○健康長寿サポーター養成講座の実施</li> <li>○健康マイレージの実施</li> </ul>	健康増進課
宮代町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康教室を実施する（骨粗しょう症予防集団栄養指導、貯骨とエクサ！、貯骨とクッキング！、知っ得！けんこう講習、健康長寿サポーター養成講座、出前講座等）</li> <li>○健康相談、栄養相談を実施する。</li> <li>○集団特定健診時に、健康に関する媒体を展示し、生活習慣に関する助言や個別相談を実施する。</li> <li>○埼玉県コバトン健康マイレージ事業の実施</li> </ul>	健康介護課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	杉戸町	<p>○特定健診受診者及び健康づくりに関心のある町民を対象に、生活習慣病のリスクを減らすことを目的として、医師及び歯科医師による医療講演会を実施し、正しい知識の普及啓発を図る。</p> <p>○健康への関心と検診の動機付けを目的に健康フェスタを開催する。</p> <p>○集団健康教育を実施する。</p> <p>○管理栄養士による生活習慣病予防のための健康教育および個別栄養相談を実施する。</p> <p>○食生活改善推進員協議会による生活習慣病予防のための料理教室を開催する。</p> <p>○健康長寿のまちづくりの推進役を育成するため「すぎと健康アカデミー」を開校する。</p> <p>○埼玉県コバトン健康マイレージ事業に参加し、町民の健康づくりを支援する。</p>	健康支援課
		幸手保健所	○給食施設指導や健康長寿サポーター養成講座等を通じた健康づくりの普及啓発の実施	保健予防推進担当
		加須保健所	<p>○各種団体や給食施設等を通じて健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及を図る。</p> <p>○全面禁煙・空間分煙実施施設の拡充を図るとともに、受動喫煙の防止について普及啓発を行い、健康なまちづくりを推進する。</p> <p>○健康づくりを推進するため「健康長寿サポーター」養成講座を実施。</p>	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	民間企業や地区組織など、多様な主体が連携した健康増進計画の策定及び推進	加須市	○第2次加須市健康づくり推進計画に基づき、地区組織の代表者や関係団体等の幅広い参画を得ながら加須市健康づくり推進委員会を開催するとともに、平成28年度に実施した事業について、委員の皆様方から意見をいただきながら評価する。	健康づくり推進課
		羽生市	<p>○啓発用ポロシャツの着用、公用車へのマグネットの貼用、のぼり旗の設置</p> <p>○健康チャレンジ事業の実施</p>	健康づくり推進課
		久喜市	○久喜市健康増進・食育推進会議、庁内連絡会議、庁内連絡会議作業部会を開催し、関係機関との連携を図りながら、第2次久喜市健康増進・食育推進計画を推進します。	健康医療課
		蓮田市	<p>○健康増進計画「健康はすだ21（第2次）」の推進を図るため健康づくり推進員を委嘱し、健康づくり推進員連絡会議を開催することによって、各関係機関の連携を図り、健康づくり活動を地域に広げるための環境づくりを進める。</p> <p>○健康増進計画「健康はすだ21（第2次）」の中間見直し、さらに新規で「蓮田市食育推進計画」策定のため、アンケート調査を実施し、現状・課題の把握を行う。</p>	健康増進課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	民間企業や地区組織など、多様な主体が連携した健康増進計画の策定及び推進	幸手市	○健康日本21幸手計画（第2次）の推進を図るため、各関係機関の連携を図り、健康日本21幸手計画推進会議を開催し、各委員からの意見を反映しながら進行管理を行う。	健康増進課
		白岡市	○白岡市健康増進計画及び白岡市食育推進計画の推進を図るため、各関係団体と連携し、はぴすイッチ会議（健康づくりに関係する団体の代表者と公募市民で構成）を開催する。関係団体及び関係課が実施する活動や施策の進捗状況の確認や評価、会議委員からの意見を反映しながら進行管理を行う。	健康増進課
		幸手保健所	○地域の栄養関係団体の食育活動への情報提供等の実施 ○市町の健康増進計画・食育推進計画策定や推進に対する支援の実施	保健予防推進担当
		加須保健所	○ヘルシーメニューの企画・提案や禁煙支援を主体的に実施しようとする事業所等に対し、国・県における取組方策を情報提供し、他の民間団体等との連携を支援する。	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	生活習慣病の早期発見と的確な保健指導の推進	行田市	○薬局を拠点とした健康づくり支援事業の実施（糖尿病予防検体測定事業・禁煙サポーター薬局設置事業） ○特定健診の受診勧奨、特定保健指導の利用勧奨の実施 ○人間ドック等の受検に対する費用の助成	保健センター 保険年金課
		加須市	○特定健康診査の結果、特定保健指導の該当にならないものに対し、生活習慣病予防の講座を行っていく。	健康づくり推進課
		羽生市	○特定健康診査、特定保健指導の実施 ○特定健康診査の受診勧奨と特定保健指導対象者の指導勧奨 ○人間ドック等の助成（国保、後期高齢者医療加入者） ○後期高齢者の健康診査の実施	国保年金課
			○基本健康診査の実施により早期発見を行う。基本健康診査において、指導対象者へのアプローチを行う。 ○健康相談・栄養相談を実施。	健康づくり推進課
		久喜市	○生活保護受給者等の健康診査を実施する。健診結果により、必要な者に保健指導を実施する。 ○がん検診を実施する。要精密検査者に対して、精密検査の受診勧奨を実施する。 ○特定保健指導を実施する。	中央保健センター
			○市内小学校4年生全児童を対象に小児生活習慣予防健診を実施する。	学務課
		蓮田市	○出前健康相談で健康チェックを実施する。 ○定例の健康相談を実施する。 ○特定健診、後期高齢者健診、健康増進法による健診を実施する。 ○特定保健指導を実施する。 ○特定保健指導対象外で保健指導が必要な者に対しては、健康相談、健康講座等を実施する。	健康増進課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	生活習慣病の早期発見と的確な保健指導の推進	白岡市	○白岡市国民健康保険データヘルス計画に基づき、国民健康保険保健事業を実施する。また、今年度中に第2期の計画策定。 ○白岡市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施する。また、今年度中に第3期の計画策定。 ○小学校4年生及び中学校1年生を対象として、小児生活習慣病予防検診を実施	保険年金課 教育指導課
		宮代町	○特定保健指導の実施 ○後期高齢者の健康診査の実施 ○生活保護受給者等の健康診査及び検診結果により保健指導の実施	健康介護課 健康増進担当
			○特定健康診査の実施	住民課 国保年金担当
		杉戸町	○杉戸町国保加入者に対する特定健診および20歳～39歳に対する国保健診を実施する。 ○特定健診にe-GFR値の検査項目を導入し、慢性腎疾患対策を実施する。 ○杉戸町国保加入者に対する特定健診受診者のうち動機付け、積極的支援のものを対象として、結果相談会を実施する。 ○健康相談の実施（随時） ○健康教育の実施	健康支援課
		加須保健所	○保健指導担当者の資質向上を目的として研修会を開催する。	保健予防 推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	地域、学校等における食育の推進	加須市	○親と子の食育事業（学童のための栄養学習）の実施 ○食改推進員による小学生・中学生向け料理教室の実施 ○小学校及び他団体等への出前講座の実施	健康づくり 推進課
			○食に関する正しい知識と望ましい食習慣についての指導 ○自然への恩恵や勤労への感謝や食文化についての指導 ○栄養教諭等の専門性を生かした指導 ○学校給食を通じた食に関する指導	学校教育課
		羽生市	○親子を対象とした料理教室の開催	健康づくり 推進課
			○栄養教諭による授業実施 ○衛生士による歯科保健の視点からの食育支援 ○学校給食センターの小中学校訪問 ○校での給食時放送による意識向上	○歯科 ○全小学 学校教育課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	地域、学校等における食育の推進	久喜市	○学校給食の予定献立表や給食だよりの配布を通じて、正しい食生活の知識の普及・啓発を行う。 ○地元産農産物を積極的に使用するとともに行事食、郷土料理、伝統料理などを採り入れた献立を実施し、給食を通して食べ物や生産者に対して感謝する心を育むとともに、地域の食材や地域性などへの理解を深める。	学務課
		幸手市	○市内小学校に小児生活習慣病予防のための食育講話を実施	健康増進課
		白岡市	○彩の国ふるさと学校給食月間の実施 ○栄養教諭及び栄養職員による食育の授業実施	教育指導課
		宮代町	○親子料理教室の実施	健康介護課 健康増進担当
			○栄養教諭による食育の授業実施	教育推進課
		杉戸町	○関係課と連携し、杉戸町食育担当者会議を開催する。 ○一般住民を対象とした食育講演会を実施する。 ○小学校就学時健診において、保護者を対象に食育講話を実施する。	健康支援課
		幸手保健所	○地域の栄養関係団体の食育活動への情報提供等の実施 ○給食施設指導を通じた各施設における食育の推進状況の把握 ○市町の食育推進計画策定や推進に対する支援の実施	保健予防 推進担当
加須保健所	○管内各市の食育推進計画推進を支援する。 ○健康づくり協力店を活用した外食の栄養成分表示の普及を図る。 ○高齢者の低栄養の予防等について、各市と連携し食環境の向上を図る。 ○小・中学校等の栄養教諭、養護教諭等とのネットワークづくりを進め、学校保健と連携した食育の推進を図る。	保健予防 推進担当		

## 5 親と子の保健対策

(目標)

親と子の悩みや不安を相談でき、必要な支援が受けられるような地域社会をめざします。  
 生後なるべく早い時期に乳児のいる家庭の状況を把握することにより、乳幼児のいる家庭の孤立化を防ぎます。  
 また、乳幼児健康診査のさらなる充実で、育児支援や児童虐待の早期発見の機能を強化します。  
 関係機関の連携を強化していくことにより、親と子の成長や発達を支援します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	担当課名
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	生後4か月ぐらいまでの乳児の状況把握と育児支援	行田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊娠届によって把握されたすべての妊婦に対して、子育て包括支援センターによる必要な情報の提供や心配事の相談を行い、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を実施する。また、ハイリスク者については、支援プランを作成し、安心安全な出産育児に向けた継続支援を実施する。</li> <li>○子育て包括支援センターによる相談、乳児産婦訪問指導、赤ちゃんクラスなどの事業を継続して実施する。</li> <li>○支援の必要なケースについては、地区担当保健師による個別対応を実施する。</li> </ul>	保健センター
		加須市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生後4か月児までの児を対象とした全戸訪問事業（乳児家庭訪問事業）を実施し、必要な支援やサービスを提供ができるようにする。</li> <li>○訪問した母子のケースには虐待予防のアンケートを3つ（育児チェックシート、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんの気持ち質問票）実施し、母の精神面の把握に努める。</li> <li>○育児不安や悩み、子育てに関する支援や情報提供を実施する。</li> </ul>	健康づくり推進課
		羽生市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳児家庭全戸訪問事業を実施し、養育環境や母親の精神面の把握、乳児の発育発達の確認を行う。</li> <li>○育児不安や悩み、子育てに関する支援や情報提供を実施する。</li> <li>○3か月児健診を実施し、その後必要なケースには継続した支援を行う。</li> </ul>	健康づくり推進課
		久喜市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児家庭全戸訪問指導事業の実施。</li> </ul>	中央保健センター
		蓮田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こんにちは赤ちゃん訪問において、生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や育児相談を行う。</li> <li>○3～4か月児健診の未受診者に対し、地区担当保健師や母子保健推進員が訪問・電話連絡等を行い虐待や育児不安を早期発見できるように努める。</li> <li>○産後うつ病アンケートにより把握したハイリスクの母に対して、継続して支援を行う。</li> </ul>	子ども支援課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	生後4か月ぐらいまでの乳児の状況把握と育児支援	幸手市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳児家庭全戸訪問事業の実施</li> <li>○訪問時の質問紙を活用し、虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるように努める。</li> <li>○産後ケア事業の実施</li> <li>○子育て総合窓口における早期からの専門的相談・支援</li> </ul>	健康増進課
		白岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、保健師等が生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児支援を行う。また、必要時産後うつ病アンケートにより、母の精神面の把握に努め、育児不安や悩みに対する継続した支援を行う。</li> <li>○4か月児健診において、状況を把握し育児支援を行う。また、未受診児の状況把握に努める。</li> <li>○状況に応じた保健指導や子育てに関する情報提供を行い、必要なサービスにつなげる。</li> </ul>	健康増進課
		宮代町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、生後4か月未満がいるすべての家庭に訪問を実施し、保健指導を実施。アンケート等を活用し、虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるように努める。今年度から全産婦に対しEPDSを実施し、産後うつ病の早期発見に努める。</li> </ul>	健康介護課
		杉戸町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、看護師、保健師が生後4か月までの乳児と産婦への保健指導を実施する。</li> <li>○「すくすく子育てアンケート」（産後のメンタルヘルス質問紙）を活用し虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるように努める。さらに訪問で把握した情報を3～4か月児健診へつなげ継続した支援を実施する。</li> <li>○3～4か月健診未受診児の状況把握に努める。必要により子育て支援課と連携を図る。</li> </ul>	健康支援課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査の充実	加須市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児期の疾患や発育異常等を早期発見し、親の育児や生活習慣病等に対する相談支援を行う。</li> <li>○未受診者の状況把握において、引き続き訪問や電話等で確認支援していく。</li> <li>○3歳児健診の検尿をスルホサリチル酸法で行う。</li> </ul>	健康づくり推進課
		羽生市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児健康診査の間診等により育児不安や発育発達の状況把握を行い、専門的な相談支援を実施する。</li> </ul>	健康づくり推進課
		久喜市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○育児環境や家庭の健康状態、育児負担等に着目した問診、相談を実施するとともに、必要に応じ継続した支援に結びつける。</li> </ul>	中央保健センター



市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）  
保健所

育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査の充実

蓮田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健診問診スタッフが事前に要フォロー児の情報を共有し、継続支援が実施できるようにする。</li> <li>○図書館職員と協力し3～4か月児健診においてブックスタート事業を行う。</li> <li>○1歳6か月児健診時に、食生活改善推進員協議会の協力を得て手作りおやつを試食提供をし、それをきっかけに子どもの食生活に関する支援を行う。</li> <li>○1歳6か月児健診と3歳児健診において心理相談を実施し、心理士・児童ケースワーカー・家庭児童相談員・保健師による多職種でフォロー体制を組む。</li> <li>○健診終了後多職種によるカンファレンスの実施をし、多角的な視点で検討していく。</li> </ul>	子ども支援課
幸手市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各健診受診者全員と個別面接、個別相談を実施</li> <li>○10か月児健診で保健師による集団保健指導を実施</li> <li>○1歳6か月児と3歳5か月児健診で臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施</li> <li>○3歳5か月児健診で家庭児童相談員を配置し必要時、個別相談を実施</li> <li>○各健診終了後、他職種スタッフによるカンファレンスを実施し、継続フォローの方針を検討</li> <li>○未受診児訪問の実施</li> <li>○乳幼児発達相談の実施</li> <li>○4ヶ月健診、1歳6か月健診、3歳5か月健診の案内に健やか親子21アンケートを同封し、必要な方に2次質問を実施</li> </ul>	健康増進課
白岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各健診において、保健師が全ての受診者と個別面接・相談を実施し育児支援を行う。</li> <li>○4か月児健診において、離乳食開始に向けた教室を開催</li> <li>○10か月児健診において、ボランティアによる読み聞かせを実施</li> <li>○1歳6か月児健診、3歳児健診において、臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施</li> <li>○健診終了後に多職種によるカンファレンスを実施し、健診時の情報共有を行い、継続フォローの方針を検討する。また、未受診者の状況を把握する。</li> </ul>	健康増進課
宮代町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各乳幼児健診におけるグループ支援と個別支援の充実</li> <li>○1歳6か月児健診、3歳児健診に臨床心理士を配置し個別相談を実施</li> <li>○健診後、多職種によるカンファレンスの実施</li> </ul>	健康介護課

<p>市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所</p>	<p>育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査の充実</p>	<p>杉戸町</p>	<p>○各健診とも受診者全員と個別面接を実施する。 ○3か月健診にファミリーサポートセンター職員によるサービスの利用勧奨を行う。 ○3か月健診で、赤ちゃんと保護者の方が一緒に絵本を楽しむひとときを持ってもらおうといった子育て支援の取組として町立図書館から絵本を手渡しするブックスタートの場の提供。 ○9か月健診時に子育て支援センター職員によるサービスの利用勧奨を行う。 ○1歳6か月児健診、3歳児健診に臨床心理士の個別指導を実施する。 ○3歳児健診時にボランティアの絵本読み聞かせコーナーを設定し、親子で絵本に親しみコミュニケーションを深める支援を実施する。 ○地域における支援が必要な母子については、健診時に希望をとり、子育て支援センターへ個別連携シートを送付して訪問・電話・面接等の支援を依頼する。 ○健診の未受診者について、保健師間で定期的カンファレンスを実施、今後の方向性について協議・情報の共有化を図る。 ○私立・町立保育園に訪問、未受診者の状況や集団での発達状況を把握する。</p>	<p>健康支援課</p>
<p>市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所</p>	<p>子どもの心の健康に関する相談や情報提供の充実</p>	<p>加須市</p>	<p>○子どもの心の健康に関する相談や情報提供を行う。 ○乳幼児健診や乳幼児健康相談において、発育・発達の確認と子育てに関する指導・助言を実施し、必要な方には、訪問や電話にて相談や情報提供を実施する。</p>	<p>健康づくり推進課</p>
		<p>羽生市</p>	<p>○乳幼児健診や訪問・相談事業等において、子供の心の健康問題を把握した場合は、保健所や医療機関等の関係機関と連携し、必要な支援を行う。</p>	<p>健康づくり推進課</p>
		<p>久喜市</p>	<p>○乳幼児健診や訪問、相談事業等において、子どもの心の健康問題を把握した場合は、保健所や医療機関等の関係機関と連携し、必要な支援を行う。</p>	<p>中央保健センター</p>
		<p>蓮田市</p>	<p>○18歳未満の子どもの心の問題に対して、関係機関と連携をとり支援する。 ○保健所で実施する心に関する事業の情報提供 ○各種乳幼児健診や乳幼児相談において、個別相談を実施 ○1歳6か月児健診・3歳児健診時に心理相談を開催</p>	<p>子ども支援課</p>
		<p>幸手市</p>	<p>○臨床心理士による相談を実施 ○各健診受診者全員と個別面接、個別相談を実施 ○1歳6か月児と3歳5か月児健診で臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施 ○3歳5か月児健診で家庭児童相談員を配置し必要時、個別相談を実施 ○子育て総合窓口における専門的随時相談</p>	<p>健康増進課</p>

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	子どもの心の健康に関する相談や情報提供の充実	白岡市	○健診や相談事業等において、保健師による個別相談のほか必要時臨床心理士による心理相談の実施 ○状況に応じて保護者に療育支援先の情報提供を行い関係機関と連携する。 ○当課及び関係機関で実施している教育相談に係る情報を通知やHPで提供 ○学校へ相談員を配置	健康増進課
		宮代町	○臨床心理士による心理相談の実施 ○各乳幼児健診や健康相談等において、個別相談を実施	教育指導課
		杉戸町	○発達の遅れや偏り、生活上の支障が生じている親と子の相談として、臨床心理士による子育て相談を実施する。 ○乳幼児健診等において、必要があるケース、希望のあるケースについては臨床心理士の個別相談を実施する。（再掲） ○発達支援事業：ラッコ教室（1歳6か月健診のフォロー・一般）において、臨床心理士による子育てについての講話を実施、保護者の育児不安等の軽減を図る。	健康介護課
		幸手保健所	○子どもの心の健康相談事業（相談・会議・研修）による情報提供の実施	健康支援課
		加須保健所	○子どもの心の健康相談の実施と、ネットワーク事業における会議研修等により連携強化と資質向上を図る	保険予防推進担当
		加須保健所	○子どもの心の健康相談の実施と、ネットワーク事業における会議研修等により連携強化と資質向上を図る	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	関係機関の連携強化による子育て支援	行田市	○子育て包括支援センターとして、市内及び隣接した産婦人科と連携を図り、切れ目のない支援をつなげる。 ○要保護児童対策地域協議会へケースの提供及び同会議に出席し、関係機関との連携と支援を行う。 ○ハイリスクケースに対しては引き続き、児童福祉担当、生活保護担当、児童相談所、民生委員、医療機関など必要に応じた機関と連携し支援を行う。	保健センター
		加須市	○市内小児科専門医の協力を得て、4月から10月の祝日及び11月から3月の日曜日、祝日、年末年始における小児科診療を実施する。	医療体制推進課
			○虐待ケースについて、関係機関で実施する児童虐待ケース会議に参加し、対応する。 ○児童虐待防止等ネットワーク実務者会議へ参加し、各機関との連携を図る。 ○保健センター内の育児掲示板の活用をし、子育て情報の提供をする。	健康づくり推進課
		久喜市	○要保護児童対策地域協議会への参加・活用。 イリスク家庭に対し、児童福祉部門や保健所、医療機関等の関係機関と連携し、支援を行う。	○ハ 中央保健センター

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）  
保健所

関係機関の連携強化による子育て支援

蓮田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支援が必要な母子に対し、保健所や他職種との同行訪問を実施し、必要時ケース会議を開催し情報共有と支援の連携を図る。</li> <li>○要保護児童対策地域協議会（代表者会議及び実務者会議）を開催</li> <li>○就学支援委員会に出席</li> <li>○蓮田市母子愛育会との連携と支援</li> </ul>	子ども支援課
幸手市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要保護児童対策地域協議会との連携</li> <li>○幸手市母子愛育会との連携</li> <li>○就学支援委員会に参加</li> <li>○妊娠期から子育て支援が行われるよう、子育て総合窓口を委託している幸手地区助産師会が市内医療機関等関係機関や関係団体によびかけ、研修会を実施</li> <li>○子育て支援課主催の幼児学級への保健師の参加と情報共有</li> </ul>	健康増進課
白岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○母子愛育会との連携と支援</li> <li>○小中学校就学支援委員会に参加</li> <li>○要保護児童対策地域協議会に参加</li> <li>○就学支援にむけた情報交換会の実施</li> </ul>	健康増進課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学校就学支援委員会を実施し、関係者を委員に委嘱</li> <li>○要保護児童対策地域協議会に参加</li> <li>○就学相談での情報の共有化</li> </ul>	教育指導課
宮代町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て未来室・応援室との連携強化</li> <li>○要保護児童対策協議会に出席</li> <li>○教育委員会の就学相談への連携、就学支援委員会に参加</li> <li>○「障害のあるお子さんの情報交換会」に就学相談担当者の出席依頼をする。</li> </ul>	健康介護課
杉戸町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○杉戸町母子愛育会との連携強化を図る。</li> <li>○子育て支援センターとの共同事業を活用し連携を強化するとともに、個別支援の方向性の共有を図る。</li> <li>○養育支援を必要とする家庭について要保護児童対策地域協議会との連携を図り必要な支援を実施する。</li> <li>○未熟児のフォローについては、未熟児養育医療費申請時の面接、子育て支援課及び医療機関との連携を図り、入院中からハイリスク児や養育支援家庭等への支援を実施する。</li> <li>○私立・町立保育園について、保健師が保育園を訪問して園児の様子を把握、発達状況、家庭環境等の情報の共有化を図る。</li> <li>○教育委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健全発達支援相談指導事業の言語相談、心理相談で実施した発達検査等を保護者の同意のもと、就学にむけて情報提供。</li> <li>・各種教育相談窓口、就学相談等の情報提供</li> </ul> </li> </ul>	健康支援課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	関係機関の連携強化による子育て支援	幸手保健所	○母子保健連携調整会議、小児精神保健医療推進連絡会議、小児精神保健医療研修会、母子保健関連の研修会（事例検討会を含む）等の実施 ○要保護児童対策地域協議会への出席	保健予防推進担当
		加須保健所	○妊娠期からの虐待予防強化事業による医療機関と保健センター等の連携強化を図る。	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	休日・夜間における適正な小児科受診の啓発	行田市	○市報、ホームページの掲載の工夫を行う。 ○乳児産婦全戸訪問事業において「子どもの救急ミニガイドブックを配布し、啓発を行う。	保健センター
		加須市	○小児科医による救急講座・子育て相談を開催し、受診が必要な症状等について啓発する。 ○広報紙やホームページへの掲載、チラシの配布などによって啓発する。	医療体制推進課
			○乳児家庭訪問事業や乳幼児健診等の保健事業の中で、かかりつけ医や急病時の知識の普及に努める。（チラシ配布）	健康づくり推進課
		羽生市	○広報やホームページによる休日当番医、埼玉県小児救急電話相談、埼玉県大人の救急電話相談等の情報提供の実施	健康づくり推進課
		久喜市	○子ども医療費及びひとり親家庭等医療費の受給資格証に、平日の診療時間内での受診を促す文章を表記する。	子育て支援課
			○市報・市ホームページ等による情報提供を実施する。	健康医療課
		蓮田市	○母子健康手帳交付時に「子どものミニ救急ガイドブック」の配布 ○健康カレンダーや子育てガイドブックに小児救急電話番号、#8000、救急医療情報、休日急患診療等の情報を掲載 ○乳幼児健診で、事故防止パンフレットの配布	子ども支援課
		幸手市	○広報紙、ホームページ、健康環境カレンダーにより情報提供を図る。 ○乳幼児家庭全戸訪問事業における訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」を配布 ○パパママ教室同窓会、10か月児健診、母子健康教育（集まれ6～7か月ベビー）時に、事故防止と上手なお医者さんのかかり方について指導を行う。	健康増進課
		白岡市	○広報紙、ホームページ、保健センター事業等予定表に急な病気やけがで困ったときの相談窓口等の情報提供 ○母親学級同窓会において子どもの急な病気についての講話の実施や、赤ちゃん訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」等を配布し、適正受診についての啓発	健康増進課
		宮代町	○赤ちゃん訪問等でパンフレット「子どもの救急ミニガイドブック」の配布による啓発 ○掲載した保健センターガイドを全世帯に配布	健康介護課

<p>市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所</p>	<p>休日・夜間における適正な小児科受診の啓発</p>	<p>杉戸町</p>	<p>○ママパパ教室やこんにちは赤ちゃん訪問時に、「上手なお医者さんのかかり方」について保健指導を実施する。  ○小児救急電話相談「#8000」や埼玉県救急医療情報センターのシステム及び小児休日診療の啓発を行う。（保健センター年間計画表・広報等への掲載・赤ちゃん訪問時）  ○冬季に実施している小児休日診療については、乳幼児健診時・訪問時などにチラシを配布するとともに、各医療機関・公共施設にポスター掲示またはチラシを設置し、周知を図る。</p>	<p>健康支援課</p>
-------------------------------------	-----------------------------	------------	---	--------------